



須坂のことは

須坂市方言集成



目 次

凡例	i
本文（あ行～わ行）	1
《解説》区誌に見る須坂市方言の特徴（大橋敦夫）	99
共通語索引	103
あとがき	148
【コラム一覧】	
◆あした、あさって、その次は？	22
◆須坂市の女王様	37
◆熱・意気・ガリの臥竜魂	37
◆駒澤 嘉（こまざわ よし）先生	38
◆須坂の言葉に刻まれた風土と歴史	49
◆「凍みる」について	50
◆地域によって違うじゃんけんの掛け声	50
◆「たあくらたあ」の由来	62
◆ミンミンゼミとニイニイゼミの違い	68
◆なぜ「カメムシ」を「クサガメ」と呼ぶのか	80
◆ひんのべ	80
◆水くれトーバンズ	88
◆養蚕語彙	93
◆山本茂実『あゝ野麦峠』	93
◆お蚕さんが作った学校	93
◆味噌マッチ	94
◆するしない——テレビ局注目の語法——	96
◆2冊目の須坂市関連書	98
◆蔵のまちなみに息づく須坂の歴史	98

序

大橋敦夫

長野県の北部に位置する須坂市は、かつては生糸の町として栄えた。近年は、その遺産を活用し、「蔵の町」として観光客の誘致に力を入れてきた。さらに、伝統の食文化を生かし、醗酵・醸造の町として、またスイーツやフルーツの豊かな町としての売り出しを強めている。加えて、高速道・須坂インター近くに長野県内最大級の大型ショッピングモールがオープンし、賑わいを増しているエリアである。

さらにごく最近は、「蔵と文化の町」としてのPRを強めようとの動きもあり、郷土愛にあふれた地域といえる。その例証として、新旧2種の須坂市誌に加え、区誌（自治会誌とも）の発行数が多い。それぞれを紐解いてみると、方言に関する記述のあるものもあり、今回はそこに注目し、方言集成の主要材料とすることとした。

作成に関わったゼミのメンバーは、東信出身者が多く、須坂弁にはなじみがなかったが、それだけに、客観的な編集ができたと思われる。一方、学内には、須坂弁ネイティブの豊岡秀夫、須坂愛にあふれた越藤順子の2氏があり、各項目の検討にお力を貸してくださった。記して感謝申しあげる次第である。

本書が、須坂方言に関心を持つ多くの方に利用されることを祈念して、序といたします。

（おおはし あつお／上田短期大学教授）

※本書は、「令和7年度公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金」による発行物です。

[イラスト：倉升一羽・坂口亜綺]

凡 例

1. この集成の特徴

この集成は、須坂市公認ポータルサイト「いけいけすぎか」内のバナー「須坂弁」で紹介されている「須坂弁」を見出し語に立て、これまで須坂市内で作成された区誌等に収録されている語を加え、一覧できるようにまとめたものである。

『須坂市史』(1981) および『須坂市誌』(2011-18)には、方言に関する記述がない。一方、各地域の区誌には、当該地区の方言を収録・紹介したものが多く、そこで、それらを集成し、須坂市方言が一覧できる辞典の作成を目指し、本書を編集した。

方言(俚言)の語形、意味説明、例文等は、原則として原本を尊重した。しかしながら、区誌等の記述において、共通語が採録されている例は省いた。

また、語釈(意味説明)も、煩雑さを避け統合できるものは、統合に努めた。さらに、表記についても、区誌ごとに独自のルールがあるが、現代の読者に理解しやすいよう、後掲の「編集方針」に従って、統一をはかり修正を加えている。

2. 編集方針

2-1. 編集にあたっての基本方針

見出し語として掲げるのは、原則として方言(俚言)とした。区誌等によっては、明らかに共通語形も収録している例があり、それらは取り除き、別に考察を加えた。

2-2. 説明項目の要素

各見出し語は、次の要素から成り立っている。語によっては、例文や備考類がないものもある。

方言(俚言) / 語釈(意味説明) / 掲載区誌等 / 例文

(例)

いかず いきましょう

[須坂]「ぼちぼち行かず(=そろそろ行きましょう)」「八幡」[南原]
[日野] [豊丘]

[相之島] **いかずか**

見出し語に対し、語形の違いがある場合は、各項目の最後に掲げている(上例参照)。

2-3. 略号と集成対象とした原本の書誌

[須坂]: 須坂市公認ポータルサイト「いけいけすぎか」内のバナー「須坂弁」
(<https://www.suzaka.jp> 2024年2月期閲覧) 387語

[八幡]「ふるさと言葉(方言)」『八幡町沿革史「ふるさと八幡」—歴史と伝承・事蹟—』八幡町沿革史刊行会
1991.5 pp195-199 200語

[北原]「北原町の方言」『北原町のあゆみ』北原町区誌編纂委員会 1981.11
pp134-137 163語

[南原]「方言・訛語」田幸三郎編著『南原誌一改訂 南原の古事来歴—』私家版 2005.7 pp141-142 72語

[大谷]「大谷の方言」『大谷町誌』大谷町誌編纂委員会 2019.9 pp301-307
224語

- [相之島] 三木政成「相之島の方言集」『須高』49 須高郷土史研究会 1999.10 pp108-111 348 語 * 掲出語に重複あり
- [日野]「方言」『日野村志』1959.9 pp111-129 1186 語 * 掲出語に重複あり
- [野辺]「野辺の方言」『野辺町区誌一柵原荘から一千年一』野辺町区誌編纂委員会 1998.12 pp174-178 125 語
- [村石]「村石の方言—北信方言に属している—」『村石町区誌—大笹街道新田村の発展—』村石町区誌編纂委員会 2003.12 pp585-590 212 語
- [亀倉]「亀倉の方言」『亀倉誌』亀倉町史編纂委員会 2011.3 pp142-148 119 語
- [仁礼]「ことば」『仁礼誌』財団法人仁礼会 1973.11 p 325 28 語
- [豊丘]「方言・訛語」『豊丘村誌』豊丘村誌編纂会 1963.8 pp268-270 100 語

なお、地名の読み方は、次のとおりである。

- 八幡：はちまん
 南原：みなみはら
 大谷：おおや
 野辺：のべ
 仁礼：にれい

2-4. 方言(俚言)の掲出

(1) 見出し語の掲出

見出し語の掲出は、基本的に、須坂市公認ポータルサイト「いけいけすぎか」内のバナーで紹介されている「須坂弁」とした。

バナーに無く、区誌類にある語は、該当の場所に掲出し、配列した。

なお、区誌類には、公序良俗に照らし、不適切との判断がくだされるものもあるが、歴史的事例の記録として収録した。

(2) 見出し語の表記

- ①ひらがなに統一して表記した。
- ②原則として「現代仮名遣い」にそい、あてはまらないものは修正した。

(3) 見出し語の配列

- ①五十音順とした。
- ②清音・濁音・半濁音の順に並べた。
- ③長音は、直前の母音を繰り返すものとみなし、その位置に配列した。

2-5. 語釈(意味説明)

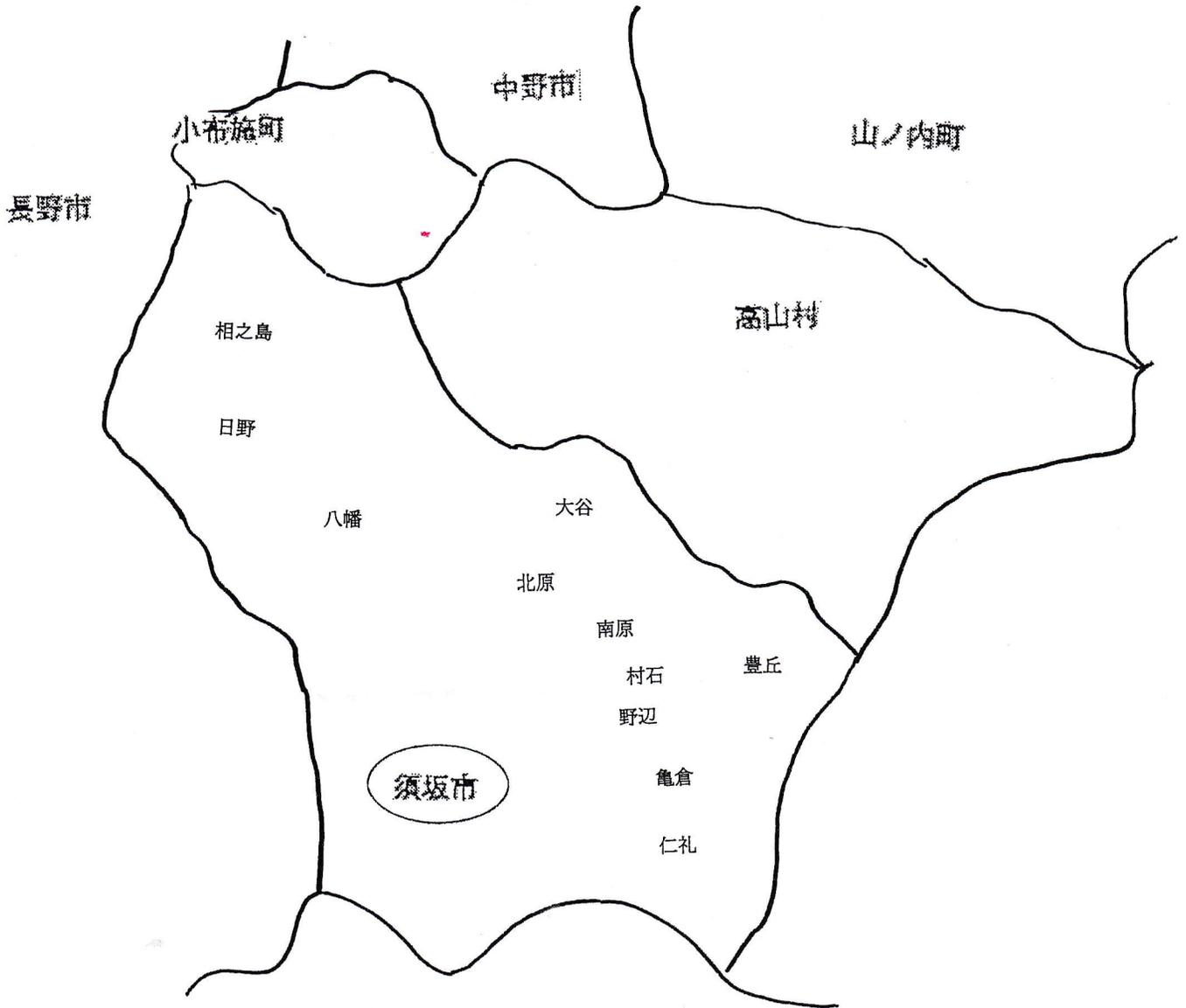
- ①旧漢字・旧仮名遣いは、現代の読者の便宜を考慮し、修正した。
- ②読みにくい漢字、意味がとりにくい語釈は、読み方や説明を()に入れて記した。

2-6. 例文

- ①すべての見出し語に例文があるわけではない。原本のとりの記載である。
- ②表記のルールは、前項に従う。

2-7. 備考

- ①原本を集成したままでは、わかりにくいと判断される見出し語については、補足説明を付した(*)。
- ②関連のコラムを適宜レイアウトした。



あ

あい はい。答のことば
[日野]

あいさ 間
[須坂] [日野] [村石]

あいつ あの人の人
[大谷]

あいて 会いたい
[日野]

あいどり 餅つきの相手
[日野]

あいは 相手。仲間
[須坂]

あえつ 彼。あの人の人
[南原] [豊丘]
[大谷] あえつら

あおる あおぐ
[日野]

あかし 明かり
[日野]

あかりい 明るい
[日野]

あがる 田畑から家へ帰る

[日野]

あきじめ 農事が終わる。刈おさめ
[日野]

あくされ 卑猥なこと。悪いこと
[北原] [日野] [村石]

あくたれ ①悪口をいう奴
[村石]
②悪口を言う。卑猥な事を言う
[北原] あくたれこく

あくて 悪口
[日野]

あくと かかと
[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [野辺]
[村石] [亀倉] [豊丘]

あぐねる 飽きてしまう
[日野]

あけー 赤い
[大谷]

あこべ あけび
[南原] [豊丘]

あさづけ ぬか味噌漬
[日野]

あさって ①翌々朝
[相之島]
②反対の方
[日野] あさっての方

あさって 翌々日
[相之島]

あさっばら 早朝。朝早く。
[北原] [相之島] [豊丘]
[大谷] あさっぴら

あさやけ 雨の兆あり
[相之島]

あしと 足跡
[相之島]

あしのうらをかく 人をだます
[日野]

あすび 杼（とち）
[日野]

あすびひ 休日
[相之島]

あすぶ 遊ぶ
[須坂]

あたける ①ふざける
[須坂]「あたけんな（＝ふざけるな）」
②あばれる
[野辺] [村石] [亀倉]

あだける あばれる
[八幡] [日野]

あたらしや 分家
[日野]

あたりばち すりばち
[日野]

あち 熱い。暑い。
[須坂] [日野]

あつけねえ はかない
[八幡]

あっこら あの辺
[須坂]
[日野] あっこ

あちゃ ①それでは
[南原] [日野] [豊丘]
②あれは
[相之島]
③あら
[八幡] あちゃあ

あっためる 盗む
[日野]

あったらもん ①惜しいもの
[相之島] [日野]
②惜しむ
[豊丘] あったらもんがる

あっち ①指のさすほう。あちら。
[相之島] [日野]
②暑い
[豊丘]

あっぱ 糞。大便。
[南原] [日野] [豊丘]

あっぱ 幼児の話。帽子。
[日野]

あつれる 製作をたのむ
[日野]

あて めあて
[日野]

あてずっぱ 適当。大よそ。
[相之島]
[日野] あてずっぽう

あとしゃり うしろへ下がること
[北原]

あね 嫁。兄嫁。
[相之島] [日野]

あのけんまく あのようにかくさん
[八幡] [北原]

あのやろ あの人の人
[大谷]

あばいあう 奪い合う
[日野]

あばける ふざける
[須坂] [日野] [村石]

あばされる 暴れる。ふてくされる。
[北原]

あばれる 戯れる (たわむれる)
[相之島]

あぶ やきもち (幼児の語)
[日野]

あぶらうる 道草を食う
[日野]

あぼつけね あっけない
[日野]

あま 女
[南原] [相之島] [日野] [豊丘]

あまっこ 娘
[野辺] [村石] [亀倉]
[大谷] あまっちょ

あまびら 蛾。小さい蛾。
[須坂] [相之島] [日野]

あまぶれくせ 布の焦げる匂い。焦げ臭い。
[須坂]
[八幡] あまびれくっせえ
[北原] あまびれっくさい
[日野] あまぶれる

あまもっくら ほんのりとした甘味
[須坂]「抹茶のあまもっくらした味がいい」

あめえ 甘い
[日野]

あめふりはな ひるがほ
[日野]

あやける あわてる
[日野]

あやす 子供の機嫌を取る
[日野]

あや玉 お手玉
[日野]

あをでえしよ 青大将
[日野]

あら 米の中に混じっているもみ
[日野]

あらい 鯉(こい)のさしみ
[日野]

あらとこ 処女地
[日野]

あらね あられ
[日野]

ありご 蟻
[須坂][大谷][日野]

ありやした ありました
[須坂]

ありやしめ 無いだろう
[豊丘]

あるこて ありますよ
[日野]

あるで ありますよ
[日野]

あんきだ 安心した。安心する。
[須坂]
[村石] あんきする

あんぐら あぐら。あぐらをかきこと。
[須坂]

[北原] あんぐらかく
[日野] あんごろ

あんしゃ お兄さん。兄。
[須坂]
[大谷][野辺][亀倉] あんしゃん

あんじょさん 庵主
[須坂]「馬場町の刑務所の上のお寺はあんじょさんのお寺だで」
[日野] あんじょ 尼僧

あんちゃ お兄さん。相手を見下げていう言葉
[須坂][北原][大谷][日野]

あんと ありがとう
[日野]

あんべわりい 調子が悪い。病気。
[須坂][相之島]
[日野][仁礼] あんべ
「あんべなっちょだね」

あんやん 兄。兄さん。
[大谷][相之島][日野][野辺][村石]

い

いいかんでかい 相当に大きい

[日野]

いいころかげん かなり手抜きな

[須坂]「庭の掃除なんかいいころかげんにやるとけばいいさ」

いいじゃなしか いいでしょう

[須坂]

[日野] いいだんかい

いいづなおろし 西の風

[相之島]

いいなした 申された

[大谷]

いいんかい いいですか

[日野]

いうそもった 言うと思った

[須坂]

いえもち 分家

[日野]

[相之島] えいもち

いがく 栗など皮をむく

[日野]

いがけ 手の甲

[日野]

いかしゃる 行かれる。行きなさる。

[野辺] [村石] [亀倉]

[大谷] いかしゃった

いかず 行きましょう。行こう。

[須坂]「ぼちぼちいかず (=そろそろ行きましょう)」[八幡] [南原] [日野] [豊丘]

[相之島] いかずか

いかった 帰られた。行かれた。

[南原] [村石] [豊丘]

いがっぼい 麦のいがなどが体にふれて痛がゆい状態のこと

[北原]

いきすぎ 出すぎる

[相之島]

いきなり なげやり。間髪をいれず。

[日野]

いきむ 下腹へ力を入れる

[日野]

いきりたつ 怒る

[日野]

いけず 生意気なこと。いたずら者。

[八幡] [北原] [日野]

いけね いけない

[須坂]

いごくりわるい いやらしく気持ちが悪い
[日野]

いしょ 衣装。着物。
[日野]

いさけ けんか。争い。
[八幡] [日野]

いたづいこ 虎杖 (いたどり)
[日野]

いざる ざる
[日野]

いたつけ かまぼこ
[日野]

いじかめる いじめる。虐待する。
[須坂]
[相之島] いじめる

いたみいる すまない
[日野]

いじがやける じれったい
[日野]

いたんか いたのか
[日野]

いしきあて 腰部にあてる布
[日野]

いちめ 一枚
[日野]

いじくる もてあそぶ
[八幡] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]
[八幡] [日野] いじる

いちゃつく 男女が触れ合い仲のいいこと。
はしゃぐ。
[北原] [日野]

いしぐるまにのる 小石を踏んで転ぶ
[日野]

いぢやる ざる
[日野]

いじごじする ひどくいじめる
[須坂]

いちんちひんがら 一日中
[日野]

いしたたき せきれい
[日野]

いっか いくか
[日野]

いしっころ 小石
[日野]

いっくら 幾度も
[相之島]

いっしょういれる 結婚の約束でたる入れ
という行事

[日野]
いっしょくた 全部まとめて
[村石]

いっしょまっしょ 一生涯
[日野]

いっち 一番。最も。
[日野]

いっちゃった 行ってしまう
[相之島]

いっちゃん 一番
[須坂]「いっちゃん前で」

いっちょうら 晴れの衣装
[須坂]「成人式にいっちょうらを着る」

いっつに 疾っくに
[日野]

いってさんじやす 行ってまいります
[日野]

いっとき 一寸の間
[日野]

いっぷくしてったい 一休みしてください
[野辺] [亀倉]

いっぷりよう あいそがない
[日野]

いっぺ いっぱい。たくさん。
[大谷] [相之島] [日野]
[須坂] いっぺー「腹いっぺー」
[北原] いっぺたべろー

いて 痛い
[日野]

いと そのうちに
[日野]

いどぐさ 雪の下
[日野]

いとこがたり いとこ同士の結婚
[日野]

いとじり 茶碗の糸底 (いとぞこ)
[日野]

いなせ ハイカラ
[須坂]

いなだく いただく
[日野]

いねど いないぞ
[須坂]
[日野] いねや

いの 犬
[大谷]

いびくる いじる
[日野]

いびりっこする いじめる
[八幡]

いもっと もっと
[須坂]

いびる 操作する。いじる。もてあそぶ。
[須坂]「私はパソコンをいびれない」
[大谷] [日野]

いやした 申された
[大谷]

いびんつ いびつ
[日野]

いり 奥
[日野]

いぶせ 大変な
[日野]

いろ 葬式の時にかける肩布
[日野]

いべさ 行こうよ
[日野]

いろさし 色合
[日野]

いぼつる すねる
[日野] [野辺] [亀倉]
[八幡] いぼっつり・えぼっつり

いわした 申された
[大谷]

いますこし もう少し
[日野]

いんご がんこで人情の分からないこと
[北原]

いまんころんなって 今頃になって
[須坂]

いんで 行って
[仁礼]「いんでおくんないさい」

いもがら ずいき
[日野]

いんにや 打消しの語。そうでない。
[日野]

いもじろ 芋汁
[須坂]

いもすこし もう少し
[須坂]

う

うえせえつける 上へ乗せる
[日野]

うざる うで上った (ゆであがった)
[日野]

うさんくさい 怪しい
[相之島]
[日野] うさんくせ

うじ 幼虫
[日野]

うしのべった 牛の糞
[日野]

うずくまる 身体を丸める
[村石]

うすらごむせ 薄汚い
[須坂]

うそかけ 藁靴 (わらぐつ)
[日野]

うそっこき ①嘘つき
[相之島]
②うそを言う人
[日野]

うそろ ①のろま (軽蔑語)
[八幡]

②間抜けたやつ
[野辺] [村石]

③間抜け
[亀倉]

④馬鹿
[日野]

うそろばか うすのろ少しばか
[南原] [豊丘]

うそろさむい なんとなく寒い
[日野]

うそんこ ①嘘の
[須坂]
②冗談遊び
[八幡]

③勝負ごとで、物のやり取りを
しないこと。たとえば、ビーダマなど負け
ても相手にとられない勝負のこと。
[北原]

うちべんけい 家の中でばかりいぼる
[日野]

うちわ 親類
[日野]

うっちゃらかん 放っておく
[相之島]
[日野] うっちゃっておく

うつつめる 押さえつける
[須坂]

うってげえし 口ごたえ
[日野]

うむ 熟す
[日野]

うっかしい うるさい
[日野]

うら こずえ (梢)
[日野]

うでっこき うでのすぐれた人
[日野]

うらはら あべこべ
[日野]

うでまめ 枝豆
[日野]

うるせねえ うるさい
[日野]

うな ①お前
[八幡] [大谷]

うれまし うらやましい
[日野]

②汝
[日野]

うろつき 放浪
[相之島]

③相手を見下げてよぶ呼び方。こと
に主人が自分の妻を呼ぶときの蔑称。
[北原]

うわっか 表面、うわべ
[須坂]

うな (ら) お前 (たち)
[村石]

うわっぱり 一番上に着るもの
[相之島]

うなら お前たち
[日野]
[野辺] (軽蔑・侮蔑)
[亀倉] (軽蔑・侮辱)

うんすけ うんと思う存分
[日野]

うなでに 自然に
[須坂] [日野]

うんにゃ ①いや、そうでない
[八幡]
②いやいや。
否定するときの言葉。

うぬら あなた方、お前さん方
[大谷]

[北原]

③いいえ。

うまい 上手
[相之島]

[日野]

うんめ おいしい
[須坂]

うんめい うまい・美味しい
[南原] [村石]

うんめえ うまい・おいしい
[豊丘]

え

ええかん ①だいぶ「ええかん進んできた」
(てーげー進んできたと同意語)
[須坂]
②よほど
[日野]

えいかん ①ずいぶん
[大谷]
②遠い
[相之島]

ええころかげん いいかげん
[日野]

ええっこ ①交換(結)
[八幡]
②手助けしあう
[日野] ええ

えいっこ 労働交換
[相之島]

ええどり 餅つきの相手
[日野]

ええぶ 歩く
[日野]

ええもち 分家
[八幡] [日野] [村石]

えがけ 作業用の手布
[須坂]

えがぬける 気が抜ける「このコーラ、えー
抜けてるよー」
[須坂]

えき ゆき(雪)
[南原] [豊丘]

えける 飲める
[相之島]

えこ あまり、甚だ(はなはだ)
[日野]

えご 意地悪
[日野]

えごい ほこりを吸った
[相之島]

えさけ 喧嘩
[日野]

えしよ 着物(衣装)
[豊丘]

えそぐ 急ぐ「まーず、えそぐだねかい」
[須坂]

えだれ よだれ

[日野]

えどくる やたらに色をぬる

[日野]

えだれかけ よだれかけ

[日野]

えのみのき えの木

[日野]

えっかる/えっける のる、のせる

[日野]

えび 指

[大谷]

えっそ 五つ

[南原]

[豊丘] えつつ 五

えべ 行け

[日野]

えっぺ ①いっばい

[八幡] [北原]

②たくさん

[南原] [大谷] [日野] [村石] [豊丘]

えべさ 行きましょう「ディズニーランド
にえべさ」

[須坂]

いべや 行こう

[相之島]

えっぺー いっばい「腹えっぺ」

[須坂]

えぼくる 不機嫌になる

[日野]

えと 糸

[南原] [豊丘]

えぼっこ イラスト (絵)

[須坂]

えの 犬

[南原] [豊丘]

えぼっつり 不満顔

[相之島]

えのぐ りんばせん

[日野]

えぼっつりむし かまきり

[相之島]

えのくる ①書きなぐる「広告のうらにえ
のくった」

[須坂]

②落書きする

[八幡] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

えぼつる ①すねる「まあず、えぼつってて
…いけね」

[須坂] [村石]

②不機嫌になる

[日野]

えむ 栗など熟して割れる

[日野]

②いいえ

[日野]

えれえ ①すごく「えれえ前」

[須坂]

②たいそう、たくさん cf.でかく

[大谷]

お

お 麻

[日野]

えれえこと 大変なこと

[須坂]

おあがりなして 昼食にどうですか

[野辺] [亀倉]

えんこ 子供の座ること

[相之島]

おい お前

[大谷]

えんさ 縁がわ

[日野] [豊丘]

おいったくる 追いまわす

[日野]

えんざ ①へた

[大谷]

②さや

[日野]

おいぬぎ 生えぬき

[日野]

えんちょうじ 方角ちがい

[日野]

おいよ 呼ばれた時の返事

[日野]

えんでく 歩いていく

[須坂]

おいんなさい おいでください

[日野]

えんでくろ (れ) 一緒に行ってくれ

[八幡]

おいんなして おいでください

[八幡] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

えんでくんない 一緒に行ってください

[北原]

おいんなんしょ おいでください

[大谷]

えんにゃ ①違う

[相之島]

おえ～ おい!

[須坂]

おーかん 大道
[日野]

おーよう 寛大
[日野]

おーく 多分
[日野]

おかうなぎ へび
[須坂] [日野]

おおけん おおよそ。だいたい。
[北原]

おかざり おそなえもの
[日野]

おーけん おおよそ
[日野]

おかせぎ 仕事頑張って
[須坂]

おおごくろ 大変な苦勞
[須坂]

おかせぎなして 今日
[野辺] [村石] [亀倉]

おおどこ 資産家
[日野]

おかた おかみさん
[日野]

おーば 広い場所
[日野]

おかつつあん おかみさん
[日野]

おーばす 大食
[日野]

おかまをおこす 財産をつむ
[日野]

おおふ けちけちしないこと
[須坂] [八幡]

おかもの 畑でとれるもの
[日野]

おおまくらい 大食漢
[八幡] [野辺] [亀倉]

おからみ たわし
[日野]

おーまくれ 大食
[日野]

おかるござんした そまつでした
[日野]

おーまんすい 大洪水
[日野]

おかん 風呂の湯かげん
[日野]

おき 薪の火

[大谷]

おき 平らかなる地

[相之島]

おき ①広いたんぼ

[日野]

②炭火などの火

[日野]

おきすくい 十能

[日野]

おきやがれ かってにしろ

[日野]

おきょうそ 不注意

[相之島] [日野]

おくで 奥のほう

[日野]

おくらい ください

[須坂]

おくらぶち ろえん (炉縁)

[相之島] [野辺] [村石] [亀倉]

おくれやれ/おくれやい おくんなさい

[大谷]

おくんなして ください

[須坂]

おくんなして いただく

[日野]

おくんなして いただきたい

[村石]

おけ ほっておけ

[日野]

おけし 子供の頭の毛をすり残したところ

[日野]

おけっちゃ 置くべし

[相之島]

おこ 汁の実

[相之島]

[日野] おこう

おここ たくあん「おここ食う」

[須坂] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

おここ たくあん漬け

[相之島] [日野]

おごちそう 賜物饗応 (たまものきょうおう) に対する礼の言葉

[日野]

おごっそ ご馳走様「おごっそでした」

[須坂]

おごっつお ご馳走

[村石]

おごっつおう ご馳走さまでした
[野辺] [亀倉]

おじいさん 祖父
[相之島]

おこつる 間に合わせる
[日野]

おじさ 祖父
[大谷]

おこびれ おやつ「おこびれの時間です」
[須坂]

おじさん おじいさん
[日野]

おこる 怒る
[相之島]

おしこと 言い合い
[日野]

おざ 説教のよりあい
[日野]

おしずかに 食事を続けてね
[須坂]

おさめる 捕える
[日野]

おしめ おむつ
[相之島]

おざんざ ①麺類
[須坂] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]
②そうめん、麺類
[日野]

おじや 雑炊(ぞうすい)
[相之島] [日野]

おさんざん くやみの言葉
[日野]

おじよこ ①生意気「おじよこせうな」
[須坂] [八幡] [野辺] [村石]
②大人の真似をする
[相之島]

おし 味噌汁
[相之島] [野辺] [村石]

③出すぎる、ませている
[日野]
④ませた行動
[村石]

おいしい 味噌汁
[日野]

おしよし (恐縮)「おしよしくて」
[仁礼]

おじ 次男、三男
[日野]

おしよれる へし折る
[須坂]

おしよる 折る

[大谷] [相之島] [村石]

おたち 満腹の上にもっと食べる

[日野]

おせー おそい

[大谷]

おたのもうしやんす お願い申し上げます

[須坂]

おぜえ 悪がしこい

[日野]

おたのもしやす お願いします

[野辺] [村石] [亀倉]

おぜ ずるい「そんなおぜことしんな」

[仁礼]

おだむ 静かになる

[日野]

おせとくらい 教えてください

[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

おだんでくる 穏やかになる「さっきまで

えらい雪が降ってきたけん、

おだんできたね」

[須坂]

おせる 教える

[大谷]

おちからおとし くやみの挨拶

[日野]

おせんしょ おせっかい

[日野]

おちからおとしで 落胆されて

[野辺] [亀倉]

おぞい 粗末な、こすい

[日野]

おちこみ 窪地（くぼち）

[日野]

おたあげる 大勢で談笑する

[日野]

おちじり 下水の落口

[日野]

おたくら くだらないこと

[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

おちゃおけ お茶うけ

[日野]

おたくら たわけ事

[相之島]

おちゃこ お茶を飲んで談笑する

[日野]

おたくら つまらぬ話、じょうだん

[日野]

おちゃじめ おちやうけ
[日野]

おちやづけじぶん 昼食時分
[日野]

おちゃんこ 座る「そこにおちゃんこして
な一」
[須坂]

おちやうべ へつらうこと
[八幡]

おちやうべ お世辞
[相之島] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]

おちやうべをたれる お世辞を言う
[須坂]

おちよくる からかう
[相之島]

おちよっかい おせっかい
[日野]

おちよび 軽はずみ
[日野]

おっかながる こわがる
[大谷]

おっかねい 恐ろしい
[相之島]
[日野] おっかね [村石] おっかねえ

おっかねー こわい
[大谷]

おつかれ ①どうも (用事がない時の挨拶
言葉)
[須坂]

②今晚は
[相之島] [日野]

おつかれさん こんばんわ
[野辺] [村石] [亀倉]

おつかれでござんす 夕方行きあった人に
対する挨拶
[北原]

おっかあ・おっかさ 母
[大谷]

おっかん お母さん、母親
[北原] [日野] [村石]
[八幡] かやん [相之島] おふくろ

おつけ (おつよ) 汁
[八幡]

おっこ こわい
[相之島]

おっこす 壊す
[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [村石]

おっこれた 壊れた
[須坂]
[大谷] おっこれる 壊れる

おっさん ①伯叔父（親族）

[大谷]

②おじさん（他人）

[相之島] [野辺] [村石] [亀倉]

[相之島] おとっさん

おっとしいおてんき ものういお天気

[日野]

おっちゃん ①お坊さん

[須坂]

②和尚さん

[八幡] [北原]

③伯叔父

[大谷]

おっとしな 一昨年「おっとしなの台風は
ひどかった」

[須坂]

おつまり おつまみ

[須坂]

おった 落ちた「ほー、ちり紙おったで」

[須坂]

おつまり 酒のさかな

[日野]

おっち 啞（あ）、なかないせみ

[日野]

おつよ 汁

[大谷]

おっちゃん 叔父、伯叔父

[北原] [大谷]

おてしょ 小さいお皿

[須坂]「おてしょにおかずを盛る」

[北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

おっちらかす とり上げない

[日野]

おでやった おいでなされた

[大谷]

おつつくべ うつむけ

[日野]

おでやる おいでになる「おでやったか」

[須坂] [野辺] [村石] [亀倉]

おってな 一昨日

[須坂]「おってな逢ったよね」

[大谷] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]

おでやる 来なさる

[相之島] [亀倉]

おっとさん 父親、おやじさん

[北原]

おでやれ、おでやれ おいでなさい
（迎え金で樺を焚きながら唱える）

[須坂]

おとっさ 父

[大谷]

おてんたら おべっか
[日野] [村石]

おとげ 顎 (あご) のこと
[八幡]
[日野] おとがい

おどけた 驚いた
[須坂]

おどける ①びっくりする
[相之島]
②驚く
[日野]

おとこしよ 男衆
[須坂] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

おとし こたつのあな
[日野]

おとっこ 末っ子
[日野]

おとつとき 一丁羅
[日野]

おにむし かぶと虫
[日野]

おね 峯
[日野]

おね いったい (一体)
[日野]

おねり 山車 (だし)、行列
[日野]

おば 女兄弟姉妹
[日野]

おば 自分の席
[日野]

おはようごわす おはようございます
[須坂]
[北原] おはようござんす 朝あった人
に対する挨拶

おばる 背負う
[日野]

おびい 尼僧
[日野]

おびおび おどおど
[日野]

おひつ めしびつ
[日野]

おひとつ お手玉
[日野]

おびとりはだか 着物を着て帯をしめない
[日野]

おひゃらかす 冷笑する・まぜかえす
[須坂] [日野]

おぶう 負う
[相之島] [日野]
[須坂] おぶる おんぶする

おぶくで 鏡餅
[日野]

おぶさる 負う
[日野]

おぶたて 出産祝
[日野]

おぶつく 仏に供える飯
[日野]

おぶつなさん 氏神さま
[野辺] [亀倉]

おへぎ おぼん
[日野]

おべちや・おべちや お風呂
[須坂] 「さあ〜て、おべちや へーるかな」

おべなし 思いなし・思い切って
[日野]

おまえ 君（目下をよぶ）
[日野]

おまえた あなた方・お前さん方
[大谷]
[南原] [仁礼] [豊丘] おめっちや
[大谷] おめえやた・おめっち

[須坂] おめさんちゃ あなた達は
[須坂] おめ一た あなたたち「つぎ、おめ一たの番だかな」

おめ お前・あなた
[北原]（相手を呼ぶときに通常使ったことば） [南原] [大谷] [豊丘]
[須坂] [相之島] おめさん
[村石] おめやん

おめえ お前・君（目下をよぶ）
[大谷] [日野]

おめかけねー 思いがけない
[大谷]

おめしめ 思い切り
[日野]

おめって おっくう
[日野]

おむす 蒸し暑い
[日野]

おやる おいでなさる・来る
[大谷] [相之島]

おやるかい ご在宅ですか？
[須坂]
[野辺] [村石] [亀倉] おやったかい

おやんねか おやりなさいませんか
[大谷]

およ 風呂

[須坂]

およんなして お寄りください

[須坂] [日野]

おら ①自分を呼ぶときのことば

[北原]

[大谷] おれ

②私等・自分等

[大谷] [相之島]

[須坂] おらほ [おらほは へ～ ほ～]

おらち 我が家

[須坂]

おりけえし 折り返し

[日野]

おろのく 間引く

[須坂] [日野]

おんかはれて 公然と

[日野]

おんと お座り

[須坂]

おんなしよ 女衆

[須坂] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

あした、あさって、その次は？

あした、あさって、しあさってと数えていくが、ほかの言い方はどのようなものがあるだろう？

明々後日(しあさって)の次の日は多くの地域では呼び方が無いが、地域によって呼び方がある。東日本では明々後日の次の日を弥の明後日(やのあさって)と言うが、岐阜や富山の一部では明々後日と弥の明後日の順番が逆である。なぜ、地域によって異なるのか調べてみた。日本国語大辞典に『都区内では弥の明後日、明々後日の順番で使われていた。しかし、西日本で明々後日の「し」を今日を1として数えたので、今日から3日後が明々後日になった。都区内がそれを受け入れ、弥の明後日を1日遅らせたと考えられる。』と書かれていた。

ちなみに、須坂市の [日野] には、明後日のことを「やのあさって」、明々後日のことを「やねあさって」という方言がある。

このように、同じ言い方でも違う日を指している場合があるので、いつなのか具体的な日付を付け加えるなど工夫が必要だ。

(新井梨華)

か

があたく ①乱暴

[須坂]「隣の息子はがあたくだ」

[八幡] [相之島]

②いたずら

[大谷] [野辺] [亀倉] [村石] [豊丘]

③わんぱく

[日野]

かあやん 母さん

[豊丘]

があら ①石地、荒地

[日野]

②小石の多い畑

[野辺] [亀倉]

③小石の多い所

[村石]

かいしき 全然

[日野]

かいしようなし いくじなし

[日野]

かいまき ねまき

[日野]

帰ってこえば 帰ってくれば

[須坂]「帰ってこえば、もう6時になる

からね」

がえろ ①蛙

[南原] [村石] [豊丘]

②げーろ

[大谷]

がえろつば おおばこ

[日野]

かか 妻

[大谷]

かかあ 妻・女房

[大谷] [相之島] [村石]

かかしらう 相手になる

[日野]

ががすっぽ からっぽ

[日野]

かがっぼい ①まぶしい

[須坂] [相之島]

②まばゆい

[日野]

[日野] かがかがする

かぎ 錠

[日野]

がき ①息子

[大谷] [村石]

②子供、子供をしかる

[相之島]

かぎつけ 自在かぎ

[日野]

[須坂]「～に、かぎける」

②人にぬりつける、ことよせる

[日野]

かく 甘酒、醤油をつくる

[日野]

かすこく 小生意気なことを言う

[須坂] [相之島]

かくねっこ かくれんぼ

[日野]

かすこくな 生意気なこと言うな

[野辺] [村石] [亀倉]

がぐる 邪推する

[日野]

かすつくさい 生意気 りこうぶる

[日野]

がげ 軒

[日野]

かする 上前をはねる

[日野]

かげした 軒下

[須坂] [相之島] [村石]

かせいで 急いで

[日野]

かげのぞきもしない 顔を見せない

[日野]

がたく ガキ大将

[須坂]「がーたく息子」

かげんぼち 影法師

[日野]

かたづける 嫁にやる

[日野]

かしがる 傾く

[須坂]

かたつちり上げる 専念しない

[日野] かしがる、かたがる

[日野]

かす なまいき

[日野]

かたっぺた 片側

[日野]

かすくせ 年のわりあいに利口なこと。ものわかりよく小生意気なこと。

[北原]

かたで まるで

[日野]

かぎける ①かこつける

(ぼこ)かたる ①(赤ちゃん)子守する

[須坂]「ぼこ、かたってくんない」

②子どもをお守する

[八幡]	がに (蟹) [南原] [豊丘]
かち (ぎっちょ) 左利き [八幡] [大谷] [相之島] [野辺] [村石]	かねちょうろ とかげ [須坂] [日野]
かづける ~のせいにする [須坂]「なにこく！おれにかづけるな！」	かぶつつら あばた [日野]
かっこむ かきこむ・食べる [須坂]「飯かっこんで…」 [大谷]	かぶりつく 食いつく [日野]
かっこん (はっこん) 蟻地獄 [日野]	かまあげ 稲刈り終わり用の祝 [日野]
かっちゃ (そうかっちゃ) ですか [日野]	かまう いじめる (心配する) [八幡]
がつつく がむしゃらに [須坂]	かまける ①ぐちを言う [須坂] [大谷] [相之島] [野辺] [亀倉] ②くりごと [日野]
かつぶし かつをぶし [日野]	かます たばこ入れ [日野]
かっぺなす・かっこなす 非難する [日野]	がまんど 果物のしん [日野]
かてっぼ 片一方 [須坂]	かまんどく 放っておく [須坂]
かなだらい 洗面器 [日野]	かめの子 尾椎 [日野]
がなる どなる [日野]	

～かやー ～かなー
〔須坂〕「風邪かやー」

かやん 母親の呼び方の一種
〔北原〕〔大谷〕〔野辺〕〔村石〕〔亀倉〕
〔南原〕〔日野〕〔豊丘〕 かつか

からいも 菊芋
〔日野〕

がらがら なる子
〔日野〕

からすげえり こむらがえり、けいれん
〔日野〕

からすでっぼう 半夏生
〔日野〕

からつつら 土産なしで人を訪れる
〔日野〕

がらっぱ 石の多い土地
〔日野〕

からっほ あいている
〔相之島〕

からみ やくみ
〔日野〕

からむし 麻糸
〔日野〕

からんからんにげる
〔須坂〕「一目散に逃げる」

がり 向こう見ず、精力家
〔日野〕

がりあう 口論する
〔日野〕

かわし 代り
〔日野〕

かわそ 麻の繊維
〔日野〕

がわた まわり
〔日野〕

かわちょんぴ かわせみ
〔日野〕

かわとんぼ おはぐろとんぼ
〔日野〕

川ながれ 溺死人
〔日野〕

かわばる 乾きつく
〔日野〕

かわらぐみ 秋ぐみ
〔日野〕

かわりばんてん 交替に
〔日野〕

がんが (幼児語) 犬のこと
〔日野〕

かんしな 勘弁してください

[須坂] [八幡] [北原]

[日野] かんし ゆるせ

かんじょう 予定

[日野]

寒じる 冷え込む、寒い、凍みる、寒さがひどい

[須坂] 「今朝は今年一番に寒じた」 [北原] [大谷] [相之島] [日野]

がんだ わんぱく

[日野]

かんねんだめ 流しじり

[日野]

かんのんさん しらみ

[日野]

かんばら 宙返り

[須坂] [村石]

かんばれ できもの

[日野]

かんます かき回す

[須坂] [大谷] [相之島] [村石]

き

ぎーら 体が弱くてブラブラしている

[日野]

きかい 製糸工場

[日野]

ぎがぎが ピカピカする

[日野]

きさま お前

[大谷]

ギシギシ はとむぎ

[日野]

きしゃがい おはじき

[日野]

きす (きつちよ) きりぎりす

[日野]

木曾ミナミ 西南の風

[相之島]

きつくり しゃつくり

[日野]

ぎっこんばったん シーソー

[日野]

ぎつちよ 左かちのこと。左きき。

[北原] [日野]

きつぺが強い きかん気

[日野]

きとくらい 来てください

[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

きなくせ 焦げくさい

[相之島] [日野]

きなこまめ 青豆

[日野]

きなし 不注意

[須坂]

きなる いらっしゃる

[須坂]

[野辺] [亀倉] [村石] きなさる

[大谷] きなした

きのうずに ゆっくりと・のんびり

[須坂] 「きのうずにやっておくらい」

[日野] きのずにやる

きのず のんびり

[須坂] [野辺] [村石] [亀倉]

きび 気味

[日野]

きびしょ 急須

[南原] [大谷] [相之島] [日野]

[野辺] [村石] [亀倉] [豊丘]

きびす かかと

[日野]

きびす しらみの卵

[日野]

きふれ 狂人

[日野]

きもつきり 短気

[相之島]

[日野] きもつきれ (きもみぢか)

きゃ一つえ 気が強い

[須坂] 「きゃ一つえ奴」

ぎやく 蛙

[相之島]

[日野] ぎやくったま

きゃんきやら おてんば

[日野]

きょういつ (きょうやつ) 今日頃

[日野]

ぎょうさん たくさん、おおげさ

[日野]

きょうで 兄弟

[須坂]

ぎょうる いじめる (料理する)

[八幡] [北原] [南原] [日野] [豊丘]

(魚を) ぎよる ① (魚を) さばく

[須坂] 「その魚、ぎよってくれや」

②いじめる

[村石]

きよくる からかう

[日野]

きよす おちつかぬ、不注意

[日野]

ぎよめる (殴って) いじめる
[須坂]

きよんな 昨年
[須坂]「きよんな、成人式だった」
[相之島]

きらむし 紙魚
[日野]

きんな 昨日
[須坂]「きんな道で転んだ」[大谷] [相
之島] [野辺] [村石] [亀倉]

ぎんなりする 気が抜ける
[日野]

く

くいしま 食べながら
[須坂]「飯くいしま しゃべくるんでね
え」

くぎつぼ 杭
[日野]

くさつぱち はれもの
[日野]

ぐざる だだをこねる
[大谷] [相之島] [日野] [野辺] [亀倉]

ぐし 棟
[日野]

くじな たんぼぼ
[須坂] [相之島] [日野] [村石]

ぐしもち 棟上げもち
[日野]

くしる すり込む
[須坂]

くずやね わらぶきやね
[日野]

ぐずらぐずら はっきりしない
[日野]

くちい 満腹
[相之島]

くちきく 反抗してどなる
[日野]

ぐっちゃ ぬかるみ
[須坂] [相之島] [村石]
[日野] ぐっちょ

くつばす くすぐる
[須坂]

[日野] くつつばす

くでー くどい
[南原] [大谷] [豊丘]

ぐにゃける やわらかくなる
[日野]

くね 垣根・畦(うね)・畔(あぜ)
[須坂]

くりまわし やりくり
[日野]

くねてる ませている・年よりふけている
[須坂][八幡][相之島][野辺][村石]
[亀倉]
[日野] くねっぼい

くるみ くるぶし
[日野]

くねぼう 支柱棒
[相之島]

ぐるりっと まわり中
[日野]

くねんぼ 杭
[日野]

ぐるわ 周囲のこと・回り
[八幡][村石]

くびねっこ くびったま(首の根元)
[日野]

くれ 土のかたまり
[日野]

くぼったまり 窪地
[日野]

くれー 黒い
[大谷]

くまんざれ 竹の熊手
[日野]

くれはたき 土壌をこわす
[日野]

くみど 川の水汲み場所
[日野]

ぐれる 怠け者になる
[日野]

くら 回
[八幡]「なんくら」(何回)
[八幡] けら

くろ (田畑の)あぜ
[日野][野辺][村石][亀倉]

くらしつける 殴る
[須坂][南原][相之島][日野]
[日野][豊丘]くらしせる

くろみち 畑道
[相之島]

くりくり 全部
[日野]

くわぐみ 桑の実
[大谷]
[日野] くわみず

くわんがら くわ(鍬)
[南原][豊丘]

くんない ものをくださいということば
[八幡] [北原]

くんね あげない
[八幡]

け

けいど 大通り
[相之島]

けいば 飼いば
[南原] [豊丘]

けえす かえす
[須坂]

けえだす かき出す
[須坂]

けえっこ 交換
[日野]

げえに 強く
[日野]
[相之島] げいに

げえにはたく 強く叩く
[須坂]「そんなにげえにはたいちゃいけ
ないよ」

げえにやる 強くやる
[八幡] [村石]

げえもねえ むだなこと
[須坂]「らっちょもねえ、げえもねえ」
[八幡] [北原] [大谷] [日野] [野辺] [村
石] [亀倉]
[相之島] げえもねい

けえる かえる
[須坂]「そろそろけえるか」

げーろっぱ おおばこ
[日野]

げーろったま かえる
[日野]

けきり虫 かみきり虫
[日野]

けご 蚕の幼虫
[日野]

けし 鳥のふん
[日野]

けしきがいい 見たところがいい
[日野]

げしする 吐く
[日野]

けし出す 汲みだす
[日野]

げしなこと 無理なこと・ひどいこと
[日野]

けしやる 蹴りあげる
[日野]

けったるい だるい
[日野]

けそけそ 平気なさま・何ないように
[八幡] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]
[北原] けそけそしてけつかる しらん
ふりしていやがる
[須坂] けそけそしてる すまし顔して
る・平然としている

げっち 思い切り
[須坂]

けつとばし 馬の肉
[日野]

けそはらう 知らぬ顔をする
[日野]

けつまくる 降参する・やり散らかす
[須坂]

けだし ①家の入口・門から入口までの道・
家から出る道
[須坂] [八幡] [相之島] [日野] [野辺]
[村石] [亀倉]
②境内
[須坂]

けつまづく つまづく
[須坂]

けべえ 煙い
[豊丘]

けつかる している
[日野]

げや 母屋にそえた小屋
[日野]

げっげ 嘔吐物
[日野]

けやす 消す
[須坂]「この画面、けやすに、どうやる
ん」

けつける 蹴とばす
[日野]

げれ 最後尾・しんがり
[八幡] [日野]

けっこくる 蹴ちらす
[須坂]

けんまく ①たくさん
[須坂]「このけんまくもらったって」
[八幡]

けっそかっぱらう すましている
[須坂]

[相之島] このけんまく
②勢 (いきおい)
[日野]「あのけんまくもらった」

こ

ごい (たくさん)「大層ごいなもんだ」
[日野]

こいつたま たくさん
[日野]

ごいんじょさん 御院主様
[日野]

ごう (殻)「豆のごう」
[日野]

こうかけ わらぢの下にはくたび
[日野]

ごうじ 蠅の幼虫
[日野] [村石]

ごうずか ごみすてば (貝塚)
[八幡]

こうすき 雪かきの道具
[北原]

ごうたれ 強情
[日野]

こうで 手首が痛む病気
[八幡]

ごうて 五体 (身体)
[野辺] [村石] [亀倉]

こうながる ①腰を曲げる

[野辺] [村石] [亀倉]

[仁礼]「こうながると痛い」

②うつむけになる。頭を下に
して体をまげること。

[北原]

③前にかがむ

[村石]

こうふく かびがはえる

[日野]

こうふける かびがでてくる

[八幡]

こうべがはやい すばしっこい

[日野]

ごうまく かさばる

[日野]

こえずか 堆肥所

[日野]

こえつ この人

[大谷]

ごおじ うじ虫

[八幡]

ごおばる ごわごわする・厚ぼったい

[須坂]

ごおわかす 立腹・腹立つ

[相之島] [日野]

ごおわく 頭にくる
[須坂]

こかす なくる
[日野]

ごきたね きたない (汚い)
[日野] [仁礼] 「ごきたねマネしんな」

こきばしあげ 稲扱き終りの祝
[日野]

こく 言う
[須坂] 「何こいてる」 [八幡] 「こきゃやがる」

こぐ 水の中を歩いていく・大雪の中を歩いていく
[日野]

こくな 言うな
[南原] [日野]

こくや 米屋
[日野]

こぐり 小さな潜戸
[日野]

こくる 喉がつまる
[須坂]

こぐる くぐる
[須坂] 「天井低いで、こぐっていけや～」

こごり かたまり
[日野]

ごぎうち 畳のついた下駄
[日野]

ごしたい 疲れてだるい
[八幡] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

ごしてー 疲れた・だるい・難儀
[須坂] 「あ～～ごしてー」 [大谷]
[八幡] [相之島] ごして

ごしょらく らく
[日野]

こじり 蚕沙
[日野]

こじる 無理をする
[日野]

こずけ 小ずかい
[日野]

こすっからしい 小生意気な
[須坂]

こずっぱな こわい沢山のはな汁
[日野]

こずむ 複雑になる
[日野]

こせる こしらえる
[須坂]

ごぜんさん 仏に備えるごはん
[日野]

こそっぺ ①滑らかでない・ざらつく
[八幡] [日野]
②仲たがいする
[日野]

ごた ①ワンパク・元気の良すぎる子
[須坂]「ごた息子にゃ、まーまいるわ」
②手におえぬ
[日野]

こだこっさー 今度こそは
[豊丘]

ごたこねる ①(子供が)むずがる
[大谷] [相之島] [野辺] [亀倉]
②だだこねる・わがままをいう
[八幡] [日野] [村石]

こつ 強情
[日野]

ごつい 粗野だ
[日野]

ごっしゃん ご師匠(先生)様
[須坂]

ごっそ ごちそう
[日野]

ごったく 整理整頓していないさま・乱雑
[八幡] [大谷] [相之島] [日野] [野辺]
[亀倉]

こっばす 頭のできもの
[日野]

こっばすやろ 役に立たぬ男・ばかやろ
[日野]

ごっばな 濃いはな汁
[日野]

こっば屋根 板ぶきの屋根
[日野]

こっぱりつけろ ながる
[日野]

こっぴどい ひどい
[相之島]

ごてい 亭主
[日野]

こてーらんね こたえられない・最高の喜び・たまらない
[須坂]「あちーときのビールはこてーらんねーな」[日野]

こてっばやく 朝うんと早く
[日野]

こてんこてん すっかり
[村石]

こないだ この間・此の頃
[大谷] [日野]

こながる 前にかがむ・前かがみ・腰をまげる

[須坂] [八幡] [相之島]

[八幡] このがる

こなす ①悪くいう

[日野]

②こく物などを調整する

[日野]

こねかい 来ませんか

[村石]

ごねる 死す

[相之島]

ごねんいりやした ありがとう

[日野]

このけんまく こんなにたくさん

[日野]

ごはい 寺などの入口

[日野]

こぼそだて 稚蚕の飼育

[日野]

こびき きこり

[日野]

こびつく 焦げつく

[日野]

こびれ 間食・おやつ

[大谷] [相之島] [日野]

こびんたま こめかみ

[日野]

ごぶて 太い

[日野]

こぶる 水がたまって流れない

[日野]

ごほうべんに しあわせに

[日野]

ごまごま 小さい物が多くある時

[日野]

こまっしゃくれる 小生意気

[須坂]

[村石] こまっしゃくれ 大人びている

[日野] こまっちゃくれ おしゃま

こみっちり 結構充実して

[須坂]

ごむさい 汚い

[須坂] 「ごむさい靴下」

[相之島] ごむせい

[日野] [村石] ごむせ

ごむしん おねがい・物をゆずってほしいこと

[北原]

こめむすび ほどきにくい結び方

[八幡]

ごめん さようなら

[日野]

須坂市の女王様

ごめんなして 失礼します

[須坂]

須坂市では、シャインマスカットとユニコーンを交配して作られた“クイーンルージュ”が有名である。“クイーンルージュ”という名前は「女王級の甘さ」と「口紅のような美しい赤色」を組み合わせたもの。シャインマスカットを親に持つクイーンルージュは糖度 20 度以上を誇り、シャインマスカットを上回る甘さが特徴である。

こもる 茂る

[日野]

2019 年に品種登録され、2021 年に初出荷となるが、現在では長野県内でしか栽培されない。シャインマスカットと同等に扱われる高級な赤系のぶどうである。

こらった 来られた・おいでなされた

[南原] [大谷] [村石] [豊丘]

(永井瑚青)

こらっちょもねエ 埒もない

[須坂]

ころころ こおろぎ

[大谷] [日野]

熱・意気・ガリの臥龍魂

ごろつく ぶらぶらしている

[日野]

須坂高等学校が創立当初から掲げる校是です。初代・岩崎長思校長が生徒に熱く語りかけた「起てよ臥龍の健児」から生まれたと伝えられています。

ごろまけ 完全にまける

[日野]

「ガリ」について、『須坂高校百年史』(2024)では、「北信の方言、時流に流されず自分自身の存在意義を失わず、「我」を貫くことの大切さを意味する」と説いています。

ごわす ございます

[須坂]「おはようでごわす」

北信地方の方言集では、ほとんど目にしませんが、今回収録の対象とした『日野村志』(1959)には、「向こう見ず、精力家」と記述されており、半世紀ほど前までは、当地でも現役の語であったことが裏付けられました。

ごんぜやく 困らせる

[相之島]

(大橋敦夫)

駒澤 嘉（こまざわ よし）先生

この方言集は、「2025（令和7）年度
公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金」に
よって発行することができました。

基金の提供者である駒澤嘉先生の顕彰碑
が、アートパーク内にあります。

その文面を読んでみます。

駒澤嘉先生顕彰碑

駒澤嘉先生は須坂藩の家老駒澤家十五代
当主駒澤仙左衛門貞治の孫娘として明治参
十四年に生を受け、天性の英知と不屈の信
念をもって四十五年間ひたすら教育一筋に
生涯を捧げ、その後生涯学習による自己確
立を提唱し率先垂範された。

平成四年には祖先の眠る地へ寄せる熱い
想いから須坂市の生涯学習活動発展にと高
額な浄財をもって「公益信託駒澤嘉須坂生
涯学習振興基金」を設立し、人一倍生涯学習
社会づくりを希求された。

先生の遺徳を広く市民に伝えると共に須
坂市民が一丸となって生涯学習づくりに取
り組むため、在天の光とられた先生に、心
から敬意と感謝を表し、市民と共に精進を
重ねることを誓い、ここに、末永く顕彰す
るものである。

平成十年五月

須坂市駒澤嘉顕彰会

[裏面]

平成九年五月十九日没後、先生の一周忌
に際し、大谷町駒澤会の協力を得て、須坂市
駒澤嘉顕彰会が建立する。

平成十年五月十六日

また、この須坂市生涯学習センター作成
の基金の案内には、次のような紹介文が載
っています。

●駒澤嘉（こまざわ よし）さんは
どんな方？

駒澤嘉さんは、須坂藩の家老として藩政
に尽力した駒澤家十五代当主駒澤仙左衛門
貞治の孫娘として明治 34 年に生まれまし
た。

長岡女子師範学校（現新潟大学）を卒業
し、新潟・長野・東京などで小学校、高校の
教職を歴任し、子弟教育にその人生を捧げ
られました。

その後、いわき市にて余生を送られるよ
うになってからは、自己実現のため、「健康
管理と生涯学習」を二本の柱に据え、「最善
を尽くして今を生きる」を信条に、生涯学習
による自己確立を提唱し率先してこれを実
践されました。

福島県いわき市にも、須坂市と同じ趣旨
の基金があり、社会教育関係団体や学習活
動団体に対して、助成金が給付されていま
す。

駒澤嘉先生のご先祖をたずねると、幕末
期の須坂藩校・立成館の学監を長く勤め、廃
藩後は、私塾を開き多くの子弟の教育にあ
たられた駒澤国右衛門という方がいらっし
やいます。

駒澤嘉先生のベースには、教育一家の伝
統があったと言えます。

（大橋敦夫）

さ

さーけん なんだけど
〔須坂〕「さーけん私の意見は違うんな」

さかさっぱ さかさま
〔日野〕

さがす 捜る
〔相之島〕

さかる 繁昌する
〔相之島〕〔日野〕

さき (物事を始める前)「行くさきたって」
〔日野〕

さきおってな 一昨日・さきおととい
〔八幡〕〔北原〕〔大谷〕〔日野〕

さくさく 淡泊
〔日野〕

さくでえしよ 農作を中心になってする者
〔日野〕

さくなみ 作柄
〔日野〕

ざぐり まゆから糸をとる仕事
〔日野〕

さけ 境
〔南原〕〔日野〕〔豊丘〕

ささいた 屋根をふく板
〔日野〕

ざざ根 こまかい根
〔日野〕

ささらほさら ①適当・いいかげん
〔八幡〕〔日野〕〔野辺〕〔亀倉〕〔村石〕
②めちやめちや
〔日野〕

さし 味噌や醤油にでるうじ
〔日野〕

さしあう 都合が悪くなる・二行事が一緒になる
〔日野〕

さしこみ 胃けいれん
〔日野〕

さずが 小刀・ナイフ
〔八幡〕〔日野〕〔野辺〕〔亀倉〕

さっかけ ぞうり
〔日野〕

さっきながた 先刻
〔日野〕

さっきなに ずっと前に
〔日野〕

さっきやく さしあたり
〔日野〕

さっくべる 薪をくべる
[日野]

さっそく あっさり・気軽に
[日野]

さばく 裂く
[日野]

さばける 裂ける
[日野]

さびい 寒い
[須坂] [大谷] [相之島]
[南原] [豊丘] さび

さびや 寒いや
[北原]

さまぐ 騒ぐ
[南原] [豊丘]

ざまみろ いい気味
[相之島]

さむしい さびしい
[大谷]

さもねえ (ない) たいしたことではない
[八幡]

さら ①しか〈これさらくれない〉など
[日野]
②まで〈皮さら食べる〉など
[日野]

さらっこい 器の底の浅いもの
[日野]

さわす 水にひたして洗う
[日野]

さんざ 沢山・十分・充分
[大谷] [相之島] [日野] [村石]

さんざくった 沢山食った・満腹
[北原] [相之島]

さんざになる 沢山になる
[須坂]

さんじゃく へこおび
[日野]

さんたいも つくねいも
[日野]

さんだす 差し出す
[相之島] [日野]

さんだらばせ 米俵の蓋
[日野]

さんちうがみ 半紙版の美濃紙
[日野]

さんとく 紙たたみの財布
[日野]

さんばらがみ 乱れた髪
[日野]

し

し(よ) 〈知らねしよ〉等
[日野]

しいな 未熟米・未熟豆
[須坂]

しおびき 塩ざけ
[日野]

しか 位牌を乗せる台
[日野]

しかくばる 立派な口上
[相之島]

しきり 陣痛
[日野]

じきろ 菓子やまんじゅうを入れる木製の器
[日野]

しこ ①恰好・したく
[八幡]

②小便
[相之島] [日野]

③身なり・しぐさ
[日野]

しこたま 沢山・たいそう・どっさり
[須坂] [八幡] [大谷] [日野]
[北原] [相之島] [村石] しこったま

しこって ①手におえない
[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [豊丘]

②仕方がない
[八幡]

しごとぢぢ・ばば しょうと・しょうとめ
[日野]

しこまる 小便する
[村石]

したじ 汁
[日野]

しつかい(悉皆) すべて
[日野]

じっく びしょ濡れ・ずぶぬれ・びっしょり
[須坂] [相之島] [日野]

しっこまる(しっこひる) おしっこする
[須坂]

しっちゃんばく 引き裂く
[須坂]
[相之島] [村石] しっちゃん

しっちゃんらかす ちらかす
[須坂]

しっぺ 手の甲をたたく
[相之島]

しっぺた 尻
[北原] [大谷]

してぐち 額

[相之島] [豊丘]

しと 餅つきの打水

[日野]

しな(しま) ながら

[日野]

～しな～い? ～だよね

[須坂]「このにらせんべーおいししな～
い？」

しなくれる(しなびる) しおれる・ちぢ
む・しなびる・しおれる

[八幡] [日野] [村石]

しなした なさった

[大谷]

しなだま お手玉

[日野]

しびー しぶい

[大谷]

しびくる しくじる

[日野]

じぶり 長雨・夕立に対して

[日野]

しほんびき 三盆白・白砂糖

[日野]

しま ながら

[日野]

じまめ 落花生

[日野]

じみ 蟬

[大谷] [相之島] [日野]

凍(し)みる 凍る・寒さで凍り付く

[須坂]「霧が降りて大根が凍みた」
[八幡] [相之島]

しむ 死ぬ

[北原] [大谷]

しめし おむつ

[日野]

じもぐり 小蛇

[日野]

しゃーく 柄杓

[大谷]

しゃあくなし くだらぬこと

[日野]

しゃいもね むだ・つまらない・あどけない

[南原] [豊丘]

しゃがむ うずまく・足のひざを曲げる

[大谷] [相之島]

しゃつつら 面つら

[日野]

しゃつぽ 帽子
[村石]

しゃもぢをかつぐ 飯びつがからになる
[日野]

じやん 祖父・おじいさん
[北原] [大谷] [野辺] [亀倉] [村石]

しゅん 時季
[相之島]

しょう 背負う
[須坂] [相之島]

しょー 塩
[大谷]

じょう 十
[南原] [豊丘]

しょうことなし 仕方なしに
[日野]

しょうしい 恥ずかしい
[須坂] 「まあしょうしだねーかい」
[八幡] [相之島] [日野] [村石]
[日野] しょうし・おしょうし

しょうじんあげ 忌明け
[日野]

しょうたれ 不精者・ぬれこと
[日野]

しょうてなし 正体なし・正常でない・気絶
したような状態
[八幡] [日野]

じょうの 十能
[南原] [相之島] [豊丘]

じょうばこ 重箱
[大谷]

じょうべいし 藁打石
[相之島]

じょうや 地主
[日野]

じょうや ①いつものこと
[須坂] [八幡] [大谷] [野辺] [亀倉] [村石]
②時々または常に・たびたび
[相之島] [日野]

しょうれ たち・性質
[日野]

しょうがねい 詮方なし・仕方がない
[相之島]
[日野] しょうね

じよける ふざける
[日野]

じよせねえ (ない) 如才ない・腰が低い
[八幡] [野辺] [村石] [亀倉]

しょつきり 第一番目
[日野]

しょっちう 始終
[豊丘]

しょっぱね 最初に
[日野]

しょっぺ 下手に出来た
[日野]

しょっぺ しょっぱい・塩辛い
[須坂]「このにらせんべーしょっぺねー
かい」
[相之島] しょっぺい

しょて 最初に
[日野]

しょばうく そぼ降る雨
[日野]

じょろいた 風呂の中板
[日野]

じょんさ 巡査
[南原] [豊丘]

じょんのび 気楽に
[日野]

しょんべん 小便
[日野]

しりしね 知りません
[大谷]

しりもひっかすばって 知りもしないのに
[須坂]「しりもひっかすばって、かすこ
くな！」

しれー 白い
[大谷]

しわい けちんぼ・けちなようす
[北原] [日野]

しわしわする 底冷える
[日野]

し(ひ)んがらかく 片足でとぶこと・片足
[八幡]
[日野] [亀倉] しんがら

しんとう 芯
[日野]

しんの なんぎ
[日野]

しんびきする 二の足をふむ
[日野]

す

ずいき 芋茎
[日野]

すいこ すいば
[日野]

すいの ふかし器
[日野]

すいろ せいろう
[日野]

ずうて 大きい体
[相之島]

すがれ 物の盛をすぎたこと
[日野]

ずく 意欲・根気
[八幡] [大谷] [日野]

ずくだす やる気を出す
[村石]

すくだまる 小さくなって動かない・うず
くまる・しゃがむ
[八幡] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]
[日野] つくだまる

ずくなし ①怠け者
[須坂]「おめさん、ホントにずくなしだ
なあ」[相之島] [日野]
②寒がり
[相之島]
③こまごました仕事をいやがっ
てやらないこと。体を動かしたがない
事。
[北原]

すくねー 少ない
[大谷]

すくら 蚕のまぶし
[日野]

すぐり ①つらら(氷柱)
[大谷] [相之島] [日野]
②ぐみ
[日野]

すぐる 遅刻する
[八幡]

すける 手助けする
[日野]

ずこったま 頭
[大谷]

すじ 種粃(たねもみ)
[相之島]

ずっけ 棒引き・棒っぴきにする・交換す
る・同じ価値
[八幡] [北原]

ずっけにする 等価交換する
[須坂] [大谷] [野辺] [亀倉]

すっぺ 酸いこと
[北原]

すっぺこっぺ 全然なくす
[日野]

すっぽかす ①ほかす
[南原] [大谷] [豊丘]
②なげる
[豊丘]
③殴る
[南原]

すっぽなげる 投げる
[大谷]

ずで たいそう・全く
[須坂] [相之島]

ずでこで まるで・まるっきり・まったく
[須坂] [八幡] [北原] 「ずでこでだめだ」
(全然だめだ) [大谷] [野辺] [村石] [亀
倉]

ずぶっくり 水にもぐる
[日野]

ずぶて 素直でない
[村石]

ずぶとい 大きい態度
[村石]

すべらっこい (すべらっかい) なめらか
[日野]

すべりっと 氷すべり
[日野]

ずるい 遅い・悪い人
[日野]

ずんぎり 木製たばこいれ
[日野]

せ

せいがきれる 息苦しい
[日野]

せいそく 催促
[南原] [豊丘]

せいふ 財布
[南原] [豊丘]

せいふろ 据え風呂・風呂
[南原] [相之島] [村石] [豊丘]

せう 言う
[須坂] 「～せうだんかい」(～だそうです
ね) 「～せうもんさ」(～というものじゃない！)

せう 言う
[八幡] [北原] [相之島] [日野]
[須坂] **せわんどかず** (言わないでおこ
う)

せーぜー 充分に
[日野]

せーで (物事の起こった原因)
[日野] 「お前のせーでおれもしかられた」

せえふ 財布
[日野]

せが 木材の引き残りの板
[日野]

せぎ 溝
[日野]

せきさか せいぜい
[日野]

せこぶ せむし
[日野]

せしようやなぎ ポプラ
[日野]

せせる からかう
[須坂] [八幡] [相之島] [日野] [村石]
[八幡] [日野] せせくる

せっこいい ①よく働く
[大谷] [相之島] [[野辺] [村石] [亀倉]
②意欲がある
[八幡]
③制が出る
[日野]

せっせといく 急ぎ行く
[相之島]

せった 言った
[北原] [南原] [大谷] [豊丘]
[須坂] せったかせわねか (言ったか言わ
ないか) 「せったかせわねか せってみろ」
[北原] なんせったけなあ (何と言ったか
なあ)

せったい 言ってください
[村石]

せつない 悲しい・つらい
[八幡] [村石]
[八幡] せつねえ

ぜに 銭
[相之島]

せめい 狭い
[相之島]

[大谷] せめー

せんしょう おせっかい
[日野]

せんぜばたけ 野菜畑
[八幡]

せんぞ 大根など細くきざんだもの
[日野]

せんぞつき せんぞにする道具
[日野]

ぜんて 全体
[日野]

ぜんて そういっても (否定)
[八幡]

せんどな 先日
[須坂] 「せんどなお会いして好きになり
ました」 [相之島] [日野]

そ

そうかつちゃ そうですか・そうでしたか
[須坂] [八幡]

ぞうさもねえ たやすい
[須坂]

そうだらず そうですね
[須坂]

そうだんか そうでないかね
[北原] 相手に相づちを打たせるように
言う。

そうれ 葬式 (葬礼)
[日野]

そえつ その人 (そいつ)
[大谷]

そおどこじゃねえ そのとおりだよ
[須坂]

そこまめ 足の裏の豆
[日野]

そさび 間食
[八幡] [相之島] [日野] [野辺] [村石]

ぞぜちゃべり 甘える様な言葉づかい
[日野]

ぞぜる 甘える・むずがる
[須坂]「何ぞせてるだ」[八幡] [南原]
[相之島][日野][仁礼]「ぞぜるだねえ」

[豊丘]
[大谷] ぞぜーる
[北原] ぞぜっぺ 甘えっぼい・人にたよ
りがちなこと

そつ むだ
[日野]

ぞつき ぞろい
[日野]「絹ぞつきの支度」

そっくりけえって ふんぞりかえって
[須坂]「そっくりけえり過ぎだしない」

ぞっくり ①そのまま
[相之島]
②群がって
[相之島]

そっけなし あいそがない
[日野] そっけねえ

そっちこっち 大体
[日野]

そっぺない 愛想ない
[村石]

そねっぺ ねたむ・ねたみ深い・ねたみっぼ
い
[北原] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]
[日野] そのっぺ

そのいとに そのうちに
[須坂]「そのいとに、とーちゃん けー
ってくるから」

[相之島] [村石] そのえと

そべる 横になる・寝る・横になって休む

[須坂] [八幡] [相之島] [日野] [野辺]

[村石]

そらっかまんどく 完全無視する

[須坂]

そらっこと うそ・偽りごと

[南原] [日野] [豊丘]

それっばか それっぼっち

[須坂]

ぞんじゃしねー ぞんじません

[大谷]

そんなことござんしね そのようなことは
ありません

[北原]

須坂の言葉に刻まれた歴史と風土

須坂市の魅力は、地名・方言がこの地の歴史が刻まれていることです。

市名「須坂」は、かつて千曲川氾濫原にできた「洲処（すか）」や「乾いた坂」を意味する地形から転じたと言われています。水と共存してきたこの地の地理的背景を物語っています。また、公園の「臥竜（がりゅう）」は、池と丘の形が竜が伏せた姿に似ていることから名付けられ、自然を愛する人々の感性を伝えています。

方言では、「～ずら（～だろう・～だろ）」という言葉が有名です。「この林檎、おいしいずら？」は、「この林檎、おいしいでしょ？」という意味で親近感のありつつも自信に満ちた姿勢を表現しています。

言葉に目を向けると須坂の方言の素晴らしさと、奥深い魅力と、そこに暮らす人々の温かさが感じられるでしょう。

（坂口亜綺）

「凍みる」について

私は、辞書の索引を作成している中で、いくつか方言の意味を方言で解説しているものがあることに気がつきました。その中でも長野県民には伝わるであろう「凍みる」。

この方言が「寒じる」の説明の中に入っていました。共通語なのか気になり、調べたところ雪深い地域で使われている方言であり、やはり共通語ではない模様。意味は「寒じる」の寒さがひどい様子、冷え込むとは少し異なり、寒さで凍り付く、凍るなどのさらに寒い様子を表すときに使われている言葉だそうです。

また、私自身は普段使う言葉ではないので、家族に聞いてみたところすぐに発音を指摘されました。私は「凍みる(し↓み↓る)」(傷が染みると同じ発音)と発音したのですが、実際の発音は「凍みる(し↑み↑る)」が正しい発音だそうです。

これからさらに寒さが厳しくなる長野県。今後は「凍みる」を正しい発音で使っていきたいと思います(2025.12)。

(小川原幸来)

地域によって違うじゃんけんの掛け声

じゃんけんをする際には、「じゃんけんぽん！」と掛け声をかける人が大多数だろう。しかし、須坂の方言である「ちっち」という言葉を見た時、掛け声も地方によって方言として違うのかと気になった。

同じ中部地方の掛け声でも、新潟県だと「ちっけった」「じっけった」静岡県だと「グーパージャス」「じっけった」、石川県だと「いんじゃんほい」など他県のみならず同じ県でも書ききれないほど呼び方は様々である。

長野県でも、「ちっけった」「いんじゃんほい」「じっけっぽ」など様々である。長野県の方言はおおまかに、北信・中信・南信・東信の区分で説明されている。北信は県北部・新潟県寄り、東信は県東部・群馬県寄り、南信は県南部・愛知県寄りである。これにより、須坂市は北信に位置するため新潟県寄りの要素も合わせ持っていると考えられる。私にとっては珍しい言葉が他では日常的に使われておりそれがとても面白く感じられた。

(川上梨珠)

た

だあ～ 違うよ

[須坂]「だあ～そんな」

だーさ ①違うよ

[須坂]「だーさあーおめさん」

②否定

[相之島]

[日野] だあーだあーさ

たあくらたあ ①いい加減な奴

[須坂]

②馬鹿

[相之島]

③でたらめ

[八幡] [野辺]

[村石] たあくらため

[亀倉] ためくらたあ

たーら 俵

[大谷]

だいじんこ 大金持ち

[南原]

だいせん いったい

[日野]

たいもね あどけない

[南原] [豊丘]

だいもん 社寺の入口

[相之島]

たかば あしだ

[日野]

たぐねる たぐる

[日野]

～たける ～しほうだい

[須坂]「借金たける」「貧乏たける」

だけん だけど

[須坂]

たごき 脱穀

[須坂]

～だこて ～ですよ

[須坂]「これがうまいんだこて」

〇〇だし 〇〇だよ

[八幡]

だしあれ ①急な雨

[相之島]

②にわかあめ

[日野]

～だしない? ～だよね?

[須坂]「久しぶりだしない?」

たしね 少ない

[日野]

だだ しまりがいい

[日野]

たたき 塵払い

[日野]

たたっころぶ 強く転ぶ

[須坂]

～だっちゃ? ～だろうか?

[須坂]

たつみ風 東南の風

[相之島]

だてっこき かざる人

[大谷]

たぼけり タバコ入れ

[南原]

[豊丘] たぼけり

[相之島] たぼこより

たべてくんない お食べください

[大谷] [野辺] [亀倉]

たぼたぼ ふくらはぎ

[日野]

たまあに 時々

[相之島]

たまげる 驚く

[須坂]「たまげた、へえ～」[八幡]

[南原] [相之島] [豊丘]

だみごみ 何もかも一緒にする

[日野]

だみや ①葬具屋

[北原] [日野]

②造花屋

[北原]

だめ 為し能ず

[相之島]

だめだしない だめだよ

[須坂]「そんなことやっててもだめだしない?」

ためる ねらう

[日野]

～だらず? ～でしょ?

[須坂]

だるま 売春婦

[日野]

だれえ そうでない

[須坂]「だれえ、そんなことないっス」

たわけ 馬鹿な

[野辺] [村石] [亀倉]

(そう) だんか ではないか

[八幡]

～だんかい? ～でしょう?

[須坂]「そうせっただんかい」

たんこぶ コブ

[仁礼]「頭にたんこぶできた」

たんし たにし
[大谷] [相之島]

だんだ 風呂・入浴
[日野]

たんと ①沢山
[北原] [相之島]
②大そう
[相之島]

たんぼ 田畑
[相之島]

たんぼ 袂 (たもと)
[相之島] [日野]

ち

ちあんべ 婦人痛の一種
[日野]

ちいせ 小さい
[南原] [豊丘]
[日野] ちんかい
[北原] ちんけ
[大谷] ちんせー

ちがけ 腹がけ
[日野]

ちがしむ 肉出血 (=内出血のこと)
[日野]

ちからえっぺ 力いっぱい
[須坂]

ちく 背が低い
[日野]

ちくさい 小さい
[日野]

ちだらまっか 真っ赤な血がたくさん出てる
[須坂]

ちち 土
[南原] [豊丘]

ちっち じゃんけん
[相之島] [日野]

ちっと 少し
[相之島] [日野]

ちびたい 冷たい
[須坂]「今年は雪かきでへ〜ちびたくてへ〜」
[北原] [相之島] [仁礼]「手ちびて ちびて」
[豊丘] ちびて
[大谷] ちびてー

ちまぢま こじんまり
[日野]

ちゃーさん 父親
[日野]
[北原] ちゃさん(主人が妻を呼ぶときも
使う)
[南原] [豊丘] ちゃちゃ
[日野] ちゃっちゃ
[北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉] ち
ゃん
[南原] [豊丘] とうやん

ちゃのま 寄り付の間
[相之島]

ちゃぼかい にわとりを買う者
[日野]

ちゃんちゃらおかしい おかしい
[大谷]

ちゃんちゃんこ はんてん (=袖なし)
[須坂] [相之島]
[日野] ちゃんちゃん

ちゅうかん じゃんけん
[八幡] [村石]

ちゅうくらい いいかげん
[日野]

ちょーき 中風 (ちゅうぶ)
[豊丘]

ちょうずば ①便所
[八幡] [北原] [相之島] [日野]
②手洗い場
[八幡] [北原]

ぢょうばこ 重箱
[大谷]

ちょうま 千曲川
[八幡]

ちょっくら ちょっとの間
[相之島] [日野]

ちょっくん いいかげん
[須坂]

ちょっけ 手足口を出す
[村石]

ちょっけはやい すばしこい
[須坂] 「ごきぶりがちょっけ早い」 [日
野]

ちよっとばか 少しばかり
[須坂] 「ちよっとばかだけん漬物もって
行ったい」

ちょび 軽はずみ
[村石]

ちょびちょび 子どもが調子づく
[相之島]

ちょんこずく 調子に乗る
[須坂] 「あんまりちょんこずくとつんの
めってケガすんぞっ」 [八幡] [大谷] [相
之島] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]



つえんぼ 杖
[北原]

つかえ 胃けいれん
[日野]

つかめる 捕える
[相之島]

つきいれ 味噌の速製
[日野]

つく 杭
[日野]

つくつく かつかつ
[日野]

つくばる へたばる
[日野]

つぐら ゆりかご
[日野]

つけあげ ①天麩羅 (てんぷら)
[相之島] [日野] [仁礼] 「つけあげもい
いな」
②揚げもの
[日野]

つけうり 越瓜
[日野]

つげびと 死人を知らせに歩く人
[日野]

づこったま 頭
[大谷]

つちみざ 地面
[相之島]

つついっぱい ぎりぎりいっぱい
[日野]

つっからかす つきとばす
[日野]

つっころぶ ころぶ
[大谷]

つつっぼ 搾袖
[相之島]

つとっこ わらずと
[日野]

つのも 先のとがっているさま
[八幡]

つぶ ①はだかの意
[八幡]
②下着なしで着物を着る
[日野]

つぶあし はだし
[日野] [野辺] [村石] [亀倉]

つぼにわ 内庭
[日野]

つめくる つねる
[日野]

つめっかく ひっかく
[相之島]

つめつける つねる
[相之島]

つめる 閉める
[相之島]

つもい シャツなどが少し窮屈なこと
[日野]

つやす 膿など穴をあけて出すこと
[日野]

つよ 露
[大谷]

つら 顔
[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

つらつかむ 面と向かって
[日野]

つらっぱしね あつかましい
[日野]

づるい 遅い・悪い人
[相之島]

つるかる ぶら下がる
[須坂] [八幡] [北原] [村石]

つるだぐり うらなり
[日野]

つんのめる つまづく・ころぶ
[須坂] 「そんなにえそぐとつんのめる
で。」

て

でいり 訴訟
[日野]

でいろ かたつむり
[八幡] [相之島]
[大谷] [日野] で一ろ

でえ(が)ある 長持ちする
[八幡]

てえげ たいてい・だいたい(九分九厘)
[須坂]
[村石] ていげ

で一こん 大根
[大谷]

てえしょ(亭主) あんた
[村石]

で一じんこ 大金持ちの家
[須坂] 「あの家で一じんこだから立派な
塀が出来た」「へ～～」

てえてにしろ 大凡にしておけ
[日野]

でえどこ 台所
[日野]

でかく たいそう・たくさん・えれー
[大谷]

てきない なんぎ・体がだるい
[日野]
[八幡] てきねえ

てこだ 困ったもんだ
[日野]

でたらっぼ でたらめ
[日野]

てちまで あわてる
[日野]

てちよかく ①あれこれ手を出す
[八幡] [野辺] [村石] [亀倉]
②しくじる
[日野]

でっかい 大きい
[相之島]

てつき 頭のとっぺん
[相之島] [日野]

てづくな いたずら
[相之島]

でっけ 大きい
[南原] [村石] [豊丘]
[大谷] でっけえ

てっこもり 山盛り・大盛り・こぼれるほど
高く器に盛ること
[八幡] [北原] [大谷] [相之島] [日野]
[野辺] [村石] [亀倉]

てっば ちゃわん酒
[日野]

てっば酒 コップ酒
[八幡]

てでっぼう 山鳩
[日野]

出なさった 出席された
[村石]

てのごい 手拭
[相之島]

でほらく うそ
[日野]

てめえ お前
[村石] [亀倉]
[野辺] (軽蔑・侮蔑)

てらし ほうろく
[日野]

でんぐりけえる ひっくりかえる
[八幡] [日野]

てんぐるま 肩ぐるま
[八幡] [北原] [相之島] [日野] [野辺]
[村石] [亀倉]

てんけ 片手不具な者
[日野]

てんご てんかん
[日野]

てんごろ あぐら
[豊丘]

てんしゃば 駅
[北原]

てんじょく 空
[日野]

てんずけ 最初・最初から
[須坂] [大谷] [相之島] [日野]

(お) てんたら こび、へつらう行為
[八幡]

てんでまえ 左前に着る
[日野]

てんぴつ 書き初め
[日野]

てんびね てっぺん・頂上・山の峯
[須坂]「頭のとんびねぶつけた」[北原]
[大谷] [相之島]
[日野] [村石] てんみね
[仁礼] すってんみね「すってんみね登っ

た」

てんぶら にせもの
[日野]

でんぼ ①先が丸いこと
[相之島]

②手の不具者
[日野]

てんぼうせん 馬鹿・八厘
[日野]

と

とうい 合羽
[日野]

とうがたつ 野菜などののびすぎてだめになる
[日野]

どうされ 屑な人間
[日野]

とうし 篩 (ふるい)
[日野]

どうずき 地がため
[日野]

どうずく ①叩く
[八幡] [北原] [村石]
②なぐる
[日野] [豊丘]

とーね 子馬

[日野]

どうぶかし せいろう (蒸籠)

[日野]

どうろくじん 道祖神

[日野]

どえつ どの人

[大谷]

どえれ 大変な

[日野]

とおど 雇人

[相之島]

とおり 家柄

[日野]

とぎに ひとまず

[須坂]

どきよ (蚕の) さなぎ

[須坂] [相之島] [日野]

とじくる かがる

[日野]

どしつぼね 背骨

[日野]

としより 年寄り

[須坂]

とちゅうなか 中途

[日野]

とつけひつけ 取り替え引き替え

[日野]

とっこ ①根切株

[相之島]

②桑切り株

[日野]

とっつかめる 捕まえる

[大谷]

[日野] とっつかめる

とつつく くつつく

[須坂]

どっと 沢山

[日野]

とっとき ①大切なもの

[相之島]

②大切な

[日野]

とっばずす まかりまちがえば取りにがす

[日野]

とっばずせば どうかすると・ひよっとす
れば

[豊丘]

[南原] とっばすせば

どっばら 腹

[日野]

どてうなぎ へび
[日野]

とてこっこ にわとり
[日野]

ととお 夫
[相之島]

どのかん どの位
[須坂]「どのかんがあたくなんだ？」

とびっくら かけっこ
[須坂]「とびっくらで1等賞になった」
[八幡] [日野]

とびよんしょ とび降りる
[亀倉]

どぶ ため池・沼
[日野]

とぶくろ 五右エ門風呂
[日野]

どぶずけ ぬかみそ漬け
[日野]

とぶれ 葬式
[日野]

とべ!とべ! 走れ!走れ!
[須坂]

どへどへ 疲れた様子
[日野]

とぼ ますかき
[日野]

とぼかける 人員を整理する
[日野]

とぼける 知らん顔
[相之島] [村石]

とまぐち 入口
[日野]

どまんなか 真中
[日野]

ども はたけ
[日野]

とや にわとりなど羽根のぬけかわること
[日野]

どやす ①打つ・なぐる
[相之島] [日野]
②大声でおこる
[相之島]

とやん お父さん・父
[八幡] [北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

どよば 水門
[日野]

とらめる 捕まえる
[日野]

どり 鶏の肺

[日野]

とんび とび

[大谷]

とりあげばあさん さんば (産婆)

[日野]

とんまあす かきまわす

[須坂]

とりおき 葬式

[日野]

とんもろこし とうもろこし

[大谷]

とりばくろ にわとり売買業者

[日野]

とりもちがいい 暖かく接してくれて

[須坂]「あのうちへ行くといつもえっぺ
おごっそ出してきてとりもちゃいいん
でまた行きたくなるわさの一」

どろっかい からすがい

[日野]

とろっぴよ 休みなし

[相之島]

とろっぴょう ①いつも

[須坂] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]

②しょっちゅう・たびたび

[八幡] [北原] [日野]

とんが つるはし

[日野]

どんけつ 最後

[日野]

どんどやき 左義長

[日野]

「たあくらたあ」の由来

いい加減なやつ、馬鹿などを表す「たあくらたあ」。初めて耳にしたとき、可愛い発音だと感じました。気が抜けるという意味や元気を表す言葉だと思いましたが、実際の意味は可愛い発音とは対照的に怒気を含むものでした。

そもそも「たあくらたあ」という言葉がどのように生まれたかという、ジャコウジカに似ている田蔵田(たくらだ)という獣から由来しています。自分に関係のないことで命を奪われてしまう愚かな鹿のことを指すそうです。このことから、おっちょこちょいや呑気ものという意味も含まれているようです。

怒る際に使われる言葉でも、心配や優しさが垣間見えるニュアンスが含まれていることがわかりました。おっちょこちょいな獣(田蔵田)から感じる愛らしさが、「たあくらたあ」という可愛い発音の言葉を生み出し、身近な人との距離の近さをよく表している言葉でもあると感じました。

(田中里菜)

参考文献

・たあくらたあ編集委員会 (2025) . 「たあくらたあ」とは. 信州発の産直泥つきマガジン「たあくらたあ」. <https://r.goope.jp/takura-ta>(参照 2025-11-3)

な

ないま 苗代
[日野]

ながしけ 長雨
[日野]

なから 大体
[須坂]「なからになったら一服しらずう」
[日野]
[八幡] (なから) なせ (おおよそ) 平ら

なぎだ なんぎ (難儀)
[相之島]

なきべっちょ 泣き虫
[日野]

なげー 長い
[大谷]

なして なぜ
[須坂]

なせ 傾斜が緩い
[日野]

なせりつける ①相手に罪をきせる
[北原]
②塗りつける
[北原]

なついも 馬鈴薯

[日野]

なっちょ どうですか
[須坂]「具合なっちょ？」
[大谷] [仁礼] [野辺] [村石] [亀倉]
[仁礼] なっちょだい

なっちょか、かっちょか どうにか、こうにか
か
[八幡]

なっちょだ ①何事じゃ・聞く・湯加減
[相之島]
②どんな様子か
[日野]

なっちょも ①接続を表す言葉であり、次に良い結果や効果を期待する言葉。
[北原]
②願わくば
[相之島]

なっていない 駄目
[相之島]

ななやっと ①決してやってくれるな
[八幡]
②してはいけない
[相之島] [日野]

ななやれ 為す勿れ
[相之島]

なにしていける 何をしているんだ
[須坂]「なにしていけるっ！」[野辺]
[亀倉]

なにまく 何を言う
[相之島]

なまくら 怠け者
[大谷]

なまじっか ①出来もしないのに
[八幡]
②無駄に
[八幡]

なまどくせえにおい 魚くさい匂い
[北原]

なまどしして いい年をして
[日野]

なむねえ すごく多い
[村石]

なもね 大変な
[日野]

なりずもく 果物の木
[日野]

なるい ①寒さが弱いこと
[相之島]
②激しくない
[日野]

なんぎだ 疲れた
[須坂]

なんして どうして
[須坂]「なんしてそういうこと言うん

だ？」

なんしろ なににしても
[須坂]

なんせかんせ ①なんといえども
[須坂]
②なんととっても
[北原]

なんだせーば なにかにつけて
[須坂]

なんだっちゃ なんだろう
[須坂]

なんたらども なにはともあれ
[須坂]

なんてうこんだ なんとということだ
[日野]

なんです 何事ぞ
[相之島]

なんまさん ①仏さん
[須坂]
②月
[相之島]
③佛様 (ほとけさま)
[相之島]

に

にいちゃ 兄
[大谷]

にお(みお) ①わら束を積み上げた山
[八幡]
②わら等積み重ねたもの
[日野]

にかご 赤ん坊
[日野]

にかっこ 生まれたばかりの児
[相之島]

にくったらしい 憎らしい
[北原] [日野]

にけい 二階
[南原] [豊丘]

にちょう ①無能
[日野]
②不調法
[日野]

にない 担い桶
[日野]

になう 荷物を持つ・運ぶ(手伝う)
[須坂]「ちょっとそこまでになってく
ない？」

にやかす ①賑やかにする
[八幡]
②景気をつける
[日野]

によれさん 如来様
[南原] [豊丘]

ぬ

ぬいあげ 着物のあげ
[日野]

ぬかす ①言う
[八幡] [大谷] [日野]
[北原] なにぬかしゃがる
②しゃべるな
[相之島]

ぬき 甘味をつけない氷水
[日野]

ぬきでる 優秀のこと
[相之島]

ね

ねえ ない
[須坂] [日野]

ねえしょ ないしょ
[日野]

ねえま 苗代田

[日野]

ねぐさい 臭い (食べ物が悪くなりかけた匂いがする)・くさった臭い

[須坂]「このおやき、冷蔵庫へ入れとくの忘れたしねかい、もうねぐさくなって食べらんねえで一、もってねえけん腹いたくするとえけねから、べちゃれや」

ねぐせ 臭い・腐ったもの

[仁礼]「この飯ねぐせな」[日野]

[八幡] ねぐせえ

ねぐせこねる むずかる

[日野]

ねこ わらむしろ

[日野]

ねこかぶり 人目にたたない

[相之島]

ねこそぎ 全部

[須坂]「農産物をねこそぎ取られた」[相之島]

[日野] ねこすり

ねこのしっぽ 末っ子

[日野]

ねしょ 寝小便

[日野]

ねずみさし 磯馴松

[日野]

ねそべる 横になる・体を横にして休む

[須坂]「いっぺ飲んだら寝そべってってくんない」[八幡] [亀倉]

ねつい しつこい

[日野]

ねっから 全然・すこしも・たいしたことがない

[八幡] [北原]「ねっからだめだ (少しもよくない。全然だめだ。)[相之島] [仁礼]「ねっから面白くねえ」

ねなくら ①くだらないこと・たわごと・冗談

[八幡] [相之島] [日野] [野辺] [村石] [亀倉] [仁礼]「ねなくら (出鱈目) こくな」

②理に合わないこと

[北原]

③まともでないこと

[北原]

ねなさる 就寝される

[野辺] [亀倉]

ねぶって 眠い

[村石] [豊丘]

ねまき 丹前

[日野]

ねやん ねーちゃん・姉さん・姉

[須坂] [八幡] [北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

[日野] ねえやん

ねえちゃ・ねえちゃん 姉
[大谷]

ねんごろ 情人
[相之島]

ねんじん にんじん (人参)
[南原] [大谷] [豊丘]

ねんねこ 子を負うとき、上から被る綿な
どのはいった着物
[北原]

ねんぼう めんぼう
[日野]

の

のうさら なおさら
[日野]

のおくり 葬式
[日野]

のかる 泥濘なる
[相之島]

のくて あたたかい
[須坂] [豊丘]
[日野] ぬくとい
[八幡] ぬ(の)くてえ [大谷] のくてー
[相之島] のくてい [日野] のくとい

のくとまる 温まる
[八幡] [相之島]

のげ ぬげ
[須坂] 「シャツをのげ」

のさる 乗る
[日野]

のたくる 這いまわる
[日野]

のつくむ 飲み込む
[須坂] [大谷] [日野]

のつけ 除け者
[須坂]

のっこい 温かい
[須坂] 「ビールがのっこまった」

のどちんぼ のど仏
[大谷]

のの ぬの (布)
[南原] [豊丘]

のびろ のびる (植物)
[須坂]

のべおくり 葬式
[日野]

のま 沼
[大谷]

のめし 怠けもの
[日野]

のめす ①怠ける

[日野]

②はりたおす

[日野]

のやすみ 田植え後の休み

[日野]

のり 勾配

[日野]

のりい (湯が) ぬるい

[須坂]「お茶がのりい」[相之島]

のる 賛成する

[日野]

ミンミンゼミとニイニイゼミの違い

須坂では、一般に「ニイニイゼミ」と呼ばれるセミのことを「ミンミンゼミ」と呼んでいることがある。そこで、それぞれにどのような特徴があるのか紹介していこうと思う。

ニイニイゼミは体が小さく、体の色は灰褐色をしており、羽に黒や茶色のまだら模様があり、鳴き声は「チー」「ジー」というのが特徴。一方、ミンミンゼミは、体は黒っぽく、緑色や白色の斑点模様があり、黒っぽく透明な羽を持っている。またニイニイゼミと比べて少し大きく、「ミンミンミン」という鳴き声の特徴的である。

目で見たら、見分けがつかないかもしれないが、それぞれが特徴的で大きな違いがある！
(池本夏波)

は

はあるか ①長い間・長い時間

[須坂] [八幡] [北原] [野辺] [村石] [亀倉] [仁礼] 「はあるか (=長い間) 会わない」

②久しく

[日野]

はあるかぶり 久しぶり

[大谷] [相之島]

はいくほー！ 早く！ほら！

[須坂]

はいも 里芋

[須坂] [日野]

ばいこ 着物

[日野]

ばおくれ 気おくれ

[日野]

はかいく はかどる

[須坂] 「思ったより仕事が、はかいったね」

[八幡] [大谷]

ばくめし 麦めし

[日野]

ぼくる 交換する

[日野]

はげっちょ はげている人

[北原]

はごす はずす

[日野]

はじかむ 寒さ厳しい・こごえる

[相之島] [日野]

はしこい 伶俐・かしこい

[相之島]

[日野] はしっこい

はしゃぐ ①乾く、乾いて反る

②子供が調子づく・調子づく

[相之島] [日野]

はしやすめ おかず

[日野]

はぜ ボタン・こはぜ

[日野]

ばせ さんだわら

[日野]

はぜかけ 稲架

[日野]

はそん 修繕・修繕する・修理

[相之島] [日野] [豊丘]

[八幡] はそんする

はだける 衣服の前がそろわない

[日野]

はたご はた織り機
[日野]

ばたこん 縄跳び遊び・縄跳び
[須坂] [村石]

はだしたび 地下足袋
[日野]

はたっつける ぶつける
[須坂]

はだって わざわざ
[日野]

はっこ ありじごく
[日野]

ばっていく 背負われて行く
[日野]

はつめ ①発明
[北原]
②器用なこと
[北原]

はなしてったい 話しをして行って下さい
[野辺] [亀倉]

はなどろ 洪水でおしよせた泥
[日野]

はなつとり 田搔の馬を引きまわす者
[日野]

はなる 始まる
[須坂] [日野]

はねる 始める
[相之島] [日野]

はばきぬぎ 旅から帰った祝酒
[日野]

ばばさん 祖母
[大谷] [相之島]

はばったい はればったい
[日野]

はばってえ 大きなことを言う
[八幡] (くち) はばってえ

はまる だまされる
[日野]

ばやかす だます
[日野]

ばやん 祖母・お祖母さん・おばあさん
[北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

はらくち おなかいっぱい
[須坂] 「あ~~~~~はらくち」

はりい 楽しみ
[相之島]

はりつか 紙張りのかご
[日野]

はりつける 平手で殴る・打つ・殴打する
[須坂] [大谷] [村石]

ばんがた 夕方
[大谷] [相之島]

ばんきり その度毎に
[日野]

ばんげ 晩方
[日野]

はんどろし おはぎのこと
[北原]

はんしょはんしょ 半死半生
[日野]

はんでん ①はっぴ
②仕事着
[相之島]

ばんでんに 交替に
[日野]

はんぺた 半分
[須坂]

ばんでんこ かわるがわる
[須坂]「滑り台はばんでんこに乗りましよう」[八幡]

ひ

ひいろ ひる (蛭)
[相之島] [日野]
[大谷] ひーろんぼ

ひかりだま 人魂
[日野]

ひき 上蔭期の蚕
[日野]

ひきげた こまげた
[日野]

ひきづり ①無精者
[須坂]

②なげやり
[日野]

ひきやぐら 米を搗く小屋
[日野]

ひきる 蚕が上蔭期になる
[日野]

ひざおぼ ひざ頭
[日野]

ひざんぼ ひざ
[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

ひして 一日
[日野]

ひしてじょう 一日中
[相之島]

びしやかける 上手にでておどかす
[日野]

びしょったま くずまゆ
[日野]

びしょってね ①汚い・汚らしい
[須坂] [八幡] [日野]
[村石] びしょって
②むさくるしい
[日野]

びしょってねい だらしがない
[相之島]

びじよってね みっともない
[北原]

ひしり 炉ばたの薪置き場
[日野]

ひすばる ひからびる
[日野]

ひだるい だるい
[日野]

びちやる 捨てる
[日野]

ひっかく 割る
[相之島]

ひっきれる 切れる
[須坂]「ヒモがひっきれた」

ひっくりけーす 裏返す
[須坂]「ほー、そのカルビひっくりけーして」

[相之島] ひっくりける

ひっこくる 奪うこと
[北原]

びっこちゃっこ ちぐはぐ・かたちんば
[八幡] [日野]

ひっこぬく 引き抜く
[須坂]「大根引っこ抜いてきてくれや」

ひっちげる 捻挫する
[須坂] [八幡] [村石]

ひっちゃかめっちゃか めちゃくちゃ
[須坂]「冷蔵庫の中がひっちゃかめっちゃかでチーズがどこにあるかわからねー」

ひっちゃく 引き裂く
[大谷] [相之島] [野辺] [亀倉]
[大谷] しっちゃく

ひっちゃばく 破く(裂く)
[須坂]「障子をひっちゃばく」
[北原] [大谷] [日野]

びっちょ 備中鍬
[須坂] [日野]
[大谷] びっちょう

ひつつく くつつく
[須坂]「新札はひつついてヤダしねー」

ひっばぐ 剥ぐこと
[北原]

ひっばさみ 裾を帯にはさむ・裾端折り・尻
端折り
[相之島] [日野] [仁礼] 「ひっばさみが
け」

ひっばたく 叩く・叩くこと
[北原] [大谷] [村石]
[大谷] ひったたく

ひっぱり 親類や親類さき
[日野]

ひてぐち 額
[大谷] [相之島] [日野] [野辺] [村石]
[亀倉]

ひとかたけ 一食事・一食
[須坂] [日野]

ひところ 懐
[相之島]

ひとつきり 短時間・少しの間
[須坂] [大谷] [相之島] [野辺] [村石]
[亀倉]

ひとつとこ 同一場所
[八幡]

ひとつべいりへえるか おふろに、ざっと
入ってくるか
[北原]

ひとつべに 全部一緒に
[村石]

ひとみじょく 人見知り
[日野]

ひとり 独り
[相之島]

ひどろ ①沼地
[相之島]
②湿地
[村石]

ひどろった 泥田
[日野]

ひなたくせ なんとなく嫌なにおい
[日野]

ひね ①古い・古いこと
[須坂] [八幡] [北原] [日野]
②古い食物
[大谷]

ひねくる つねる
[日野]

ひねる まかす・つねる
[日野]

ひの 水門
[日野]

ひのき 日中

[日野]

[八幡] ひののき

ひびんつ いびつ、変形した様

[八幡] [日野]

ひまで ひまつぶし

[日野]

ひゃくひろ 腸

[日野]

ひやけ 旱害

[日野]

ひやべ 家と家の間

[相之島]

ひょうな 雛・ひな鳥

[八幡] [相之島] [日野] [村石]

ひょうろくだま 憎ったらしいやつ

[八幡]

ひよげてる ふざけてる

[日野]

ひらつか こまげた

[日野]

ひらってー ひらたい

[大谷]

ひれー 広い

[大谷]

ひろっとり 日雇い

[北原]

ひんがら ①片足

[相之島] [野辺]

[村石] ひ(し)んがら

②片足跳び

[大谷] [日野]

[北原] ひんがらかく

ひんね 昼寝

[須坂] 「まーず、おらほのぼんはひんね
しねーでけつかる」 [相之島] [日野]

ひんのべ すいとん

[八幡] [日野] [村石]

[仁礼] へんのべ 「へんのべうめえ」

ひんのべだんご 小麦粉で作ったもち・小
麦粉を水にといて、少しかためにさじで
まとめて、味噌汁に入れた物

[八幡] [北原]

ひんまがる 曲がる・曲げること

[須坂] 「臭くて鼻がひんまがる」

[北原] ひんまげる

ひんむしる むしりとる・むしる

[須坂] [大谷]



ふう 火

[相之島]

ふうきもち あべかわ
〔日野〕

ふうて 風袋・はかりで量るとき、中味をふくまない外包のこと
〔北原〕

ふきったま 蒨・ふきのとう
〔須坂〕〔日野〕

ぶきっちょ 不器用
〔須坂〕「おめっさん、いげーとぶきっちょだしねー」

ふきの ふきん
〔日野〕

ふく 自慢する
〔日野〕

ふくがいろ ひきがえる
〔大谷〕
〔日野〕 ふくがえる

ふける かびる
〔日野〕

ぶしょう 締りがない
〔相之島〕

ぶすくる くすぶる・気嫌が悪い
〔日野〕

ぶすつつら 仏頂面
〔日野〕

ぶすという 紫色(痣の色)・血が死んだ色
み深い

〔須坂〕〔村石〕
〔八幡〕 ぶすっという
〔日野〕 ぶすんという

ぶすべ ほくろ
〔日野〕

ぶちこみ 手うちの煮込みうどん・麺類を煮た物・味噌汁の中へ、うどんや干めんをそのまま入れて煮たもの

〔八幡〕〔大谷〕
〔仁礼〕「ぶちこみにしれや」
〔北原〕〔大谷〕〔相之島〕
〔村石〕 ぶっこみ

ぶつ ①金をそろえて交換する
〔日野〕

②だます

〔日野〕

ぶっくりけえす ひっくりかえす
〔須坂〕

ぶったたく 叩く
〔大谷〕

ぶっちげ 互い違い
〔八幡〕

ぶつばらい はたき
〔日野〕

ふてー 太い
〔大谷〕／〔相之島〕 ふてい

ふでこ 寺子屋の弟子
[日野]

ふてる 浸す・ひたる
[相之島] [日野]

ふなおき 蚕の三眠おき
[日野]

ぶに 分け前
[相之島] [日野]

ふやける 孵化する
[日野]

ふよ 冬
[南原] [大谷] [豊丘]

ふよ 笛
[相之島]

ふりうり 行商
[日野]

ぶるける 吊り下げる・下げる
[須坂] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]

ふるしい 古い
[日野]

ふるち 熟さずに落ちた果実
[日野]

ふろく 平らでない
[日野]

ふんぐりかえす 足首をねじる
[日野]

ふんごくる 蹴る・蹴ること・蹴とばす
[須坂] [八幡] [北原] [相之島] [野辺]
[村石]
[亀倉] ふんできくる

ふんごみ 藁靴
[日野]

ふんじばる 縛ること・縛る
[北原] [大谷]

ふんずける 踏みつける
[須坂] [北原] [南原] [豊丘]

ふんだくる 奪う
[大谷]

ふんづかめる 捕える
[大谷]

ふんと 本当・本当か
[北原] [相之島]
[日野] ふんとか

ふんどし こしまき
[日野]

ぶんのくど 後頭部・ぼんのくぼ
[八幡] [日野]

ふんのひる 伸びること
[北原]



べいた 丸太
[相之島]

へ〜 もう
[須坂]「おらへ〜やだ」

へえ 灰
[南原] [豊丘]

べえ 倍
[須坂]「べえどこじゃね」

へえーんぼ ハエ
[須坂]「へえーんぼ飛んできた」[八幡]
[南原] [豊丘] へえ
[北原] [大谷] [相之島] [日野] [村石]
へんぼ

へえたら やたらに・やたら
[八幡] [北原] [日野] [村石]
[相之島] へいたら

べえたんぼ 丸太ん棒・杭棒・棒
[八幡] [北原] [大谷] [野辺] [村石] [亀
倉]

べーつりあう うばいあう
[日野]

べーぼー 牛
[日野]

へえりくち 入り口
[須坂]

へーる 入る
[須坂]

へぎ おぼん
[日野]

へずる へらす
[日野]

べたずみ 粗悪な墨
[日野]

べちゃ 子供の風呂
[相之島]

べちやる 捨てる
[須坂]「べちゃってくれた」[八幡] [北
原] [大谷] [相之島] [日野] [野辺] [村
石] [亀倉] [仁礼]「ゴミをべちやる」
[八幡] びちやる

べっそり 大変少なくなる
[日野]

へっぴりむし くさがめ (=かめむし)
[須坂] [日野]

べと ①土・土地
[須坂]「べと買った」[八幡] [北原] [南
原] [大谷] [豊丘]
②泥・泥土
[南原] [日野] [仁礼]「べとひっかけら
れた」[豊丘]

へなす 馬鹿にする
[相之島]

べべ 女陰
[日野]

へら 舌
[須坂]「へら、噛んだ」[八幡] [大谷]
[日野] [豊丘]
[八幡] べら
[大谷] [豊丘] べろ

べんじょこうろぎ マダラカマドウマ
[須坂]

ほ

ほー ほら
[須坂]「おらほはほー へー 大掃除は
すんだ」

ほーけ そうか・そうですか
[須坂]

ぼうじる 灸のあとがうむ
[日野]

ぼうずくさい なま煮えの湯
[日野]

ほーたろ 蛍
[大谷]

ほーつぺた 頬
[大谷]

ほうとう 煮込みうどん
[日野]

ぼうや 焚き木の細い枝
[相之島]

ほうりょう 草が茂る
[日野]

ほうろくやろう まぬけ
[日野]

ぼーを折る 破産する
[日野]

ほかす 綿を打ちなおす・投げる
[日野]

ほける 草木が(勢いよく)生長する
[八幡] [日野]

ぼこ 赤ちゃん・赤ん坊
[須坂]「ぼこ生まれた」[八幡] [北原]
[大谷] [相之島] [日野] [野辺] [村石]
[亀倉]
[仁礼]「ぼこでかくなっただね」

ぼこをせせくる 赤ちゃんをからかう
[須坂]

ほしこ ごまめ・田作り
[日野]

ほしょお 補習
[南原] [豊丘]

ほせー 細い
[大谷]

ほそ 土を掘る道具
[日野]

ほぞ 栓・へた
[日野]

ほそっこ 細紐
[日野]

ほっきあるく 出歩く
[相之島]

ほっこかむり ほほかむり
[日野]
[相之島] ほっこ (ほうかむり)

ほっちらかす 放っておく
[日野]

ぼつつあら 稲の穂に残ったもみ
[日野]

ほつつける 放りつける
[須坂]

ぼっぼ 頬かむり
[日野]

ほっぼる 捨てる・置いておく
[須坂]

ぼて 竹であんだかご・ざる
[八幡] [日野]

ぼてれん 妊娠
[日野]

ほど ①炉
[日野]
②へた
[日野]

ほどつくべ 炉で焼いたやきもち
[日野]

ほとぼす 水にひたす
[八幡] [日野]
[八幡] [日野] ほとびる

ぼや 焚きものにする枝のこと
[北原]

ぼろつく 雨の降り始め
[相之島]

ほんだ 丸まげ
[日野]

ぼんばな 桔梗、おみなえし、など盆に備え
る花
[日野]

ほんもん (本物) 大便のこと
[北原]

なぜ「カメムシ」を「クサガメ」と呼ぶのか

私は、方言集を作成しているときに、不思議に思ったところがありました。

それは、須坂・日野地域では、「へっぴりむし」という方言が、共通語でいう「カメムシ」を指しているのですが、共通語索引のために見直したときに「くさがめ(=かめむし)」という表記を見つけました。不思議に思って「くさがめ」と調べてみたところ、カメムシではなく亀の一種である「クサガメ」であることが分かりました。この混同が気になり他の地域での呼び方を調べることにしました。

カメムシは刺激を与えると、とても臭い分泌液を出すため、その悪臭に由来した方言が各地にたくさんあることが分かりました。クサガメと言われているのも、その悪臭から由来しているのかなと思いました。

(高野七香)

ひんのべ

当地の伝統的な食文化は、「おやき・麺類」に代表される粉ものを使った主食である。

『須坂市誌』 第二巻 地誌・民俗編(2014)には、そば・おにかけ・うどん・団子汁・ひんのべ・ぶち込み・焼き餅などが紹介されている。

このうち、「ひんのべ」は隣接の高山村でも愛好されており、「ひんのべ音頭」も創作され(1987)、高山村の夏祭り等で親しまれてきている。

歌詞は6番までおよぶが、冒頭の1番のみ、次に示す。

おらがよ おらが高山村ではよ
ひんのべ音頭が村の唄
歌声村中 ドンとひびく
あそれぞれそれドーンとね
ひんのべ音頭

ちなみに、『信州 高山村誌 第三巻 地誌編』(2006)では、「ひんのべ団子」として、次のような説明を付している。

小麦粉を少々硬めに鉢でこねて、手の指でちぎって味噌汁の中へ落として作ったもの。

また、現在あまり使われていない方言として、「とっちゃなげ(ひんのべ)」を挙げている。

須坂市とともに、粉もの文化の一翼を担う地域の方言にも注目したい。

(大橋敦夫)

ま

まあ忙しいだねかい 本当に忙しいね
[須坂]「年末はまあ忙しいだねかい」

まあずもおらしたねかい とても可哀想だ
ね
[須坂]

まあんで まるで
[須坂]「まあんでダメだ」
[八幡] まあるで 全く

まい まゆ (繭)
[須坂]

まえで 前
[須坂]「まえでの家に用事に行く」

まくしりこむ ころぼし落とす
[日野]

まくまくする 薄暗くなる
[須坂] [日野]
[相之島] まくまく 暗くなる頃
[野辺] [村石] [亀倉] 暗くなる

まくもうぞう 莫大な
[八幡]
[日野] まくもうず むやみやたらに

まくらう 食う
[日野]

まくり うすべり
[日野]

まくる 転がして落とす
[日野]

まけ 一族
[須坂]
[八幡] まき (まけ) 内輪
[日野] まき (まみ)

まげもん まやかしもん (←まがいもの)
[日野]

まごつきしごと きまりのないしごと
[日野]

ませ ごと
[日野]「皿ませくれる」

ませえ まずい
[南原] [豊丘]

ませんぼう 馬小屋の入口の横の棒
[日野]

まだらっこい まだるい
[日野]

まっくろけえって あわてて、必死になっ
て
[須坂]「けがしたからって、まっくろけ
えってきたさ。」

[日野] まっくるけして 夢中になって

まつだんご 松かさ (松ぼっくり)
[日野]

まねっかち まねごと
[北原]

まつばり 交際
[八幡]

まぶる・まぶす まぜる
[日野]

まつばる なつく
[日野]

まま 水辺のえぐれてくぼんでいるところ
[日野]

まつべる ①面倒を見る
[須坂] (まつべてやってちょうだい)
②かわいがる
[大谷] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]
③世話する
[日野]

ままにする 見合わせる、やめる
[日野]

ままやき どもる人
[日野]

まてえ 丁寧な
[須坂] 「まてえな仕事をする」
[八幡] まていに 丁寧に、残さず
[日野] まて一 儉約、けち
[野辺] [村石] [亀倉] まてえに 残さず
に

ままやく どもる
[須坂] [八幡] [北原] [大谷] [相之島]
[日野] [野辺] [村石] [亀倉]

まめかい 達者ですか
[北原]

まてくそ けち
[日野]

まる 大小便をする
[日野]
[八幡] (小便) をまる (小便) をする

まなばし 大箸
[日野]

まるける 束ねる
[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [野辺]
[村石] [亀倉]

まぬけ ぼんやり
[相之島]

まるもてら (まるごてら) 丸ごと、全部、
そっくり
[須坂]

まねいた まないた (俎)
[大谷]
[相之島] まねた

まんま ①ご飯

[須坂]「さーて、うち帰えーっておまん

ま食うかな」[八幡]

②食事

[相之島]

まんまと うまくいった

[相之島]

み

みーせ みっともない

[須坂]

[相之島] みいせ みぐさい

みいる 筋肉がこわばる

[日野]

みぐさく (みっともない) 見苦しい

[須坂]

[八幡] みぐせ (さい)

[北原] みぐせえ 見たところが悪い

[大谷] みぐせー 醜い

[日野] みぐさい

みご 稲の穂のしん

[日野]

みじけー 短い

[大谷]

みじゃける みじんになる

[日野]

みしょう 自然ばえ

[日野]

みじょう 品行

[日野]

みずおて みぞれ (曇)

[南原] [豊丘]

水くれ 水やり

[須坂]「今日の水くれ当番は、〇〇君で

す。」

みずつき 洪水

[日野]

みずまし 洪水

[日野]

みせとくんな 見せて下さい

[大谷]

みそっちょ みそさざい (小鳥)

[八幡] [北原] [大谷] [日野]

みそっぱ (乳歯) の虫歯

[八幡]

[北原] 虫歯になって歯が欠けている様

子

[相之島] 子供の虫歯

みっともね みたところがよくない

[北原]

[大谷] みっともねー 醜い

みつむけ 二年おきに子供が生まれた時

[日野]

みてぐり 体裁

[北原]

みはらかし みはらし

[日野]

みみこすり 皮肉

[日野]

見らず 見よう

[須坂]「大晦日は紅白見らず」

みらった ご覧になった

[野辺] [村石] [亀倉]

みんな ニイニイゼミのこと

[北原]

む

むかされ 嫁入り

[日野]

むかっぱらたてる 腹をたてる

[北原]

むぎっから むぎわら

[日野]

むきっぱら むかっぱら

[日野]

むきやわるい 体裁が悪い、恥ずかしい

[須坂]

むける 孵化する

[日野]

むさい・むせい きたない

[日野]

むじゃける ひしゃげる

[日野]

むずっかい くすぐったい

[須坂]

[日野] むずっけ

むせっけなことせう 無茶なことをいう

[須坂]

[八幡] むせっけ ①めちゃくちゃ、無設計

[日野] ②乱暴、無理

むつくし どうしても、どうにも

[日野]

むっくりおき 起きたて

[日野]

むっさい きたない

[北原]

むて 乱暴

[日野]

むらう もらう 「モ」を「ム」と発音する
[北原]

むらっくい 食べたり、食べなかったり
[八幡]
[相之島] むらぐい 食べたり休んだり

むりと わざと
[日野]

め

めあわせ 夫の死後夫の弟と夫婦になる
[日野]

めいかけ 前掛（まえかけ）
[南原] [豊丘]
[大谷] めーかけ

めで 前
[須坂]

めーね お見えにならない
[須坂]

めえる 見える
[須坂]

めおとす 死ぬ
[日野]

めがない 大好物
[相之島]

めくされ 意気地なし
[日野]

めくしりたてる あらさがしをする
[日野]

めくそほど ごく少し
[日野]

めこじき ものもらい
[日野]

めごめご 相好をくずす
[日野]

めしがまけ 食事の支度
[八幡]

めしめしごと 簡単な仕事
[須坂]
[村石] めしめ 朝飯前

めつける 見つける
[八幡] [大谷] [村石] [豊丘]

めった 更に
[須坂] 「めったはらたつ」
[相之島] 何度も
[日野] めった・めっためった やたらに

めったに 殆んど
[日野]

めっちゃ 片目

[日野]

[北原] めっちゃかんすけ 盲 川中島
合戦のとき山本勘介は片目であったこと
からきていると思われる。片目の勘介と
呼ばれていたとか？

めつつね すね

[野辺] [村石]

めのこかんじょう 暗算

[日野]

めめず みみず

[須坂] [八幡] [大谷] [村石]

めめんこ はんこ、ほんの少し

[八幡]

めんのく玉 目の玉

[日野]

めんぱ 木製弁当箱

[日野]

も

もうしあげ 差しあげる

[日野]

もうぞう 仕事が荒い

[相之島]

[日野] 粗雑

もうぞっくい 見さかいなく、もうろうと
して食べる。前後不覚に食べる。

[北原]

もーら もぐら

[大谷]

もうらしい ①かわいそう

[須坂] まーず、もうらしなあ [八幡] [北
原] [日野]

②あわれがる様子

[北原]

③気の毒

[大谷] [相之島] [野辺] [村石] [亀倉]
[仁礼] もうらし「あの人もうらしい」

もえじやっくり もえさし

[日野]

もーろく おいぼれ

[須坂] 「最近もーろくしちまって、…」

もくれる むくれる、おこる

[北原]

もげー むごい

[大谷]

もげる ①ぼける

[八幡] [村石]

②もうろくする

[北原] [日野]

③忘れ去っている、忘れてる

[野辺] [村石] もげてる

[亀倉] もげてくる

④惚けること

[北原]

もこ 婿

[須坂]「よたもこ」

[北原] もこさん おむこさん

もこのち 向こうの家

[北原]

もずっかす くすぐる

[日野] [野辺] [村石] [亀倉]

[相之島] もぞかす

もずっけ こそばゆい、むずかゆい

[日野]

もたげる 持ち上げる

[須坂]

もっくし 全然

[相之島]

もっこ ふんどし

[日野]

もつつ 六つ

[南原] [豊丘]

もってね もったいない

[須坂] [日野]

もでる 苦しむ、煩悶する

[日野]

もといと 以前

[日野]

(食べ物を) もどす 吐く

[八幡]

ものおべ 記憶力

[日野]

ものまえ 結婚前

[日野]

もみこなし 稲扱き

[日野]

もみぬか もみがら

[日野]

ももっか 動物の名前。動物。こわがられた。

[北原]

ももっかす くすぐる

[北原] [日野]

ももっけ くすぐったい

[北原] [日野] [仁礼]「ももっけなあ」

[八幡] む(も) ずけえ

もろこし どうもろこし

[日野]

もん 者、物

[日野]

～もんち ～の人達

[須坂]

水くれトーバンズ

◇須坂ご当地ソングバンド……須坂のご当地ソングを歌うために集まった7人。

◇活動歴：2006.8 結成。2008.12 単独ゲリラライブ以後消息不明

◇楽曲

1. 僕たち水くれ当番
2. 百々川橋
3. おれはグレートサラマンダー
4. 飛べ（走れ）源竜（かわかみいぬ）
5. ながでんのうた
6. GO! GO!塩爺
7. 須坂の蕎麦・八丁の森
8. ハッチもみんな生きている
9. ハッチもみんな生きている II / storong
10. 赤鼻のハッチ
11. 黒いおでん
12. 愛しのにらせんべー
13. せったかせわねかせってみせわれた YO
14. 炎の味噌すき焼き丼
15. いかのおすし

◇歌詞にちりばめられた須坂弁

1. 僕たち水くれ当番
お水をくれましよう
(やりましよう)
僕たち水くれ当番
(水やり)
にらせんべー
(韓国料理の

チヂミに似る。小麦粉をといて
薄く焼く際にニラを入れる。)

4. 飛べ（走れ）源竜（かわかみいぬ）
飛べ（走れ）
にらせんべー
8. ハッチもみんな生きている
うまれてるしな〜い（生まれてる
んじゃない?）
9. ハッチもみんな生きている II /
storong
生まれてるしな〜い
せわれたあって（言われたあって）
できてるしな〜い（できてるんじ
ゃあない?）
12. 愛しのにらせんべー
にらせんべー
13. せったかせわねかせってみせわれた
YO
せってない（言っていない）
ごしてー（疲れた）
しょうしい（恥ずかしい）
ちょんこずく（調子に乗る）
ずくなし（無精者）
もうらしい（かわいそう）
だめだしない（だめじゃない?）
らっちょもねー（価値がない）
げえもねー（もったいない）
こてらんね（たまらない）
うまいしない（おいしいね!）

一部、YouTube で視聴できるものもありますが、ライブで楽しめないのは残念です。
お隣の新潟県上越市では、現在、地域課題解決型ロックバンド「ぶつつん Ojisan」が高田弁でシャウトしており、コラボが叶えばと夢想しております。（大橋敦夫）

や

やあはや いやはや
[須坂]

やーんと しばらくして
[豊丘]

やいんぼ 猿
[須坂]
[北原] やえんぼ

やうちして 一家総出で
[須坂]「やうちして片付ける」
[八幡] やうち 家じゅうで

やきば 火葬場
[日野]

やくなし つまらぬもの
[相之島]

やくやく わざわざ
[日野]

やけっつり やけどのあと
[日野]

やけっぱち やけくそ。自暴自棄になること。
[北原]

やじ まゆをつくる用意の糸
[日野]

やしやまご 玄孫
[日野]

やしょうま 涅槃会（ねはんえ）の団子
[日野]

やせい 安い
[大谷]

やだ(厭だ) 不承知。いやだ。否定の言葉。
[北原] [相之島] [仁礼]

やだがる いやがる
[大谷] [日野]

やだくなる 嫌になる
[須坂]「まいんち、さぶくてやだくなる
ねえー」[日野]

やちなし ①悪ガキ
[須坂]「この、やちなし息子っ！」
②無類なこと。役にも立たない。
無駄な行為をすること。

[八幡] [北原]

③滑稽

[南原] [豊丘]

④考えなし

[日野]

⑤冗談

[野辺] [村石] [亀倉]

やちゃかる ①ふざける・からかう
[須坂]

②べちゃべちゃ言う

[野辺] [村石] [亀倉]

やっけい 柔らかい
[相之島]

やっこら 石の塚
[八幡]

やっくら 畑の石を積んだところ。畑隅の
石の山。
[日野] [村石]

やつす くずす、省略する
[日野]

やっと たいそう、たくさん
See しこたま
[大谷]

やっとくらい 売って下さい
[日野]

やっこ ようやく
[大谷] [相之島]

やでも ①いやでも
[相之島]
②何分いやでも
[日野]

やとい 簇(ぞく)
[日野]

やにぐる 一時の間に合せにしておく
[日野]

やねあさって しあさって
[日野]

やのあさって 明後日
[日野]

やぶせって ①じゃまになる
[八幡]

②うっとうしい
[相之島] [野辺] [亀倉]
[日野] やぶせったい うるさい

やぶち 家族中・家中
[相之島] [日野]
[日野] やうち

やぶつか 藪(やぶ)
[日野]

やまっかじ やまかがし
[須坂]
[日野] やまっかち

やみずくなしに ひっきりなしに
[日野]

やめる 痛む
[日野]

やらず やりましょう
[南原] [豊丘]

やらねか やらないか
[日野]

やらんどかず やらないでおこう
[須坂]

やりきんね やりきれない

[北原]

やろ 男の子、男

[須坂] [南原] [豊丘]

やろっこ 息子

[大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

やんども 人たち

[須坂]

やんなした 行われた

[村石]

ゆ

ゆきしろ 雪どけ水

[日野]

ゆきやけ 霜やけ

[日野]

ゆきなした おでかけなされた

[大谷]

ゆけあげる 風呂に入って貧血をおこす

[日野]

ゆたん 婚礼に使う大風呂敷

[日野]

ゆて 手拭

[日野]

よ

よ 湯

[豊丘]

よいごん 遺言

[北原]

よいする 結をする。労力を互いに提供し
あう。

[北原]

よーがお 夕顔

[大谷]

ようごわす よろしいです

[須坂]

よーでもね よけいなこと。くだらないこ
と。

[北原]

ようはん 夕飯

[北原]

よからず よろしいでしょう

[須坂]

よくしたよくした 子供をほめる言葉

[日野]

よくしよくし 犬にけんかをしかけさせる

[日野]

よくどしい 欲深い
[日野]

よて 手拭
[日野]

よげ 湯気
[北原]

よて 得意、風呂の手拭
[相之島]

よこぐち 差出口
[日野]

よて 得手
[日野]

よさぶる 揺する
[北原]

よててる 得意
[八幡] [大谷] [野辺] [村石] [亀倉]

よじける よろける
[日野]

よてる 得意・精通
[須坂]「テクノロジーの応用によててる
な～」[北原]

よせる 仲間に入れる
[日野]

よばってきな～ よんできて
[須坂]「おばあちゃん、よばってきな～」

よた 弱い
[相之島]

よばってこや 呼んでこいや
[須坂]

よっくよっく つくづく
[須坂]

よめごと ままごとあそび
[日野]

よったいや 寄って下さい
[村石]

よもたい 重たい
[須坂]「この石はよもて一な」

よっとくらい ①寄ってください
[須坂]「お茶飲みよっとくらい」[村石]
[相之島] よってくらい
②お立ち寄りください
[野辺] [亀倉]

よろり 囲炉裏
[南原] [野辺] [村石] [亀倉] [豊丘]

よっぴて 一晚中
[相之島] [日野] [野辺] [村石] [亀倉]
[大谷] よっぴで

よわる 困る
[須坂]「ま～ず、おらほのチビはわるさ
ばっかしてよわる」

よんびな 一昨中

[大谷]

よんべな 昨夜

[北原] [南原] [大谷] [相之島]

[日野] [野辺] [村石] [亀倉] [豊丘]

[八幡] よ(ゆ)んべな

養蚕語彙

仕事に関する方言は、死語になりやすい。かつては「生糸の町」として名をはせた須坂市内には、あまたの養蚕語彙があったはずで、その名残が本書にも収録されている。しかし、産業構造の変化で、養蚕は過去のものとなり、養蚕語彙も死語に等しいものとなってしまった。

お隣の群馬県も、かつては「お蚕さん」が盛んで、それに関する方言もあり、それらについては、新井小枝子氏の研究が詳しい。

【参考文献】

新井小枝子『養蚕語彙の文化言語学的研究』ひつじ書房 2010

新井小枝子『絹のことば』上毛新聞社 2012

すでに過去のものとなってしまった分野の語彙だが、地域の養蚕語彙を体系的に記述することが課題としてある。

旧制の教育制度のもとでは、養蚕が主力産業であった地域においては、中等教育段階で養蚕教育も行われ、そのための教科書も発行されていた。

語彙の問題と合わせ、教育内容の展開にも、地域差があったのか、興味はつきない。

(大橋敦夫)

山本茂実『あゝ野麦峠』

映画『あゝ野麦峠』(東宝 1979) は、前年に出版された山本茂実の同名のノンフィクションを映像化した作品です。

映画では、製糸工女の生活の悲惨さが強調されたきらいがあり、その点について、一石を投じている文献もあります。

工女の生活はこの映画で語られたものだけではないのかもしれませんが。須坂では、明治41年(1908)に現長野市城山で行われた「一府十県連合共進会」に工女をお揃いの服装で引率し、明治44年には信濃毎日新聞に報道されるなど、盛大な運動会を行っています。

工女・工男に対する福利厚生事業は、須坂に限られたものではなく、岡谷、諏訪、丸子などの製糸工場で行われていることがわかっています。

須坂の町には一日の労働を終えた工女さんたちが、呉服屋や菓子屋、小間物屋などに詰めかけたことが伝えられています。

(『須坂 いま・昔—映像で振りかえる製糸業全盛期の須坂と今—』須坂市立博物館 1998)

岡谷市にある岡谷蚕糸博物館では、技術継承の一環で、かつて工女であった方からの聞き取りも行っています。

当時の地域ごとの特性を踏まえることが全体像の理解を深めることに繋がります。

(大橋敦夫)

お蚕さんが作った学校

明治期から昭和の初期にかけて、長野県の蚕糸業は、日本経済の基幹産業としての一翼を担いました。その隆盛は、経営者側に人材育成への関心を呼び起こし、学校設立を推し進めることとなりました。

◆製糸家等により開校された 実業学校一覧

- 小県蚕業学校（現・上田東高等学校）
1892 小県郡会
- 小諸商工学校（現・小諸商業高等学校）
1906 小山邦太郎
- 松本商業学校（現・松商学園高等学校）
1911 今井五介・片倉組
- 平野農蚕学校（現・岡谷工業高等学校）
1911 平野村
- 丸子農商学校（現・丸子修学館高等学校）
1912 下村亀三郎
- 伊北農蚕学校（現・辰野高等学校）
1913 武井覚太郎
- 松代商業学校（現・松代高等学校）
1925 フランス式器械製糸工場六工社
- 須坂商業学校（現・須坂創成高等学校）
1926 越寿三郎（山丸組）
- 松本女子実業学校（旧・松本松南高等学校）
1941 今井五介・片倉組

さらに、高等教育機関として、1911年に上田蚕糸専門学校（現・信州大学繊維学部）が誕生しています。

【参照】小平千文「信州の蚕糸業と教育」
『地域文化』74（八十二文化財団 2005）
（大橋敦夫）

味噌マッチ

abn 長野朝日放送が主催する「ふるさとCM大賞」において、須坂市は第3回（2003）にエントリーし大賞を受賞しています。

メインコンセプトは、「味噌料理の町」で、味噌をあしらった意外な食品を紹介し、その決め台詞は「味噌マッチ（本来マイナス評価のミスマッチをふまえ、プラス評価に転じた）」。

以来、市内の飲食店では、「味噌すき丼」がメニューに加わり、それぞれの味を食べ歩く楽しみが増えました。（大橋敦夫）

ら

らく あぐら
[日野]

らっちょもねー くだらない・つまらない・
とりとめもないこと
[須坂]「まーず、おらほのぼこは らっ
ちょもねえーことぼっか しゃがって」
[八幡] らっちょもねえ
[北原] らっちょもね
[日野] らっちょもない
[村石] らちもねえ

～らる ～していらっしゃる (敬語)
[須坂]「食べらる、けえらる」

り

りきむ 怒る
[日野]

りこもん 馬鹿者・こすい人
[日野]

りゅうきゅういも 馬鈴薯
[相之島] [日野]

りょう 尼寺
[日野]

りょうる 料理する
[南原] [豊丘]

れ

れい (礼) する お返しをする
[須坂]

れいち 余地・価値
[日野]

ろ

ろーじ 庭園
[相之島] [日野]

ろうどう 婚礼の付添い人
[日野]

ろくすっぽ ①少しも・ほとんど
[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [野辺]
[村石] [亀倉]
②たいした事でない
[南原] ろくろく

ろくだま 不十分
[須坂]

ろくでなし つまらぬ人
[相之島]

ろくでもねえ ①縁起でもない
[北原]

②何の役にも立たない
[北原]

ろくにいる あぐらをかく
[日野]

わ

わかされ 分家
[日野]

わく 醜酔する
[日野]

わくめる べんしょうする
[日野]

わけしょ 若者・若い衆
[須坂] [北原] [大谷] [野辺] [村石]

わし 自分のこと
[相之島]

わしゃ 自分をさしている。特に女の子。
[北原]

わしら 私たち
[日野]

わたし 鉄網
[日野]

わたまし 新築・転居
[日野]

わにる 人見知りする・はにかむ
[須坂]「うちの息子はわにる」[相之島]
[日野] [村石]

わにわに 恥ずかしがるさま
[八幡]

わにわにする 恥をかく
[日野]

わやわやする 混乱する
[日野]

わやんわやん 群れている
[須坂]

わら あいつ・お前ら
[南原] [豊丘]

わらいっちょ 何につけよく笑う者をさす
[北原]

わりい 悪い
[大谷]

わるがしっけ 悪がしこいこと
[北原]

わるくなる くさる
[日野]

わるさ いたずら
[須坂]「まーず、おらほのガキは わる
さばっかりしてよわる」

わるでかい 大変大きい
[日野]

わるんじ わらじ (草鞋)
[南原] [野辺] [村石] [亀倉] [豊丘]

われ お前

[南原] [大谷] [村石] [豊丘]

わんずね すごく

[須坂]

わんだれ あなたがた・お前たち

[須坂] [大谷] [相之島] [日野] [村石]

[仁礼] 「わんだれ、達者かね」

わんら あなたがた・お前さん方

[大谷]

ん

んめい うまい

[相之島]

2冊目の須坂市関連書

当研究室では、2009年に『園里学校展示目録・須坂市立博物館蔵教科書目録』を編集発行しています。今回、縁あって須坂市をフィールドとした2冊目の書籍を作ることができました。

前書ともども、各方面からご教示を賜りたいと願っております。 (大橋敦夫)

蔵のまちなみに息づく須坂の歴史

長野県須坂市には、今も「蔵のまちなみ」と呼ばれる歴史ある街並みが残っています。須坂は江戸時代に藩政の中心として発展し、明治時代には製糸業で栄えました。その時期に建てられた商家や土蔵が、現在も大切に保存されています。

白壁やなまこ壁、格子戸が並ぶ風景は落ち着いた雰囲気があり、当時の面影を感じさせます。蔵の一部はカフェやギャラリーとして活用されており、古い建物を守りながら新しい文化を取り入れている点が特徴です。歴史を残すだけでなく、今の暮らしに自然と溶け込んでいるところに、地域の工夫や思いが見えてきます。

街並みの整備や保存活動も続けられており、須坂の人々がこの景観を大切にしてきたことが伝わります。昔から受け継がれてきた建物と現代の生活が寄り添う「蔵のまちなみ」は、須坂の魅力を静かに語り続けている存在です。観光で訪れた人にとっても、穏やかな時間が流れる場所となっています。 (倉升一羽)

【出典】

須坂市公式サイト「蔵のまち須坂」

<<https://www.city.suzaka.nagano.jp/>>

《解説》

区誌に見る須坂市方言の特徴～語彙の考察～

大橋敦夫

1. はじめに

本集成の編纂を通じて見出される須坂市方言の特徴について、語彙の面から考察する。

2. 方言を収録する区誌の特徴

今回、方言の採集対象とした区誌類を刊行順に並べると次のようになる。

『日野村志』(1959)

『豊丘村誌』(1963)

『仁礼誌』(1973)

『北原町のあゆみ』(1981)

『八幡町沿革史「ふるさと八幡」—歴史と伝承・事蹟—』(1991)

『野辺町区誌』(1998)

『相之島の方言集』(1999)

『村石町区誌』(2003)

『南原誌—改訂 南原の古事来歴—』(2005)

『亀倉誌』(2011)

『大谷町誌』(2019)

これらのうち最も古い『日野村志』(1959)は、旧仮名遣いの表記であり、項目語に共通語や俗語を含む。方言のみの収集ではないが、これはこれで、当時の方言意識がうかがえる資料である。

また、方言の採集・掲出にあたり、先行文献としてよく利用されているのは、近くの中野市の方言集としてまとめられた佐藤慧『中野のふるさとことば』(私家版1992)である([野辺][亀倉][大谷]など)。

さらに、先行の区誌の記述を参考にしているものあり([南原]と[豊丘]など)、近接地域ならではの関係性をうかがわせる。

3. 語彙の特徴

(1) 古語の残存

あくと（かかと）[大谷][相之島][日野][野辺][亀倉][豊丘][村石]

おとげ（あご）[八幡][日野]

ひてぐち（ひたい）[大谷][相之島][日野][野辺][亀倉][村石]

はそんする（修繕する）[八幡][相之島][日野][豊丘]

ななやっと（決してやってくれるな）[八幡][相之島][日野]

古い日本語は文献に記録されたもののみならず、今日も話される地域の言葉に痕跡を残している。これを称して「古語は方言に残る」と言われるが、それを実証する例である。

上例の人体名は、まさに古語であり、「はそんする」は、一見、反対語（破損）のように見えるが、「把針（はしん・裁縫の意）」を語源とする中世の言葉である。「ななやっと」の淵源は、万葉時代の禁止語法「な～そ」に由来する。

(2) 字音語の訛語

[八幡] むせっけ（めちゃくちゃく無設計）

漢字表記すると、意味がよくわかる事例である。

(3) 当事者語源

[北原] アノケンマク（あのようになくさん）

川中島合戦のとき、剣がたくさんに列をなして遂に幕のようになった。剣幕ということばになったと言う。

[北原] ヒツパタク（叩くこと） ヒンマゲル（曲げること）

フンゴクル（蹴ること）

ヒツ、ヒンのように相手につよく伝えようとする接頭語が多いことが、北原の特徴である。言葉づかいが荒い印象。

フンという接頭語をつけて、相手に強い調子で伝える。百々川の酸性土が醸す、荒い風土性が育ったのかも？

言語学的な裏付けはできない語源解釈だが、当事者の意識を述べたものとして興味ある記述である。

(4) 川中島合戦のインパクト

[北原] メッチョカンスケ (盲)

川中島合戦のとき山本勘介は片目であったことからきていると思われる。片目の勘介と呼ばれたとか？

[日野] ほうとう (煮込みうどん)

当地の歴史として、川中島合戦がいかに大きな影響を与えたかがうかがい知れる説明である。山梨の粉もの文化の影響は、後述のように今日にも及んでいる。

(5) 若年層に理解できない語釈

[北原] ウソンコ (勝負事で、物のやりとりをしないこと)

たとえば、ビーダマなど負けても相手にとられない勝負のこと。

生活状況が変わり、若年層にとって、今やビー玉はインテリア用品の一部である。

(6) 隣接地域との類似

[野辺] [亀倉] いっぷくしてったい (ひと休みしてください)

はなしてったい (おしゃべりして行って下さい)

この独特の文末表現は、隣接の長野市川田地域でも使われている。

(7) 千曲川との関わり

[八幡] ちょうま (千曲川)

[日野] こぐ (水の中をあるいていく) みずつき (洪水)

みずまし (洪水) はなどろ (洪水でおしよせた泥)

千曲川流域ならではの表現である。川の氾濫は、流域では避けがたいが、土地を肥沃にするものでもあったことが理解できる。また、愛称「ちょうま」は、千曲市屋代地域でよく使われていた。

(8) 粉もの文化

[八幡] ひんのべ (小麦粉で作ったもち) ぶちこみ (手うちの煮込みうどん)

[北原] ヒンノベダンゴ ブッコミ

[仁礼] へんのべ ぶちこみ

[大谷] おざんざ (麺類)

とくに「ひんのべ」は、愛好されており、隣接の高山村でも「ひんのべ音頭」という民謡も作成されている。

(9) 養蚕語彙

[日野] こじり (蚕沙) こぼそだて (稚蚕の飼育) ざぐり (まゆから糸をとる仕事) すくら (蚕のまぶし) どきよ (蚕のさなぎ) ひき (上簇期の蚕) ひきる (蚕が上簇期になる) びしよつたま (くずまゆ) ふなおき (蚕の三眠おき) やじ (まゆをつくる用意の糸) きかい (製糸工場)

すべて死語となってしまったが、地域の産業の歴史を語る語彙である。

(10) 伝播の北限・南限

[日野] こずむ (複雑になる) ←南信と意味が違う

[日野] じよんのび (気楽) ←越後方言の南下 (飯山では常用)

[日野] しんの (なんぎ) ←上田特有語

[日野] ねこ (わらむしろ) ←「南木曾ねこ」ではない。朝日村では使用言語における南北交流の様子が見て取れる例である。

(11) 反対語

[日野] りこもん (馬鹿者 こすい人)

意味が反対語で発想されている。

4. おわりに——今後の課題——

須坂市方言に関する研究については、一定の蓄積がある (大橋 2024)。

区誌の刊行のピーク (1990~2010) から時間がたった。若者世代への継承を含め、須坂弁の今はどうなっているか、実態を知りたい。

【参考文献】

大橋敦夫「〈研究ノート〉須坂市方言関係研究文献目録」『上田女子短期大学紀要』47 (2024)

(おおはし あつお / 上田短期大学教授)

あ・なかないせみ	おっち	19
あいそがない	いっぷりよう	7
あいそがない	そっけなし	48
あいそがない	そっけねえ	48
あいそない	そっぺない	48
あいだ (間)	あいさ	1
あいだ (家と家の間)	ひやべ	74
あいたい (会いたい)	あいて	1
あいつ	わら	97
あいて (相手)	あいは	1
あいている	からっほ	26
あいてにつみをきせる	なせりつける	63
あいてになる	かかしらう	23
あいてをみさげてよぶ	うな	10
あおぐ	あおる	1
あおだいしょう (青大将)	あをでえしょ	4
あおまめ	きなこまめ	28
あかい	あけー	1
あかちゃん	ぼこ	78
あかちゃんをからかう	ぼこをせせくる	78
あかり (明かり)	あかし	1
あかるい (明るい)	あかりい	1
あかんぼう	にかご	65
あきぐみ (グミ科の植物)	かわらぐみ	26
あきてしまう	あぐねる	1
あぐら	あんぐら	4
あぐら	あんぐらかく	4
あぐら	あんごろ	4
あぐら	てんごろ	58
あぐら	らく	95
あぐらをかく	ろくにいる	95
あげない	くんね	31
あけび	あこべ	1
あげもの	つけあげ	55
あごのこと	おとがい	20
あごのこと	おとげ	20
あさ	お	13
あさあつたひとにたいするあいさつ	おはようござんす	20
あさいと	からむし	26
あさうんと早く	こてっばやく	35
あさって	やのあさって	90
あさのせんい (麻の繊維)	かわそ	26
あさはやく	あさっぱら	2
あさはやく	あさっぴら	3
あさめしまえ	めしめ	85
あしあと (足跡)	あしと	2
あしだ	たかば	51
あしのうらのまめ	そこまめ	48
あぜ (畔)	くね	30

あぜ (田畑の畔)	くろ	30
あそぶ	あすぶ	2
あたたかい	ぬくてー	67
あたたかい	ぬくとい	67
あたたかい	のくて	67
あたたかい	のくてー	67
あたたかい	のくてい	67
あたたかい	のくとい	67
あたたかい	のっこい	67
あたたかくせっしてくれて	とりもちがいい	61
あたたまる	のくとまる	67
あたま	づごったま	55
あたまにくる	ごおわく	34
あたまのできもの	こっばす	35
あたまのてっぺん	てっき	57
あつい (暑い)	あち	2
あつい (暑い)	あっち	2
あつい (熱い)	あち	2
あつかましい	つらっぱしね	56
あっけない	あぼっけね	3
あっさり・きがる (気軽) に	さっそく	40
あつぼったい	ごおぼる	33
あどけない	たいもね	51
あながた	うぬら	10
あなたがた	わんだれ	98
あなたがた	わんら	98
あなたがた・おまえさんがた	おまえた	21
あなたがた・おまえさんがた	おめえやた・おめっち	21
あなたがた・おまえさんがた	おめっちゃ	21
あなたたち	おめーた	21
あなたたちは	おめさんちゃ	21
あに	あんしゃ	4
あに	あんやん	4
あに	にいちゃ	65
あね	ねえちゃ・ねえちゃん	67
あのひと	あいつ	1
あのひと	あえつ	1
あのひと	あえつら	1
あのひと	あのやろ	3
あのへん (あの辺)	あっこ	2
あのへん (あの辺)	あっこら	2
あのようにたくさん	あのけんまく	3
あばた (痘痕)	かぶつつら	25
あばれる	あたける	2
あばれる	あだける	2
あばれる	あばされる	3
あべかわもち (安倍川餅)	ふうきもち	75
あべこべ	うらはら	10
あまい	あめえ	3

あまえっばい・ひとにたよりがち	ぞぜっぺ	48
あまえる・むずがる	ぞぜーる	48
あまえる・むずがる	ぞぜる	48
あまえるようなことばづかい	ぞぜちゃべり	48
あまでら	りょう	95
あまみをつけないこおりみず	ぬき	65
あまり	えこ	11
あめのきざしあり (雨の兆あり)	あさやけ	2
あめのふりはじめ (雨の降り始め)	ぼろつく	79
あやしい	うさんくさい	9
あやしい	うさんくせ	9
あら	あちゃ	2
あら	あちゃあ	2
あらい	もうぞう	86
あらがしをする	めくしりたてる	85
あられ	あらね	4
あり (蟻)	ありご	4
ありがと	あんと	4
ありがとう	ごねんいりやいした	36
ありじごく	かっこん	25
ありじごく	はっこん	25
ありました	ありやした	4
ありますよ	あるこて	4
ありますよ	あるで	4
あるいていく	えんでく	13
あるく	ええぶ	11
あれこれてをだす	てちよかく	57
あれは	あちゃ	2
あわてて	まっくろけえって	81
あわてる	あやける	4
あわてる	てちまで	57
あわれがる	もうらしい	86
あんざん	めのかんじょう	86
あんしゅ (庵主)	あんじょさん	4
あんしんした (安心した)	あんきだ	4
あんしんする (安心する)	あんきする	4
あんた	てえしよ	56
い (胃) けいれん	さしこみ	39
いいあい	おしこと	16
いいえ	うんにゃ	10
いいえ	えんにゃ	13
いいかげん	ええころかげん	11
いいかげん	ちゅうくらい	54
いいかげん	ちよっくん	54
いいかげんなやつ	たあくらたあ	51
いいきみ (気味)	ざまみろ	40
いいでしょう	いいじゃなしか	5
いいでしょう	いいだんかい	5
いいですか	いいんかい	5

いとをしをして	なまどしして	64
いう	こく	34
いう	せう	46
いう	なにぬかしやがる	65
いう	ぬかす	65
いうとおもった	いうそもった	5
いうな	こくな	34
いえがら	とおり	59
いえじゅう	やうち	89
いへのなかでばかりいばる	うちべんけい	9
いかれた	いかった	5
いかれる	いかしやった	5
いかれる	いかしやる	5
いきおい (勢)	けんまく	32
いきぐるしい	せいぎきれる	46
いきなさる	いかしやる	5
いきなさる	いかしやった	5
いきましよう	いかず	5
いきましよう	いかずか	5
いきましよう	えべさ	12
いくか	いっか	6
いくじなし	かいしようなし	23
いくじなし	めくされ	85
いくども (幾度も)	いっくら	6
いけ	えべ	12
いけいれん	つかえ	55
いけない	いけね	5
いこう	いかず	5
いこう	いかずか	5
いこう	いべや	12
いこうよ	いべさ	8
いしじ・あれち	があら	23
いしのつか	やっくら	90
いしのやま	やっくら	90
いじめる	いじかめる	6
いじめる	いびりっこする	8
いじめる	かまう	25
いじめる	ぎようる	28
いじめる	ぎよめる	29
いじめる	ぎよる	28
いしょう (衣装)	いしょ	6
いしょう (衣装)	えしょ	11
いじる	いびくる	7
いじわる (意地悪)	えご	11
いぜん	もといと	87
いそいで	かせいで	24
いそがしい (忙しい)	まあずいそがしいだねえかい	81
いそぎ (急ぎ) い (行) く	せっせといく	47
いそぐ	えそぐ	11

いたい (痛い)	いて	7
いたがゆいじょうたい (痛がゆい状態) のこと	いがっぼい	5
いたすら	があたく	23
いたすら	てづくな	57
いたすら	わるさ	97
いただきたい	おくんなして	15
いただく	いなだく	7
いただく	おくんなして	15
いたどり (虎杖)	いたづいこ	6
いたのか	いたんか	6
いたぶきのやね	こっばやね	35
いたむ	やめる	90
いちぞく (一族)	まけ	81
いちぞく (一族)	まき	81
いちぞく (一族)	まみ	81
いちにちじゅう (一日中)	いちんちひんがら	6
いちばん	いっち	7
いちばん	いっちゃん	7
いちばんうえにきるもの	うわっぱり	10
いちまい	いちめ	6
いっかそうで	やうちして	89
いっしょうがい (一生涯)	いっしょまっしょ	7
いっしょく (一食)	ひとかたけ	73
いっしょにいてください	えんでくくない	13
いっしょにいてくれ	えんでくろ	13
いっすんのあいだ (一寸の間)	いっとき	7
いった	せった	47
いったい	だいせん	51
いつたい	おね	20
いったかいわないか	せったかせわねか	47
いっちょうら	おとっとき	20
いつつ	えっそ	12
いって	いんで	8
いってください	せったい	47
いってしまう	いっちゃんた	7
いってまいります	いってさんじやす	7
いっばい	いっぺ	7
いっばい	いっぺー	7
いっばい	いっぺたべろー	7
いっばい	えっぺ	12
いっばい	えっぺー	12
いつも	とろっびょう	61
いつものこと	じょうや	43
いと	えと	12
いと	やじ	89
いとこどうしのけっこん (結婚)	いとこがたり	7
いないぞ	いねど	7
いないぞ	いねや	7
いぬ	いの	7

いぬ	えの	12
いぬ（幼児語）	がんが	26
いぬにけんかをしかけさせる	よくしよくし	91
いねかり終了の祝い	かまあげ	25
いねこき	もみこなし	87
いねこき終わりの祝	こきばしあげ	34
いはい（位牌）をのせるだい（台）	しか	41
いびつ	いびんつ	8
いびつ	ひびんつ	74
いふくのまえがそろわない	はだける	69
いまごろになって（今頃になって）	いまんころんになって	8
いもじる（芋汁）	いもじろ	8
いや、そうでない	うんにゃ	10
いやいや（否定）	うんにゃ	10
いやがる	やだがる	89
いやだ	やだ	89
いやでも	やでも	90
いやなおい（嫌なおい）	ひなたくせ	73
いやになる	やだくなる	89
いやはや	やあはや	89
いやらしくてきもちがわるい	いごくりわるい	6
いよく（意欲）	ずく	45
いよく（意欲）がある	せっこいい	47
いらすと	えぼっこ	12
いらっしゃる	きなさる	28
いらっしゃる	きなる	28
いらっしゃる	きなした	28
いりぐち	へえりぐち	77
いりぐち	とまぐち	60
いりぐち（出口）	けだし	32
いろあい（色合）	いろさし	8
いろり（囲炉裏）	よろり	92
いわないでおく	せわんどかず	46
うえへのせる	うえせえつける	9
うし（牛）	べーぼー	77
うじがみさま	おぶっなさん	21
うしのふん	うしのべつた	9
うじむし	ごおじ	33
うしろへ下がること	あとしゃり	3
うすぎたない	うすらごむせ	9
うずくまる	すくだまる	45
うずくまる	つくだまる	45
うすぐらくなる（薄暗くなる）	まくまくする	81
うすのろすこし（少し）ばか	うそろばか	9
うすべり（薄縁）	まくり	81
うずまく・あし（足）のひざをまげる	しゃがむ	42
うそ	でほらく	57
うそ・いつわりごと	そらっこと	48
うそつき	うそっこき	9

うその (嘘の)	うそんこ	9
うそをいうひと	うそっこき	9
うちにわ	つぼにわ	56
うちわ (内輪)	まき	81
うちわ (内輪)	まけ	81
うつ・なぐる	どやす	60
うってください	やっとくらい	90
うっとうしい	やぶせて	90
うつむけ	おつつくべ	19
うつむけになる	こうながる	33
うつわ (器) のそこのあさ (浅) いもの	さらっこい	40
うであがった	うざる	9
うでのすぐれたひと	うでっこき	10
うね (畦)	くね	30
うばいあう	あばいあう	3
うばいあう	べーつりあう	77
うばう	ひっこくる	72
うばう	ふんだくる	76
うまい	うんめい	11
うまい	うんめえ	11
うまい	んめい	98
うまくいった	まんまと	83
うまれたばかりのこ	にかっこ	65
うみなどあなをあけてだすこと	つやす	56
うらがえす	ひっくりけーす	72
うらがえす	ひっくりける	72
うらなり	つるだぐり	56
うらやましい	うれまし	10
うるさい	うっとしい	10
うるさい	うるせねえ	10
うるさい	やぶせったい	90
うわべ	うわっか	10
うわまえをはねる	かする	24
うんとおもうぞんぶん	うんすけ	10
えき	てんしゃば	58
えだまめ (枝豆)	うでまめ	10
えて (得手)	よて	92
えのき	えのみなき	12
えんがわ	えんさ	13
えんぎでもない	ろくでもねえ	95
お (飯) ぴつがからになる	しゃもじをかつぐ	43
おい!	おえ～	13
おいしい	うんめ	11
おいしい	うんめい	11
おいしい	うんめえ	11
おいておく	ほっぼる	79
おいでください	おいんなさい	13
おいでください	おいんなんしょ	13
おいでなさい	おでやれ、おでやれ	19

おいでなさる・くる	おやる	21
おいでなされた	おでやった	19
おいでになる	おでやる	19
おいぼれ	もーろく	86
おいまわす	おいったくる	13
おう	おぶう	21
おう	おぶさる	21
おうとぶつ (嘔吐物)	げっげ	32
おおがねもち	だいじんこ	51
おおがねもちのいえ	でーじんこ	56
おおきい	でっかい	57
おおきい	でっけ	57
おおきい	でっけえ	57
おおきいからだ	ずうて	45
おおきいたいど (態度)	ずぶとい	46
おおげさ	ぎょうさん	28
おおごえでおこる	どやす	60
おおぜいでだんしょうする	おたあげる	17
おおどおり	けいど	31
おおばこ	がえろつば	23
おおばこ	げーろっぱ	31
おおはし (大箸)	まなばし	82
おおゆきの中を歩く	こぐ	34
おおよそ	おーけん	14
おおよそ (大よそ)	あてずっぽ	3
おおよそ (大よそ)	あてずっぽう	3
おおよそ・だいたい	おおけん	14
おおよそのしておけ	てえてにしる	57
おかあさん・ははおや	おっかん	18
おかあさん・ははおや	おふくろ	18
おかあさん・ははおや	かやん	18
おかえしする	れいする	95
おかしい	ちゃんちゃらおかしい	54
おかず	はしやすめ	69
おかみさん	おかた	14
おかみさん	おかつつあん	14
おきたて	むっくりおき	84
おく (奥)	いり	8
おくのほう	おくで	15
おくべし	おけっちゃ	15
おくんささい	おくれやれ/おくれやい	15
おこなわれた	やんなした	91
おこる (怒る)	いきりたつ	5
おこる	おこる	16
おこる	もくれる	86
おこる	りきむ	95
おさえつける	うつつめる	9
おじ (伯叔父)	おっさん	19
おじ (伯叔父)	おっちゃん	19

おじ (叔父・伯叔父)	おっちゃん	19
おじいさん	おじさん	16
おじいさん	じやん	43
おいしいもの (惜しいもの)	あったらもん	2
おしえてください	おせとくらい	17
おじさん	おっさん	19
おしっこする	しっこまる (しっこひる)	41
おしむ (惜しむ)	あったらもん	2
おしむ (惜しむ)	あったらもんがる	2
おしゃま	こまっちゃくれ	36
おしょうさん	おっしゃん	19
おすわり	おんと	22
おせじ	おちょうべ	18
おせじをいう	おちょうべをたれる	18
おせっかい	おせんしょ	17
おせっかい	おちょっかい	18
おせっかい	せんしょう	47
おせる	おしえる	17
おそい	おせー	17
おそい・わるいひと	づるい	56
おそなえもの	おかざり	14
おそろしい	おっかね	18
おそろしい	おっかねい	18
おそろしい	おっかねえ	18
おたちよりください	よってくらい	92
おたべください	たべてくんない	52
おだやかになる	おだんでくる	17
おちた	おった	19
おちつかない	きよす	28
おちゃうけ	おちゃおけ	17
おちゃうけ	おちゃじめ	18
おちゃをのんでだんしょう	おちゃこ	17
おっくう	おめって	21
おっと	ととお	60
おつまみ	おつまり	19
おでかけなされた	ゆきなした	91
おてだま	あやだま	4
おてだま	おひとつ	20
おてだま (手玉)	しなだま	42
おてんば	きゃんきゃら	28
おとうさん・ちち	とやん	60
おどおど	おびおび	20
おどかす	びしゃかける	72
おとこ (男)	やろ	91
おとこしゅう	おとこしよ	20
おととい	おってな	19
おととい	おっとしな	19
おとなのまねをする	おじよこ	16
おとなびている	こまっしゃくれ	36

おどろいた	おどけた	20
おどろく	おどける	20
おどろく	たまげる	52
おなじばしょ (同じ場所)	ひとつとこ	73
おにいさん	あんしゃん	4
おにいさん	あんちゃ	4
おねがい・ものをゆずってほしいこと	ごむしん	36
おねがいします	おたのもしやす	17
おねがいもうしあげます	おたのもうしやんす	17
おはぐろとんぼ	かわとんぼ	26
おはじき	きしゃがい	27
おはようございます	おはようごわす	20
おふろ	おべちゃ・おべちゃ	21
おべっか	おてんたら	20
おぼうさん	おっしゃん	19
おぼん	へぎ	77
おぼん	おへぎ	21
おまえ	うな	10
おまえ	うな (ら)	10
おまえ	おい	13
おまえ	きさま	27
おまえ	てめえ	57
おまえ	われ	98
おまえ・あなた	おめ	21
おまえ・あなた	おめさん	21
おまえ・あなた	おめやん	21
おまえ・きみ	おめえ	21
おまえたち	うなら	10
おむこさん	もこさん	87
おむつ	おしめ	16
おむつ	しめし	42
おもいがけない	おめかけねー	21
おもいきり	おめしめ	21
おもいきり (思い切り)	げっち	32
おもいなし・おもいきって	おべなし	21
おもたい	よもたい	92
おやつ	おこびれ	16
おやりなさいませんか	おやんねか	21
およりください	およんなして	22
おりかえし	おりけえし	22
おる	おしよる	17
おんな	あま	3
おんなきょうだいしまい	おば	20
おんなしゅう	おんなしょ	22
おんぶする	おぶる	21
が(蛾)	あまびら	3
かあさん	かあやん	23
かい (回)	くら	30
かい (回)	けら	30

かいこ (蚕の三眠おき)	ふなおき	76
かいこのまぶし	すくら	45
かいこのようちゅう (解雇の幼虫)	けご	31
かいば (飼いは)	けいば	31
かえす	けえす	31
かえってくれば	かえってこえば	23
かえられた (帰られた)	いかった	5
かえる	けえる	31
かえる	がえろ	23
かえる (蛙)	ぎやく	28
かえる (蛙)	ぎやくったま	28
かえる	げーろったま	31
かお	つら	56
かおをみせない	かげのぞきもしない	24
かかと	あくど	1
かかと	きびす	28
かがみもち	おふくで	21
かがむ (屈む)	こうながる	33
かがる	とじくる	59
かきこむ (食べる)	かっこむ	25
かきぞめ	てんぴつ	58
かきだいしょう (ガキ大将)	がたく	24
かきだす	けえだす	31
かきなぐる	えのくる	12
かきね (垣根)	くね	30
かきまわす	かんます	27
かきまわす	とんまあす	61
かくれんぼ	かくねっこ	24
かけっこ	とびっくら	60
かげぼうし	かげんぼち	24
かご (竹で編んだかご)	ぼて	79
かこつける	かずける	24
かさばる	ごうまく	33
かざるひと	だってこき	52
かし (菓子) やまんじゅうをいれるもくせい (木)	じきろ	41
かそうば	やきば	89
かぞくじゅう	やうち	90
かぞくじゅう	やぶち	90
かたあし	しんがら	44
かたあし	しんがらかく	44
かたあし (片足)	しんがら	74
かたあし (片足)	ひんがら	74
かたあしとび (片足跳び)	ひんがら	74
かたあしとび (片足跳び)	ひんがらかく	74
かたっぼう	かてっぼ	25
かたがわ	かたっぺた	24
かたぐるま	てんぐるま	58
かたつむり	でいろ	56
かたつむり	でーろ	56

かたてふぐなもの	てんけ	58
かたまり	こごり	34
かたむく	かしがる	24
かたむく	かたがる	24
かため	めっちょ	86
かちゅう	やうち	90
かちゅう	やぶち	90
かつおぶし	かつぶし	25
かつかつ	つくつく	55
かっこう (恰好) ・したく	しこ	41
かってにしろ	おきやがれ	15
かっぱ	とうい	58
かな～	かや～	26
かなしい・つらい	せつない	47
かなしい・つらい	せつねえ	47
かなりてぬきな (手抜きな)	いいころかげん	5
かに	がに	25
かびがはえる	こうふく	33
かびがはえる	こうふける	33
かびる	ふける	75
かぶとむし	おにむし	20
かまきり	えぼつつりむし	12
かまぼこ	いたつけ	6
かみ (紙) だたみのさいふ (財布)	さんとく	40
かみきりむし	けきりむし	31
がむしゃらに	がつつく	25
かめむし	へっぴりむし	77
から (殻)	ごう	33
からかう	おちよくる	18
からかう	きよくる	28
からかう	せせくる	47
からかう	せせる	47
からかう	やちやかる	89
からすがい	どろつかい	61
からだをまるめる	うずくまる	9
からっぽ	ががすっぽ	23
かりおさめ (刈りおさめ)	あきじめ	1
かるはずみ	おちよび	18
かるはずみ	ちょび	54
かれ (彼)	あえつ	1
かわいがる	まつべる	82
かわいそう	もうらしい	86
かわきつく (乾きつく)	かわばる	26
かわく	はしゃぐ	69
かわせみ	かわちゃんび	26
かわのみずくみばしょ (川の水汲み場所)	くみど	30
かわり (代り)	かわし	26
かわをむく (栗など)	いがく	5
かんがい (旱害)	ひやけ	74

かんがえなし	やちなし	89
がんこ	いんご	8
かんしょく	そさび	48
かんしょく（間食）・おやつ	こびれ	36
かんぜん（完全）にまける	ごろまけ	37
かんぜんむしする	そらっかまんどく	48
かんだい	おーよう	14
かんたんなしごと	めしめしごと	85
かんはつをいれず（間髪をいれず）	いきなり	5
かんべんして（勘弁）	かんしな	27
きあけ	しょうじんあげ	43
きおくりよく	ものおべ	87
きおくれ	ばおくれ	69
きがつよい（気が強い）	きゃ一つえ	28
きがぬける	えがぬける	11
きがぬける	ぎんなりする	29
きくいも（菊芋）	からいも	26
きこり	こびき	36
きざいのひきのこりのいた	せが	46
きたない	ごきたね	34
きたない	ごむあい	36
きたない	ごむせい	36
きたない	びしょって	72
きたない	びしょってね	72
きたない	むさい	84
きたない	むせい	84
きたない	むっさい	84
きてください	きとくらい	27
きなさる	おでやる	19
きのう	きんな	29
きのどく	もうらし	86
きのどく	もうらしい	86
きませんか	こねかい	36
きまりのないしごと	まごつきしごと	81
きみ	おまえ	21
きみ（気味）	きび	28
きもの	ばいこ	69
きもの（着物）	いしょ	6
きもの（着物）	えしょ	11
きもののあげ	ぬいあげ	65
きものをきておびをしめない	おびとりはだか	20
ぎゃくたい（虐待）する	いじかめる	6
ぎゃくたい（虐待）する	いじめる	6
きゅうじつ（休日）	あすびひ	2
きゅうす	きびしょ	28
きゅうなあめ	だしあれ	51
きゅうのあと（灸のあと）	ぼうじる	78
きょうごろ	きょういつ	28
きょうごろ	きょうやつ	28

きょうしゆく	おしよし	16
ぎょうしょう (行商)	ふりうり	76
きょうじん (狂人)	きふれ	28
きょうだい	きょうで	28
きょうは	おかせぎなして	14
きらくに	じょんのび	44
ぎりぎりいっばい	つついっばい	55
きりぎりす	きす	27
きりぎりす	きっちょ	27
きれる	ひっきれる	72
くい	くぎっぽ	29
くい (杭)	くねんぼ	30
くい	つく	55
くいつく	かぶりつく	25
くう (食う)	まくらう	81
くぐりど (小さな潜戸)	こぐり	34
くさい	ねぐさい	66
くさい	ねぐせ	66
くさい	ねぐせえ	66
くさったにおい	ねぐさい	66
くさったにおい	ねぐせ	66
くさったもの	ねぐせえ	66
くさる	わるくなる	97
くすぐったい	むずけえ	87
くすぐったい	むずっかい	84
くすぐったい	むずっけ	84
くすぐったい	ももっけ	87
くすぐる	くつつばす	29
くすぐる	くつばす	29
くすぐる	もずっかす	87
くすぐる	もぞかす	87
くすぐる	ももっかす	87
くずす	やつす	90
くずなにんげん	どうされ	58
くすぶる	ふすくる	75
くずまゆ	びしょったま	72
ください	おくらい	15
ください	おくんなして	15
ください (物)	くんない	31
くだもののき	なりもずく	64
くだらない	らちもねえ	95
くだらない	らっちもない	95
くだらない	らっちもねえ	95
くだらない	らっちょもね	95
くだらない	らっちょもねー	95
くだらないこと	おたくら	17
くだらないこと	ねたくら	66
くだらぬこと	しゃあくなし	42
くちごたえ	うってげえし	10

ぐちをいう	かまける	25
くつつく	とつつく	59
くつつく	ひつつく	72
くどい	くでー	29
くびったま (首の根本)	くびねっこ	30
くびのねもと (首の根本)	くびねっこ	30
くぼち	おちこみ	17
くぼち (窪地)	くぼったまり	30
くぼち (水辺)	まま	82
くまで (熊手)	くまんざれ	30
ぐみ	すぐり	45
くみだす (汲みだす)	けしだす	31
くやみのあいさつ	おちからおとし	17
くやみのことば	おさんざん	16
くらくなる (暗くなる)	まくまくする	81
くらくなるころ (暗くなるころ)	まくまく	81
くりごと (繰り言)	かまける	25
くりなどじゅくしてわれる	えむ	13
くるしむ	もでる	87
くるぶし	くるみ	30
くろい	くれー	30
くわ (鋤)	くわんがら	30
くわきりかぶ	とっこ	59
くわのみ (桑の実)	くわぐみ	30
くわのみ (桑の実)	くわみず	30
けいきをつける	にやかす	65
けいしゃがゆるい	なせ	63
けいだい (境内)	けだし	32
けいれん	からすげえり	26
げーろ	がえろ	23
けす	けやす	32
げすいのおちぐち	おちじり	17
げた (畳のついた下駄)	ござうち	34
けち	まてー	82
けち	まてくそ	82
けちけちしないこと	おおふ	14
けちなようす	しわい	44
けちらす (蹴散らす)	けっこくる	32
けっこう (結構) じゅうじつ (充実) して	こみっちり	36
けっこん (結婚) の約束でたる入れという行事	いっしょういれる	6
けっこんまえ	ものまえ	87
けっしてやってくれるな	ななやっと	63
けとばす (蹴飛ばす)	けつける	32
けむい (煙い)	けべえ	32
けりあげる (蹴り上げる)	けしゃる	32
ける (蹴る)	ふんごくる	76
ける (蹴る)	ふんでくる	76
けんか	いさけ	6
けんか	えさけ	11

げんそん	やしやまご	89
けんやく (儉約)	までー	82
ご	えつつ	12
こい (鯉) のさしみ	あらい	4
こいし	いしっころ	6
こいしのおおいところ	があら	23
こいしのおおいはたけ	があら	23
こいしをふんでころぶ	いしぐるまにのる	6
こいはな汁	ごっぱな	35
ごいんじゅさま (御院主様)	ごいんじょさん	33
こうかん	ええっこ	11
交換 (金)	ぶつ	75
こうかん (交換)	けえっこ	31
こうかん (交換) する	ずっけ	45
こうかんする	ばくる	69
こうさい (交際)	まつばり	82
こうさんする	けつまくる	32
ごうじょう	ごうたれ	33
ごうじょう (強情)	こつ	35
こうずい (洪水)	みずつき	83
こうずい (洪水)	みずまし	83
こうぜんと	おんかはれて	22
こうたい	かわりばんてん	26
こうとうぶ (後頭部)	ぶんのくど	76
こうばい	のり	68
こうま	とーね	59
こうろん (口論する)	がりあう	26
ごえもんぶろ	とぶくろ	60
こおりすべり	すべりっと	46
こおる (凍る) ・さむ (寒) さでこおりつく	し (凍) みる	42
こおろぎ	ころころ	37
こがたな (小刀) ・ナイフ	さすが	39
ごくすこし	めくそほど	85
こくもつなどをちょうせい (調整) する	こなす	36
こげくさい	あまびれくっせえ	3
こげくさい	あまびれっくさい	3
こげくさい	あまぶれくせ	3
こげくさい	あまぶれる	3
こげくさい	きなくせ	28
こげつく	こびつく	36
ございたくですか?	おやったかい	21
ございたくですか?	おやるかい	21
ございます	ごわす	37
こしがひくい	じよせねえ	43
ごししょうさま (ご師匠様)	ごっしゃん	35
こしまき	ふんどし	76
こしらえる	こせる	34
こしをまげる	こうながる	33
こしをまげる	こながる	36

こしをまげる	このがる	36
こじんまり	ちまぢま	53
こすい人	りこもん	95
こずえ (梢)	うら	10
こそばゆい	もずっけ	87
ごたい (身体)	ごうて	33
こたえられない	こてーらんね	35
こたつのあな	おとし	20
ごちそう	おごっつお	15
ごちそう	ごっそ	35
ごちそうさま	おごっそ	15
ごちそうさまでした	おごっつおう	16
こづかい	こずけ	34
こっけい	やちなし	89
こっぶぎけ	てっばぎけ	57
ごと (~と一緒に)	ませ	81
こども・こどもをしかる	がき	23
こどもがちょうしづく	ちよびちよび	54
こどもがちょうしづく	はしゃぐ	69
こどものあたまのけをすりのこしたところ	おけし	15
こどもの機嫌をとる	あやす	4
こどものすわること	えんこ	13
こどもをほめることば	よくしたよくした	91
ことよせる	かずける	24
こなまいき (小生意気)	こまっしゃくれる	36
このあいだ	こないだ	35
このごろ	こないだ	35
このひと	こえつ	33
ごはん	まんま	83
こび・へつらうこうい	(お) てんたら	58
こぶ	たんこぶ	52
こまかいね (根)	ざざね	39
こまげた (駒下駄)	ひらつか	74
こまごましたことをいやがってやらないこと	ずくなし	45
こまったもんだ	てこだ	57
こまらせる	ごぜんやく	37
こまる	よわる	92
ごみすてば (貝塚)	ごうずか	33
こむらがえり (返り)	からすげえり	26
こめかみ	こびんたま	36
こめだわら (米俵) のふた (蓋)	さんだらばせ	40
こめの中にまじっているもみ	あら	4
こめや	こくや	34
こもり (子守)	かたる	24
こや (小屋)	げや	32
こられた・おいでなさった	こらった	37
ごらんになった	みらった	84
ころがしておとす (転がして落とす)	まくる	81
ころばしおとす (ころばし落とす)	まくしりこむ	81

ころぶ	つっころぶ	55
こわい	おっかねー	18
こわい	おっこ	18
こわい沢山のはな汁	こずっぱな	34
こわがられた	ももっか	87
こわがる	おっかながる	18
ごわごわする	ごおばる	33
こわす	おっこす	18
こわばる (筋肉)	みいる	83
こわれた	おっこれた	18
こわれる	おっこれる	18
こをせおうとき	ねんねこ	67
こんど (今度) こそは	こだこっさー	37
こんなにたくさん	このけんまく	36
こんばんは	おつかれ	18
こんばんは	おつかれさん	18
こんらんする	わやわやする	97
こんれい (婚礼) につかうおおぶろしき	ゆたん	91
こんれい (婚礼) のつきそいびと	ろうどう	95
さ (裂) く	さばく	40
さ (裂) ける	さばける	40
さいご	どんけつ	61
さいこうの喜び	こてーらんね	35
さいこうび (最後尾)	げれ	32
ざいさんをつむ	おかまをおこす	14
さいしょ・さいしょから	てんずけ	58
さいしょに	しょっぱね	44
さいしょに	しょて	44
さいそく (催促)	せいそく	46
さいふ	せいふ	46
さいふ	せえふ	46
さかい (境)	さけ	39
さかさま	さかさっぱ	39
さかなくさいにおい	なまどくせえにおい	64
さきおととい (一昨日)	さきなおってな	39
さきがまるいこと	でんぼ	58
さぎちょう	どんどやき	61
さきのとがっているさま	つのる	55
さぎょうようの手布	えがけ	11
さぐ (捜) る	さがす	39
さくがら (作柄)	さくなみ	39
さくねん	きょんな	29
さくや	よんべな	93
さけのさかさ	おつまり	19
さげる (下げる)	ぶるける	76
さしあげる	もうしあげ	86
さしあたり	さっきやく	39
さしだしぐち	よこぐち	92
さしだす (差し出す)	さんだす	40

さといも	はいも	69
さなぎ (かいこの)	どきよ	59
さばく (魚)	ぎよる	28
さびしい	さむしい	40
さむい	かんじる	27
さむい	さびい	40
さむいや	さびや	40
さむがり	ずくなし	45
さむさがよわいこと	なるい	64
さむさきびしい	はじかむ	69
さや	えんざ	13
さようなら	ごめん	37
ざらつく	こそっぺ	35
さらに	めった	85
さる	やいんぼ	89
さる	やえんぼ	89
ざる	いざる	6
ざる	いちやる	6
ざる (竹で編んだざる)	ぼて	79
さわ (騒) ぐ	さまぐ	40
さんしゃ (蚕沙)	こじり	34
さんせいする	のる	68
さんだわら	ばせ	69
さんば	とりあげばあさん	61
さんぼんじろ (三盆白) ・しろざとう (白砂糖)	しほんびき	42
し (死) す	ごねる	36
し (死) ぬ	しむ	42
しあさって	やねあさって	90
しあわせ	ごほうべんに	36
しーそー (シーソー)	ぎっこんばったん	27
しうと・しうとめ	しごとちち・ばば	41
しお	しょー	43
しお (塩) ざけ	しおびき	41
しおれる・ちぢむ	しなくれる	42
しか	さら	40
しかた (仕方) がない	しこって	41
しかたがない	しょうがねい	43
しかたがない	しょうね	43
しかたなしに	しょうことなし	43
じき (時季)	しゅん	43
しくじる	しびくる	42
しくじる	てちよかく	57
しげ (茂) る	こもる	37
しげる (茂る)	ほうりょう	78
しこたま	やっと	90
しごとがんばって	おかせぎ	14
じざい (自在) かぎ	かぎつけ	24
しさんか	おおどこ	14
しじゅう (始終)	しょっちう	43

しずかになる	おだむ	17
しぜんに	うなでに	10
しぜんばえ (自然ばえ)	みしょう	83
した (舌)	へら	78
した (舌)	べら	78
した (舌)	べろ	78
したぎなしできものをきる	つぶ	55
したばら (下腹) へちからをいれる	いきむ	5
しちゅうぼう (支柱棒)	くねぼう	30
しつこい	ねつい	66
しっち (湿地)	ひどろ	73
しつれい (失礼) します	ごめんなして	37
していらっしゃる (敬語)	らる	95
している	けつかる	32
してわいけない	ななやと	63
じなん・さんなん	おじ	16
しにんをしらせにあるくひと	つげびと	55
しぬ	めおとす	85
じぬし	じょうや	43
しばらくして	やーんと	89
しばる (縛る)	ふんじばる	76
しぶい	しびー	42
じぶんのこと	わし	97
じぶんのせき	おば	20
じぶんをさしている	わしゃ	97
じぶんをよぶとぎのことば	おら	22
じぶんをよぶとぎのことば	おれ	22
じぼうじき	やけっぱち	89
しほうだい	～たける	51
しほりそで	つつっぽ	55
しまりがない	だだ	51
しまりがない (締め)	ぶしょう	75
じまんする (自慢)	ふく	75
しみ (紙魚)	きらむし	29
しめる	つめる	56
じめん	つちみざ	55
しも (霜) やけ	ゆきやけ	91
しゃじのいりぐち	だいもん	51
じゃすい (邪推する)	がぐる	24
しゃっくり	きっくり	27
しゃつなどがすこしきゅうくつなこと	つもい	56
しゃべるな	ぬかす	65
じゃまになる	やぶせて	90
じゃんけん	ちっち	53
じゃんけん	ちゅうかん	54
じゅう	じょう	43
しゅうい (周囲)	ぐるわ	30
しゅうしんされる	ねなさる	66
しゅうぜんする	はそん	69

しゅうぜんする	はそんする	69
じゅうのう	おきすくい	15
じゅうのう	じょうの	43
じゅうばこ	ちょうばこ	54
じゅうぶん (充分) に	せーぜー	46
じゆくす (熟す)	うむ	10
しゅっさん	みつむけ	84
しゅっさんいわい	おぶたて	21
しゅっせきされた	でなさった	57
じゆんさ	じょんさ	44
じょいん (女陰)	べべ	78
じょう	かぎ	23
しょうじゃ (小蛇)	じもぐり	42
じょうじん	ねんごろ	67
じょうず (上手)	うまい	10
しょうたいなし	しょうてなし	43
じょうだん	やちなし	89
じょうだんあそび (冗談遊び)	うそんこ	9
しょうぶでもものやりとりをしないこと (ビー玉な)	うそんこ	9
しょうべん (小便)	しこ	41
しょうべん	しょんべん	44
しょうべん (小便) する	しこまる	41
しょうりやくする	やつす	90
しょくじ (食事)	まんま	83
しょくじのしたく	めしがまけ	85
しょくじをつづけてね	おしずかに	16
しょじょち (処女地)	あらとこ	4
しょっちゅう・たびたび	とろっびょう	61
しょっぱい	しょっぺ	44
しょっぱい	しょっぺい	44
しらぬ顔をする	けそはらう	32
しらみ	かんのんさん	27
しらみのたまご (シラミの卵)	きびす	28
しらんかお	とぼける	60
しらんふりしていやがる	けそけそしてけつかる	32
しり (尻)	しっぺた	41
しりません	しりしね	44
しりもしないのに	しりもひっかすばって	44
しる	おつけ/おつよ	18
しる	おつよ	19
しる (汁)	したじ	41
しるのみ	おこ	15
しるのみ	おこう	15
じれったい	いじがやける	6
しろい	しれー	44
しろうり	つけうり	55
しん (稲穂)	みご	83
しん (果物の芯)	がまんど	25
しん (芯)	しんとう	44

じんいんをせいりする	とぼかける	60
しんがり (殿)	げれ	32
しんちく (新築)	わたまし	97
じんつう (陣痛)	しきり	41
しんぱいする	かまう	25
しんるい (親類)	うちわ	9
しんるい (親類)	ひっぱり	73
す (酸) いこと	すっぺ	45
ずいき (里芋などの葉柄部分)	いもがら	8
ずいき (芋茎)	ずいき	44
すいとん	ひんのべ	74
すいとん	ひんのべだんご	74
すいとん	へんのべ	74
すいば	すいこ	44
ずいぶん	えいかん	11
すいもん	どよば	60
すいもん (水門)	ひの	73
すえっこ	おとっこ	20
すえっこ	ねこのしっぽ	66
すえぶる	せいふる	46
すくない	すくねー	45
すくない	たしね	51
すくなくなる	べっそり	77
すごく	えれえ	13
すごく	わんずね	98
すごくおおい	なむねえ	64
すこし	ちっと	53
すこしばかり	ちょっとばか	54
すこしも・ほとんど	ろくすっぽ	95
すっかり	こてんこてん	35
ずっとまえに	さっきなに	39
すてる	びちやる	72
すてる (捨てる)	びちやる	77
すてる (捨てる)	べちやる	77
すてる (捨てる)	ほっぼる	79
すなおでない	ずぶて	46
すね	めつつね	86
すねる	いぼつつり	8
すねる	いぼつる	8
すねる	えぼつつり	8
すねる	えぼつる	12
すばしこい	ちょっけはやい	54
すばしっこい	こうべがはやい	33
すべて	しつかい (悉皆)	41
すましがおしてる	けそけそしてる	32
すましている	けっそかっぱらう	32
すまない	いたみいる	6
すみ (粗悪な墨)	べたすみ	77
すみびなどのひ	おき	15

すりこむ	くしる	29
すりばち	あたりばち	2
ずるい	おぜ	17
すわる	おちゃんこ	18
せい(制)がでる	せっこいい	47
せいさく(製作)をたのむ	あつれる	3
せいしこうじょう(製糸工場)	きかい	27
せいぜい	せきさか	46
せいちょうする(草木が生長する)	ほける	78
せいなんのかぜ(西南の風)	きそみなみ(木曾ミナミ)	27
せいりせいとん(整理整頓)していないさま	ごったく	35
せいりよくか(精力家)	がり	26
せいろう	すいろ	44
せいろう	どうぶかし	59
せおう	おばる	20
せおう	しょう	43
せがひくい	ちく	53
せきれい	いしたたき	6
せっきょうのよりあい	おざ	16
せつぞくごをあらわすことばでありつぎにいいけっ	なっちょも	63
ぜに	ぜに	47
せぼね	どしつぼね	59
せまい	せめい	47
せまい	せめー	47
せみ(蟬)	じみ	42
せむし	せこぶ	46
せわをする	まつべる	82
せん(栓)	ぼそ	79
せんこく(先刻)	さっきながた	39
せんじつ(先日)	せんだな	47
ぜんぜん	かいしき	23
ぜんぜん	もっくし	87
ぜんぜん・すこしも・たいしたことがない	ねっから	66
ぜんぜんなくす	すっぺこっぺ	45
せんぞにするどうぐ(道具)	せんぞつき	47
ぜんたい(全体)	ぜんて	47
せんねんしない	かたつちりあげる	24
ぜんぶ	くりくり	30
ぜんぶ	ねこそぎ	66
ぜんぶ	ねこそり	66
ぜんぶ	ひとつぺに	73
ぜんぶまとめて	いっしょくた	7
せんめんき	かなだらい	25
そういっても	ぜんて	47
そうか	ほーけ	78
ぞうかや	だみや	52
そうぐや	だみや	52
そうごうをくずす(相好)	めぐめご	85
そうさする(操作する)	いびる	8

そうしき	そうれ	48
そうしき	とりおき	61
そうしき	のおくり	67
そうしき	のべおくり	67
そうしき (葬式) のときにかける腰布	いろ	8
ぞうすい	おじや	16
そうちょう (早朝)	あさっばら	2
そうちょう (早朝)	あさっぴら	2
そうでしょう	そうだらず	47
そうですか	かっちゃ	25
そうですか	そうかっちゃ	25
そうですか・そうでしたか	そうかっちゃ	47
そうでない (打消し)	いんにや	8
そうでない	だれえ	52
そうでないかね	そうだんか	47
そうとう (相当) におおきい	いいかんでかい	5
そうめん	おざんざ	16
ぞうり	さっかけ	39
ぞく	やとい	90
そこひえする	しわしわする	44
そざつ	もうぞう	86
そしょう	でいり	56
そなれまつ	ねずみさし	66
そのうちに	いと	7
そのうちに	そのいとに	48
そのうちに	そのえと	48
そのとおりだよ	そおどころじゃねえ	48
そのばしのぎ	やにぐる	90
そのひと (そいつ)	そえつ	48
そのまま	ぞっくり	48
そのようなことはありません	そんなことござんしね	49
そふ	おじさ	16
そふ	おじいさん	16
そぼふるあめ	しょぼうく	44
そまつでした	おかるござんした	14
そまつな・こすい	おぞい	17
そやだ (粗野だ)	ごつい	35
そら	てんじょく	58
それっぼっち	それっばか	48
それでは	あちゃ	2
ぞろい	ぞつき	48
ぞんじません	ぞんじゃしねー	49
だいいちばんめ	しょっきり	43
だいこうずい	おーまんすい	14
だいこうぶつ	めがない	85
だいこん	でーこん	56
だいこんなどこまかくきざんだもの	せんぞ	47
たいした	ろくろく	95
たいしたことではない	さもねえ	40

たいしたことではない	ろくすっぽ	95
だいしょうべんをする (大小便をする)	まる	82
たいしょく	おーばす	14
たいしょく	おーまくれ	14
たいしょくかん	おおまくらい	14
たいせつな	とっとき	59
たいせつなもの	とっとき	59
たいそう	ずで	45
たいそう	たんと	53
たいそう	やっと	90
たいそう・たくさん	えれえ	13
たいそう・たくさん・えれー	でかく	57
だいたい	そっちこっち	48
だいたい	なから	63
だいたい	なから (なせ)	63
たいてい・だいたい	ていげ	56
たいてい・だいたい	てえげ	56
だいどう	おーかん	14
だいどころ	でえどこ	57
たいひじょ (堆肥所)	こえずか	33
だいぶ	ええかん	11
だいべん (大便)	ほんもん	79
たいへんおおきい	わるでかい	97
たいへんな	いぶせ	8
たいへんな	どえれ	59
たいへんな	なもね	64
たいへんなくろう	おおごくろ	14
たいへんなこと	えれえこと	13
たいらかなるち	おき	15
たうえあとのやすみ	のやすみ	68
たがいちがい (互い違い)	ぶっちげ	75
たきぎ (焚き木)	ぼや	79
たくあん	おここ	15
たくあんづけ	おここ	15
たくさん	いっぺ	7
たくさん	いっぺー	7
たくさん	いっぺたべろー	7
たくさん	えっぺ	12
たくさん	ぎょうさん	28
たくさん	けんまく	32
たくさん	ごい	33
たくさん	こいったま	33
たくさん	このけんまく	32
たくさん	しこったま	41
たくさん	たんと	53
たくさん	どっと	59
たくさん	やっと	90
たくさん沢山・じゅうぶん十分・じゅうじつ充実	さんざ	40
たくさん (沢山)・たいそう・どっさり	しこたま	41

たくさん（沢山）になる	さんざになる	40
たくさんく（食）った・まんぶく	さんざくった	40
たぐる	たぐねる	51
だけど	だけん	51
だし・ぎょうれつ	おねり	20
たたく	ひったたく	73
たたく	ひっぱたく	73
たたく	ぶったたく	75
たたく	どうずく	58
だだこねる	ごたこねる	35
だだをこねる	ぐさる	29
たち	しょうれ	43
たづくり（田作り）	ほしこ	78
だっこく	たごき	51
たっしゃですか（達者ですか）	まめかい	82
たにし	たんし	53
たねもみ（種粃）	すじ	45
たばこいれ	かます	25
たばこいれ	たばけり	52
たばこいれ	たぼけり	52
たばこいれ	たぼこより	52
たはた	たんぼ	53
たはた（田畑）から家へ帰る	あがる	1
たばねる（束ねる）	まるける	82
たび（足袋）	こうかけ	33
たびたび	じょうや	43
たぶん	おーく	14
たべかた	むらぐい	85
たべかた	むらっくい	85
たべながら	くいしま	29
たべること	もうぞっくい	86
だます	ぶつ	75
たまものきょうおう	おごちそう	15
たまらない	こてーらんね	35
だめ	なっていない	63
ためいけ	とぶ	60
だめだよ	だめだしない	52
たもと	たんぼ	53
たやすい	ぞうさもねえ	47
だよ	〇〇だし	51
だよ	しな〜い？	42
だよ？	〜だしない？	51
だらしがない	びしょってねい	72
だるい	けったるい	32
だるい	ごして	34
だるい	ごしてー	34
だるい	ひだるい	72
だろうか？	〜だっちゃ？	52
たわけごと	おたくら	17

たわけもの	のめし	67
たわし	おからみ	14
たわむれる (戯れる)	あばれる	3
たわら	たーら	51
たんき (短気)	きもつきり	28
たんき (短気)	きもつきれ	28
たんき (短気)	きもみぢか	28
だんご	やししょうま	89
たんじかん (短時間)	ひとつきり	73
たんぜん	ねまき	66
たんぱく (淡泊)	さくさく	39
たんぽぽ	くじな	29
ちいさい	ちいせ	53
ちいさい	ちくさい	53
ちいさい	ちんかい	53
ちいさい	ちんけ	53
ちいさい	ちんせー	53
ちいさいおさら	おてしょ	19
ちいさいものがおお (多) くあるとき	ごまごま	36
ちがう	えんにゃ	13
ちがうよ	だあ～	51
ちがうよ	だーさ	51
ちがため	どうずき	58
ちからいっぱい	ちからえっぺ	53
ちぐはぐ	びっこちゃっこ	72
ちくまがわ	ちょうま	54
ちこくする	すぐる	45
ちさん (稚蚕) のしいく (飼育)	こばそだて	36
ちち	おとっさ	19
ちち	おとっさん	19
ちちおや	ちゃーさん	54
ちちおや	ちゃさん	54
ちちおや	ちゃちゃ	54
ちちおや	ちゃっちゃ	54
ちちおや	ちゃん	54
ちちおや	とうやん	54
ちちおや・おやじさん	おっとさん	19
ちやわんざけ	てっば	57
ちやわんのいとどこ (茶碗の糸底)	いとじり	7
ちゅうがえり	かんばら	27
ちゅうしょくじぶん	おちゃづけじぶん	18
ちゅうしょくにどうですか	おあがりなして	13
ちゅうと	とちゅうなか	59
ちゅうぶ	ちょーき	54
ちょう (腸)	ひやくひろ	74
ちょうしがわるい	あんべわりい	4
ちょうしにのる	ちょんこずく	54
ちょっとのあいだ	ちょっくら	54
ちらかす	しっちらかす	41

ちりはらい	たたき	52
つえ	つえんぼ	55
つかまえる	とちめる	60
つかまえる	とつかめる	59
つかまえる	とつつかめる	59
つかれた	ごして	34
つかれた	ごしてー	34
つかれたようす	どへどへ	60
つかれたようす	なんぎだ	64
つかれてだるい	ごしたい	34
つき	なんまさん	64
つきとばす	つっからかす	55
つくづく	よっくよっく	92
つくねいも	さんたいも	40
つくる (甘酒・醤油をつくる)	かく	24
つごう (都合) がわるくなる・にぎょうじ (二行)	さしあう	39
つち	ちち	53
つちのかたまり	くれ	30
つちをほるどうぐ (土を掘る道具)	ほそ	79
つねる	つめくる	56
つねる	つめつける	56
つねる	ひねくる	73
つねる	ひねる	73
つま	かか	23
つま・にょうぼう	かかあ	23
つまづく	けつまづく	32
つまづく・ころぶ	つんのめる	56
つまらないもの	やくなし	89
つまらぬはなし・じょうだん	おたくら	17
つまらぬひと	ろくでなし	95
つめたい	ちびたい	53
つめたい	ちびて	53
つめたい	ちびてー	53
つゆ	つよ	56
つよき (強気)	きっぺがつよい	27
つよく	げいに	31
つよく	げえに	31
つよくころぶ	たたっころぶ	52
つよくはたく	げえにはたく	31
つよくやる	げえにやる	31
つらら	すぐり	45
つるはし	とんが	61
て (手) におえない	しこって	41
て (手) のこう (甲) をたたく	しっぺ	41
てあしくちをだす	ちょっけ	54
てあらいば	ちょうずば	54
であるく (出歩く)	ほっきあるく	79
ていえん	うーじ	95
ていさい	みてぐり	84

ていさいがわるい	むきやわるい	84
ていしゅ	ごてい	35
でいねい	のかる	67
ていねいな	まてえ	82
ていねいに	まていに	82
できしにん (溺死人)	かわながれ	26
てきとう (適当)	あてずっぽ	3
てきとう (適当)	あてずっぽう	3
てきとう (適当) ・ いいかげん	ささらほさら	39
できもしないのに	なまじっか	64
できもの	かんばれ	27
てくびが痛む病気	こうで	33
でこぼこ	ふろく	76
でし (寺子屋の弟子)	ふでこ	76
でしょ?	～だらず?	52
でしょう?	～だんかい?	52
ですぎる	いきすぎ	5
ですぎる ・ ませている	おじよこ	16
ですよ	～だこて	51
てだすけしあう	ええ	11
てだすけしあう	ええっこ	11
てだすけする	すける	45
でたらめ	たあくらたあ	51
でたらめ	たあくらため	51
でたらめ	ためくらため	51
でたらめ	でたらっぽ	57
てつあみ	わたし	97
てっぺん ・ ちょうじょう ・ やまのみね	すってんみね	58
てっぺん ・ ちょうじょう ・ やまのみね	てんびね	58
てっぺん ・ ちょうじょう ・ やまのみね	てんみね	58
てにおえない (手に負えない)	ごた	35
てぬぐい	てのごい	57
てぬぐい	ゆて	91
てぬぐい	よて	92
てのこう (手の甲)	いがけ	5
てのふぐしゃ	でんぽ	58
ではないか	(そう) だんか	52
てら (寺) などのいりぐち (入口)	ごはい	36
てんかん	てんご	58
てんぷら	つけあげ	55
とう (棟)	ぐし	29
とうかこうかんする	ずっけにする	45
どうかすると ・ ひよっとすれば	とっばすせば	59
どうかすると ・ ひよっとすれば	とっばずせば	59
どうして	なんして	64
どうしても	むつくし	84
どうそじん	どうろくじん	59
どうですか	なっちょ	63
どうですか	なっちょだい	63

とうなんのかぜ	たつみかぜ	52
どうにかこうにか	なっちょかかっちょか	63
どうにも	むつくし	84
どうぶつ	ももっか	87
どうも	おつかれ	18
とうもろこし	とんもろこし	61
とうもろこし	もろこし	87
とおい	えいかん	11
とかげ	かねちょう	25
ときどき	たまあに	52
とくい	よててる	92
とくい (得意)	よて	92
とくい (得意) せいつう (精通)	よてる	92
どじょう (土壌) をこわす	くれはたき	30
としより	としより	59
とち (杼)	あすび	2
とち (石の多い土地)	がらっぱ	26
とち (土地)	べと	77
とっくに (疾っくに)	いっつに	7
とてもかわいそう	まああずもおらしたねかい	81
どなる	がなる	25
どのくらい	どのかん	60
どのひと	どえつ	59
とび	とんび	61
とびおる	とびよんしょ	60
とぶずけ	そうしき	60
どもる	ままやく	82
どもるひと	ままやき	82
とらえる	おさめる	16
とらえる	つかめる	55
とらえる (捕える)	ふんづかめる	76
とりあげない	おっちらかす	19
とりかえひきかえ	とっけひっけ	59
とりのば	とり	61
とりのふん	けし	31
どろ	べと	77
どろた (泥田)	ひどろった	73
どんなようすか	なっちょだ	63
ない	ねえ	65
ないしょ	ねえしょ	65
ないだらう	ありやしめ	4
なおさら	のうさら	67
ながあめ	ながしけ	63
ながあめ (長雨) ・ゆうだち (夕立) にたいして	じぶり	42
ながい	なげー	63
ながいあいだ	はあるか	69
ながしじり	かんねんだめ	27
なかたがいする	こそっぺ	35
なかま (仲間)	あいは	1

なかま (仲間) にいれる	よせる	92
ながもちする	でえ (が) ある	56
ながら	しな (しま)	42
ながら	しま	42
なきむし	なきべっちょ	63
なぐる (殴る)	くらしつける	30
なぐる (殴る)	くらせる	30
なぐる	こかす	34
なぐる	こっぱりつけろ	35
なぐる	すっぽかす	45
なぐる	どうずく	58
なげやり	いきなり	5
なげる	すっぽかす	45
なげる	すっぽなげる	45
なさった	しなした	42
なしあたわず	だめ	52
なすなかれ	ななやれ	63
なぜ	なして	63
なつく (懐く)	まつばる	82
なにかにつけて	なんだせーば	64
なにかにつけよくわらうものをさす	わらいっちょ	97
なにごとじゃ・きく・ゆかげん	なっちょだ	63
なにごとぞ	なんです	64
なににしても	なんしろ	64
なにはともあれ	なんたらども	64
なにもかもいっしょにする	だみごみ	52
なにをいう	なにまく	64
なにをしているんだ	なにしてけつかる	63
なまいき (生意気)	いけず	5
なまいき	おじょこ	16
なまいき	かす	24
なまいき (生意気・利口ぶる)	かすつくさい	24
なまいき (生意気・小生意気・利口なこと)	かすくせ	24
なまいきな	こすっからしい	34
なまいきなこというな	かすこくな	24
なまいきなことをいう	かすこく	24
なまけもの	ずくなし	45
なまけもの	なまくら	64
なまけもの (怠け者) になる	ぐれる	30
なまける	のめす	68
なめらか	すべらっこい	46
なるこ (鳴子)	がらがら	26
なわしろ	ないま	63
なわしろだ	ねえま	66
なんぎ (難儀)	ごして	34
なんぎ (難儀)	ごしてー	34
なんぎ	しんの	44
なんぎ	なぎだ	63
なんぎ・からだがだるい	てきない	57

なんぎ・からだがだるい	てきねえ	57
なんじ (汝)	うな	10
なんだけど	さーけん	39
なんだろう	なんだっちゃ	64
なんということだ	なんてうこんだ	64
なんといったかなあ	なんせったけなあ	47
なんといっても	なんせかんせ	64
なんといへども	なんせかんせ	64
なんとなくさむい	うそろさむい	9
なんども	めった	85
なんないように (何ないように)	けそけそ	32
なんのやくにたたない	ろくでもねえ	95
にいにいぜみ	みんみん	84
にかい	にけい	65
にぎやかにする	にやかす	65
にくしゅっけつ (=内出血のこと)	ちがしむ	53
にくたらしい人	ひょうろくだま	74
にくらしい	にくったらしい	65
にげる (一目散に逃げる)	からんからんにげる	26
にこみうどん (煮込みうどん)	ぶちこみ	75
にこみうどん (煮込みうどん)	ぶっこみ	75
にこみうどん (煮込みうどん)	ほうとう	78
にしのかぜ	いいづなおろし	5
にせもの	てんぶら	58
にそう (尼僧)	あんじょ	4
にそう	おびい	20
にっちゅう (日中)	ひのき	74
にっちゅう (日中)	ひののき	74
にないおけ	にない	65
にのあしをふむ	しんびきする	44
にもつをもつ	になう	65
にゅうしのむしば (乳歯の虫歯)	みそっぱ	83
にゅうよく (入浴)	ひとつぺいりへいるか	73
によらいさま	によれさん	65
にわかあめ	だしあれ	51
にわとり	とてこっこ	60
にわとりなどはねのぬけかわること	とや	60
にわとりばいばいぎょうしゃ	とりばくろ	61
にわとりをかうもの	ちゃんぼかい	54
にんしん (妊娠)	ぼてれん	79
にんじん	ねんじん	67
ぬかみそづけ	あさづけ	1
ぬかみそづけ	どぶすけ	60
ぬかるみ	ぐっちゃ	29
ぬかるみ	ぐっちょ	29
ぬげ	のげ	67
ぬすむ (盗む)	あっためる	2
ぬの	のの	67
ぬま	のま	67

ぬまち	ひどろ	73
ぬりつける	なせりつける	63
ぬりつける (人にぬりつける)	かずける	24
ぬるい	のりい	68
ぬるゆ (ぬる湯)	ぼうずくさい	78
ぬれこと	しょうたれ	43
ねーちゃん	ねえやん	66
ねーちゃん	ねやん	66
ねがわくば	なっちょも	63
ねきりかぶ	とっこ	59
ねしょうべん	ねしょ	66
ねじる (足首)	ふんぐりかえす	76
ねたむ・ねたみぶかい・ねたみっぼい	そねっぺ	48
ねたむ・ねたみぶかい・ねたみっぼい	そのっぺ	48
ねまき	かいまき	23
ねむい	ねぶって	66
ねらう	ためる	52
ねんざする (捻挫する)	ひっちげる	72
のうさく (農作) をちゅうしんになってするもの	さくでええよ	39
のうじ (農事) が終わる	あきじめ	1
のき (軒)	がげ	24
のきした	かげした	24
のこさず	まていに	82
のこさず	まてえに	82
のぞけもの	のっけ	67
のどがつまる	こくる	34
のどぼとけ	のどちんぼ	67
のひとたち	もんち	87
のびる	ふんのひる	76
のびる (植物)	のびろ	67
のみこむ	のっくむ	67
のめる	えける	11
のる	のさる	67
のる・のせる	えっかる/えっける	12
のろま	うそろ	9
のんびり	きのうずに	28
のんびり	きのず	28
のんびり	きのずにやる	28
はい (答え)	あい	1
はい (灰)	へえ	77
ばい (倍)	べえ	77
はいから (ハイカラ)	いなせ	7
ばいしゅんふ	だるま	52
はいまわる	のたくる	67
はいる	へえる	77
はえ (蠅)	へえ	77
はえ (蠅)	へえーんぼ	77
はえ (蠅)	へんぼ	77
はえぬき	おいぬぎ	13

はえのようちゅう (蠅の幼虫)	ごうじ	33
ばか	うそろ	9
ばか	たあくらたあ	51
ばか・はちりん	てんぼうせん	58
はかどる	はかいく	69
ばかな	たわけ	52
はかない (儂い)	あっけねえ	2
ばかにする	へなす	78
ばかやろ	こっばすやろ	35
はく (吐く)	げしする	31
はく	もどす	87
はぐ (剥ぐ)	ひっぱぐ	73
ばくだいな (莫大な)	まくもうぞう	81
はげしくない	なるい	64
はげているひと	はげっちょ	69
はざ	はぜかけ	69
はさむ	ひっぱさみ	73
はさんする (破産する)	ぼーをおる (折る)	78
はしゃぐ	いちゃつく	6
はしれ! はしれ!	とべ! とべ!	60
はじをかく	わにわにする	97
はずかしい	しょうしい	43
はずかしい	しょうと	43
はずかしい	むきやわるい	84
はずかしがるさま	わにわに	97
はずす	はごす	69
はだかのい	つぶ	55
はたき	ぶっばらい	75
はたけ	ども	60
はたけでとれるもの	おかもの	14
はだし	つぶあし	55
はたみち (田道)	くろみち	30
はっきりしない	ぐずらぐずら	29
はっこうする	わく	97
はとむぎ	ぎしぎし	27
はなはだ (甚だ)	えこ	11
はにかむ	わにる	97
ばにく (馬肉)	けつとばし	32
はは	おっかあ・おっかさ	18
ははおや (母親の呼び方)	かっか	26
ははおや (母親の呼び方)	かやん	26
はやく! ほら!	はいくほー!	69
はら	どっばら	59
はらがけ	ちがけ	53
はらをたてる	むかっぱらたてる	84
ばれいしょ	なついも	63
ばれいしょ (馬鈴薯)	りゅうきゅういも	95
はれのいしょう (晴れの衣装)	いっちょうら	7
はれもの	くさっぱち	29

はんげしょう	からすでっぼう	26
はんこ	めめんこ	86
はんこう（反抗）してどなる	くちきく	29
はんしばん（半紙版）のみのがみ（美濃紙）	さんちうがみ	40
はんじょう（繁昌）する	さかる	39
はんたいのほう（反対の方）	あさって	1
はんたいのほう（反対の方）	あさってのほう	1
はんてん（＝そでなし）	ちゃんちゃん	54
はんてん（＝そでなし）	ちゃんちゃんこ	54
はんもんする	もでる	87
ひ（火）	ぶう	74
ぴかぴかする	ぎがぎが	27
ひからびる	ひすばる	72
ひきがえる	ふくがいろ	75
ひきがえる	ふくがえる	75
ひきさく	しっちやく	72
ひきさく	ひっちやく	72
ひきさく（引き裂く）	しっちやく	41
ひきさく（引き裂く）	しっちやばく	41
ひきぬく	ひっこぬく	72
ひさしく	はあるか	69
ひさしぶり	はあるかぶり	69
ひしゃく（柄杓）	しゃーく	42
ひしゃげる	むじゃける	84
びしょねれ・ずぶぬれ・びっしょり	じっく	41
ひたい（額）	してぐち	42
ひたい	ひてぐち	73
ひたす	ふてる	76
ひだりきき	かち	25
ひだりきき	ぎっちょ	25
ひだりきき	ぎっちょ	27
ひだりまえにきる	てんでまえ	58
びつい（尾椎）	かめの子	25
ひっかく	つめっかく	56
ひっきりなしに	やみずくなしに	90
ひっくり返す	ふっくりけえす	75
ひっくりかえる	でんぐりけえる	57
びっくりする	おどける	20
ひっしになって	まっくろけえって	81
びっちゅうぐわ（備中鍬）	びっちょ	72
びっちゅうぐわ（備中鍬）	びっちょう	72
ひてい（否定）	だーさ	51
ひてい（否定）	だあーさだあーさ	51
ひと（人）たち	やんども	91
ひどい	こっぴどい	35
ひどいこと	げしなこと	31
ひどくいじめる	いじこじする	6
ひとのせいにする	かづける	25
ひとばんじゅう（一晩中）	よっぴて	92

ひとばんじゅう (一晩中)	よっぴで	92
ひとばんじゅう	よんびな	93
ひとまず	ときに	59
ひとみしり	ひとみじょく	73
ひとめにたたない	ねこかぶり	66
ひとやすみ (一休み) してください	いっぷくしてったい	7
ひとり (独り)	ひとりら	73
ひとをだます	あしのうらをかく	2
ひな (雛)	ひょうな	74
ひなんする (非難する)	かっこなす	25
ひなんする (非難する)	かっぺなす	25
ひにく	みみこすり	84
ひまつぶし	ひまで	74
ひやとい (日雇い)	ひろっとり	74
びょうき	あんべ	4
ひょうめん	うわっか	10
ひらたい	ひらって一	74
ひるがほ	あめふりはな	3
ひるね (昼寝)	ひんね	74
ひろい (広い)	ひれ一	74
ひろいたんぼ	おき	15
ひろいばしょ	お一ば	14
ひわいなこと	あくされ	1
ひんこう (品行)	みじょう	83
ふうたい (風袋)	ふうて	75
ふうふになる	めあわせ	85
ふえ (笛)	ふよ	76
ふか (孵化)	ふやける	76
ふかしうつわ	すいの	44
ふかする	むける	84
ふき (露)	ふきったま	75
ふきげん	えぼつる	12
ふきげんになる	えぼくる	12
ぶきよう	ぶきっちょ	75
ふきん	ふきの	75
ふくざつになる	こずむ	34
ふくらはぎ	たぼたぼ	52
ふけてみえる (老けてみえる)	くねっぼい	30
ふけてみえる (老けてみえる)	くねてる	30
ふざけてる	ひよげてる	74
ふざける	あたける	2
ふざける	あばける	3
ふざける	じよける	43
ふざける	やちゃかる	89
ふじゅうぶん	ろくだま	95
ふじんつうのいっしゅ	ちあんべ	53
ふちゅうい	おきょうそ	15
ふちゅうい (不注意)	きなし	28
ふちゅうい (不注意)	きよす	28

ふちょうほう	にちょう	65
ぶっちょうづら (仏頂面)	ぶすつつら	75
ぶつのさかりをすぎたこと	すがれ	45
ぶっぱん (仏飯)	ごぜんさん	35
ふてくされる	あばされる	3
ふとい	ふてい	75
ふとい	ふてー	75
ふとい (太い)	ごぶて	36
ふところ	ひところ	73
ふまんがお	えぼつつり	12
ふみつける	ふんずける	76
ふゆ (冬)	ふよ	76
ぶらさがる	つるかる	56
ぶらぶらしている	ごろつく	37
ふるい	とうし	58
ふるい (古い)	ひね	73
ふるい (古い)	ふるしい	76
ふるいしょくもつ (古い食物)	ひね	73
ふろ	およ	22
ふろ (子供の風呂)	べちゃ	77
ふろ・にゅうよく	だんだ	53
ふろにはいってひんけつをおこす	ゆけあげる	91
ふろのなかいた	じょろいた	44
ふろのゆかげん	おかん	14
ふん (糞)	あっぱ	2
ぶんけ	わかされ	97
ぶんけ (分家)	あたらしや	2
ぶんけ (分家)	いえもち	5
ぶんけ (分家)	えいもち	5
ぶんけ (分家)	ええもち	11
ふんぞりかえって	そっくりけえって	48
ふんどし	もっこ	87
へいき (平気) なさま	けそけそ	32
へいぜん (平然) としている	けそけそしてる	32
へこおび	さんじゃく	40
へしおる	おしよれる	16
へた	えんぎ	13
へた	ほぞ	79
へた	ほど	79
へたにできた	しよっぺ	44
へたばる	つくばる	55
べちゃべちゃいう	やちゃかる	89
へつらうこと	おちょうべ	18
へび	おかうなぎ	14
へび	どてうなぎ	60
へらす	へずる	77
べんじよ	ちょうずば	54
べんしょうする	わくめる	97
べんとうばこ	めんば	86

ぼう (丸太・杭)	べえたんぼ	77
ぼうがくちがい	えんちょうじ	13
ほうけること	もげる	86
ぼうし (幼児語)	あっぱ	3
ほうっておく	うっちゃっておく	9
ほうっておく	うっちゃらかん	9
ほうっておく	かまんどく	25
ほうっておく (放っておく)	ほっちらかす	79
ぼうと	しゃっぱ	43
ほうりつける (放りつける)	ほつつける	79
ほうろう (放浪)	うろつき	10
ほうろく	てらし	57
ほお (頬)	ほ一っぺた	78
ほかす	すっぱかす	45
ほくろ	ふすべ	75
ぼける	もげる	86
ほこりをすった	えごい	11
ほしゅう (補習)	ほしょお	79
ほそい	ほせ一	79
ほそいえだ (焚き木の細い枝)	ぼうや	78
ほそひも	ほそっこ	79
ほたる	ほ一たる	78
ぼたん・こはぜ	はぜ	69
ほっておけ	おけ	15
ほどきにくいむすびかた	こめむすび	36
ほとけさま	なんまさん	64
ほとけさん	なんまさん	64
ほとけにそなえるめし	おぶっく	21
ほとんど	めったに	85
ぽぶら	せしようやなぎ	46
ほほかむり	ほっこ	79
ほほかむり	ほっこかむり	79
ほほかむり	ぼっぱ	79
ほら	ほ一	78
ほんとう (本当)	ふんと	76
ほんとう (本当)	ふんとか	76
ぼんにそなえるはな (盆に供える花)	ぼんばな	79
ほんのすこし	めめんこ	86
ほんのりとした甘味	あまもっくら	3
まえ	まえで	81
まえ	め一で	85
まえかがみ (前屈み)	こながる	36
まえかがみ (前屈み)	このがる	36
まえかけ	めいかけ	85
まえかけ	め一かけ	85
まがいもの	まげもん	81
まかす (負かす)	ひねる	73
まかりまちがえばとりにがす	とっぱずす	59
まがる	ひんまがる	74

まがる	ひんまげる	74
まき（薪）をくらべる	さくくべる	40
まきおきば（炉ばたの薪置き場）	ひしり	72
まきのひ	おき	15
まずい	ませえ	81
ますかき	とぼ	60
ませたこうどう	おじょこ	16
ませている	くねっぼい	30
ませている	くねてる	30
まぜる	まぶす	82
まぜる	まぶる	82
ませんぼう（馬柵棒）	ませんぼう	81
まだらかまどうま（昆虫）	べんじょこうろぎ	78
まだるい	まだらっこい	81
まっかなちがたくさんでて	ちだらまっか	53
まったく	まあるで	81
まつぼっくり	まつだんご	82
まで	さら	40
まともでないこと	ねなくら	66
まないた（俎）	まねいた	82
まないた（俎）	まねた	82
まにあわせる	おこつる	16
まぬけ	うそろ	9
まぬけ	ほうろくやろう	78
まぬけ	ぼんやり	82
まぬけたやつ	うそろ	9
まねごと	まねっかち	82
まばゆい	かがかがする	23
まばゆい	かがっぼい	23
まびく	おろのく	22
まぶしい	かがっぼい	23
ままごとあそび	よめごと	92
まゆ（繭）	まい	81
まゆからいと（糸）をとるしごと	ざぐり	39
まるごと	まるごてら	82
まるごと	まるもてら	82
まるた（丸太）	べいた	77
まるで	かたで	24
まるで	まあんで	81
まるで・まるっきり・まったく	ずでこで	46
まるまげ（丸まげ）	ほんだ	79
まわり	がわた	26
まわり（回り）	ぐるわ	30
まわりじゅう（周り中）	ぐるりっと	30
まんなか	どまんなか	60
まんぶく	くちい	29
まんぶくのうえにもっとたべる	おたち	17
み（身）なり・しぐさ	しこ	41
みあわせる（見合わせる）	ままにする	82

みえない	めーね	85
みえる	めえる	85
みぐるしい	みぐさい	83
みぐるしい	みぐさく	83
みぐるしい	みぐせ	83
みじかい	みじけー	83
みじゅくまい (未熟米) ・みじゅくまめ (未熟豆)	しいな	41
みじんになる	みじゃける	83
みずがたまってなが (流) れない	こぶる	36
みずにひたしてあら (洗) う	さわす	40
みずにひたす (水に浸す)	ほとばす	79
みずにひたす (水に浸す)	ほとびる	79
みずにもぐる	ずぶっくり	46
みずの中を歩く	こぐ	34
みずやり	みずくれ	83
みせてください (見せて下さい)	みせとくんな	83
みぞ	せぎ	46
みそ (味噌) やしょうゆ (醤油) にでるうじ	さし	39
みそさざい (小鳥)	みそっちょ	83
みそしる	おし	16
みそしる	おしい	16
みそのそくせい	つきいれ	55
みぞれ (霽)	みずおて	83
みたところがいい	けしきがいい	31
みたところがわるい	みぐせえ	83
みだれたかみ (髪)	さんばらがみ	40
みちくさをくう	あぶらうる	3
みつける	めっける	85
みっともない	びじょってね	72
みっともない	みいせ	83
みっともない	みーせ	83
みっともない	みぐさい	83
みっともない	みっともね	84
みにくい (醜い)	みぐさい	83
みにくい (醜い)	みぐせー	83
みにくい	みっともねー	84
みね	おね	20
みはらし	みはらかし	84
みみず	めめず	86
みやげなしで訪問	からつつら	26
みよう	みらず	84
むかっばら	むきっばら	84
むぎめし	ばくめし	69
むぎわら	むぎっから	84
むくれる	もくれる	86
むこ	もこ	87
むごい	もげー	86
むこうのいえ	もこのち	87
むこうみず	がり	26

むさくるしい	びしょってね	72
むしあつい	おむす	21
むしば	みそっば	83
むしりとる	ひんむしる	74
むずかゆい	もずっけ	87
むずかる	ねぐせこねる	66
むずがる (子ども)	ごたこねる	35
むすこ	がき	23
むすこ (息子)	やろっこ	91
むすめ	あまっこ	3
むすめ	あまっちょ	3
むだ	そつ	48
むだ・つまらない・あどけない	しゃいもね	42
むだなこうい	やちなし	89
むだなこと	げえもねい	31
むだなこと	げえもねえ	31
むだに	なまじっか	64
むちゃなことをいう	むせっけなことせう	84
むちゅうになって (夢中になって)	まっくるけして	81
むつつ	もつつ	87
むねあげもち (棟上げ餅)	ぐしもち	29
むのう	にちょう	65
むやみやたらに	まくもうず	81
むらがって	ぞっくり	48
紫色 (痣の色)	ぶすっというろ	75
紫色 (痣の色)	ぶすというろ	75
紫色 (痣の色)	ぶすんどいろ	75
むり	むせっけ	84
むりなこと	げしなこと	31
むりをする	こじる	34
むれている	わやんわやん	97
めあて	あて	3
めいしょう	ももっか	87
めくら	めっちょかんすけ	86
めしびつ	おひつ	20
めちゃめちゃ	ささらほさら	39
めちゃくちゃ	ひっチャかめっチャか	72
めちゃくちゃ	むせっけ	84
めのたま	めんのか玉	86
めん (面) ・つら (面)	しゃっつら	42
めんどうをみる	まつべる	82
めんとむかって	つらつかむ	56
めんぼう	ねんぼう	67
めんるい	おざんざ	16
めんをうちなおす (綿を打ちなおす)	ほかす	78
もう	へ～	77
もうされた (申された)	いいなした	5
もうされた (申された)	いやした	8
もうされた (申された)	いわした	8

もうすこし	いますこし	8
もうすこし	いもすこし	8
もうろくする	もげる	86
もえさし	もえじやっくり	86
もくせい（木製）たばこいれ	ずんぎり	46
もぐら	もーら	86
もちあげる	もたげる	87
もちつきのあいて（餅つきの相手）	あいどり	1
もちつきのあいて（餅つきの相手）	ええどり	11
もちつきのうちみず（打水）	しと	42
もったいない	もってね	87
もっと	いもっと	8
もてあそぶ	いじくる	6
もてあそぶ	いじる	6
もてあそぶ	いびる	8
もの（物）	もん	87
もの（者）	もん	87
ものういおてんき	おっとしいおてんき	19
ものごとのおこったげんいん	せーで	46
ものごとをはじめるまえ	さき	39
ものもらい	めこじき	85
もみ（稲の穂に残ったもみ）	ぼつつあら	79
もみがら	もみぬか	87
もらう	むらう	85
やいたもち（焼いた餅）	ほどっくべ	79
やきもち（幼児語）	あぶ	3
やくにたたない	やちなし	89
やくみ	からみ	26
やけくそ	やけっぱち	89
やけどのあと	やけつつり	89
やさいなどのびすぎでだめになる	とうがたつ	58
やさいばたけ	せんぜばたけ	47
やすい	やせい	89
やすみなし	とろっぴよ	61
やたら	へいたら	77
やたら	へえたら	77
やたらに	めった	85
やたらに	めっためった	85
やたらにいろをぬる	えどくる	12
やといにん	とおど	59
やね（屋根）をふくいた（板）	ささいた	39
やぶ	やぶつか	90
やぶく	ひっちゃばく	72
やまかがし	やまっかじ	90
やまかがし	やまっかち	90
やまばと	てでっぼう	57
やまもり・おおもり・こぼれるほど	てっこもり	57
やめる	ままにする	82
やらないか	やらねか	90

やらないでおこう	やらんどかず	90
やりきれない	やりきんね	91
やりくり	くりまわり	30
やりちらかす	けつまくる	32
やりましょう	やらず	90
やるきをだす	ずくだす	45
やわらかい	やっけい	90
やわらかくなる	ぐにゃける	29
ゆ(湯)	よ	91
ゆ(揺)する	よさぶる	92
ゆい(結)をする	よいする	91
ゆいごん(遺言)	よいごん	91
ゆうがお(夕顔)	よーがお	91
ゆうがたいきあったひとにたいするあいさつ	おつかれでござんす	18
ゆうしゅうのこと	ぬきでる	65
ゆうはん	ようはん	91
ゆき	えき	11
ゆきかき(道具)	こうすき	33
ゆきどけみず	ゆきしろ	91
ゆきのした	いとぐさ	7
ゆげ(湯気)	よげ	92
ゆび	えび	12
ゆびのさすほう	あっち	2
ゆりかご	つぐら	55
ゆるせ	かんし	27
よ(文末)	しよ	41
ようちゅう(幼虫)	うじ	9
ようぶ(腰部)にあてる布	いしきあて	6
ようやく	やっこ	90
よくはたら(働)く	せっこいい	47
よくぶかい	よくどしい	92
よくよくあさ(翌々朝)	あさって	1
よくよくじつ(翌々日)	あさって	2
よけいなこと	よーでもね	91
よこになる・からだをよこにしてやすむ	ねそべる	66
よこになる・ねる・よこになってやすむ	そべる	48
よだれ	えだれ	12
よだれかけ	えだれかけ	12
よち(余地)かち(価値)	れいち	95
よってください	よったいや	92
よってください	よっとくらい	92
よてい(予定)	かんじょう	27
よばれたときのへんじ	おいよ	13
よほど	ええかん	11
よめ	あね	3
よめいり	むかされ	84
よめにやる	かたづける	24
よりつきのま	ちゃのま	54
よろける	よじける	92

よろしいでしょう	よからず	91
よろしいです	ようごわす	91
よわい (体が弱い様子)	ぎーら	27
よわい	よた	92
よんできて	よばってきな～	92
よんでこいや	よばってこや	92
らく	ごしょらく	34
らくがきする	えのくる	12
らくたんされて	おちからおととして	17
らち (埒) もない	こらっちょもねえ	37
らっか (落果)	ふるち	76
らっかせい (落花生)	じまめ	42
らんざつ	ごったく	35
らんぼう	があたく	23
らんぼう	むせっけ	84
らんぼう	むて	84
りっぱ (立派) なこうじょう (口上)	しかくばる	41
りっぶく (立腹)	ごおわかす	33
りにあわないこと	ねなくら	66
りょうりする	ぎょうる	28
りょうりする	りょうる	95
りんばせん	えのぐ	12
れいしょうする・ませかえす	おひやらかす	20
れいり・かしこい	はしこい	69
れいり・かしこい	はしっこい	69
ろ (炉)	ほど	79
ろうどうこうかん (労働交換)	えいっこ	11
ろえん	おくらぶち	15
わがままをいう	ごたこねる	35
わかもの	わけしょ	97
わがや	おらち	22
わけまえ (分け前)	ぶに	76
わざと	むりと	85
わざわざ	やくやく	89
わすれている	もげてくる	86
わすれている	もげてる	86
わすれている	もげる	86
わたくしら・じぶんら	おらほ	22
わたしたち	わしら	97
わらうちいし (藁打石)	じょうべいし	43
わらぐつ (藁靴)	うそかけ	9
わらぐつ (藁靴)	ふんごみ	76
わらじ (草鞋)	わるんじ	97
わらずと	つとっこ	55
わらたばをつみあげたやま	にお・みお	65
わらなどつみかさねたもの	にお・みお・みお	65
わらぶきやね	くずやね	29
わらむしろ	ねこ	66
わる (割る)	ひっかく	72

わる（悪）くいう	こなす	36
わるい	わりい	97
わるいこと	あくされ	1
わるがき	やちなし	89
わるがしこい	おぜえ	17
わるがしこいこと	わるがしっけ	97
わるぐち	あくて	1
わるぐちをいう	あくたれ	1
わるぐちをいう	あくたれこく	1
わるぐちをいうやつ	あくたれ	1
わんぱく	があたく	23
わんぱく	がんと	27
わんぱく	ごた	35

あとがき

三浦しをんさんの『舟を編む』に刺激を受けた私たちは、辞書作りの仕事に興味を持った。9人のメンバーで実現可能な工程を、大橋敦夫先生に準備していただき、力を合わせて一年間活動した。方言集の完成に向けて、次のような分担により、作業を進めた。

総務企画班：目次作成・街歩きプラン作成

索引作成班：共通語索引の入力・作成

デザイン班：装丁・インフォグラフィック（活動説明資料）

以下に、一言ずつ感想を述べ、あとがきとする。

新井梨華……生活の中でこの言葉って方言かな？と思ったときに、この方言集をぜひ手に取って使ってみてください！

池本夏波……あなたが普段使っている言葉は方言でしたか？
たくさん調べてみてください！！

小川原幸来……農業が盛んな地域ならではの稲作や農業に関する方言が多数あったので、ぜひ注目して見てみてください。

川上梨珠……須坂市出身でなくても、耳にしたことや使いまわしが似たような言葉があるかもしれません。ぜひ見てみてください。

倉升一羽……方言の世界、思っていたよりも奥が深かったです。

言葉って意外とクセがあるので注目してみてください！

坂口亜綺……私は須坂市の方言の研究を通して、方言は日本語に欠かせない非常に大切な言葉だと思いました。班活動では、索引作成班として入力に欠けたところはないか差後まで粘り強く確認しました。

高野七香……食べ物に関する方言は想像したり、調べたりすると実際に食べてみたいなど思ったので、ぜひ探してみてください。

田中里菜……須坂市の方言の中でも、家族への呼び方が数多くあり面白かったので、色々な呼び方を探してみてください。

永井瑚青……お気に入りの方言は見つかりましたか？ぜひコラムにも注目しながら読んでみてください。

私たちの学年は、上田女子短期大学生として入学し、上田短期大学生として最初に卒業する学年である。節目となる年に、一人の女性として、教員人生を全うし後世に浄財を託された駒澤嘉先生のご意志に触れさせていただくことができた。感謝とともに光栄の至りを感じている。(大橋ゼミ生一同)

※本書は、「令和7年度公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金」による発行物
です。

須坂のことば

(須坂市方言集成)

令和8(2026)年1月24日発行

編集 上田短期大学 総合文化学科2年 大橋ゼミ

監修 大橋敦夫

発行 上田短期大学 大橋研究室

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙 620

☎0268(38)2352 ☎0268(38)7315

印刷 田辺印刷株式会社

〒386-0041 上田市問屋町 237-5

するしない——テレビ局注目の語法——

本書の編纂中、「するしない」について、2件の問い合わせがテレビ局からありました。

一つ目は、地元の老舗局 SBC 信越放送。平日午後の人気番組「ずくだせテレビ」の中で、その語源について、探索するという趣旨の取材でした。その時点でお伝えできたことは、小生も作成に参加した『長野県方言辞典』（編集代表・馬瀬良雄 信濃毎日新聞社 2010.3）で述べた以下の諸点です。

- ①現在「～シナイ」は北信地区広域で使われている。
- ②その発生は、北信の文化的中心地である長野市ではなく、須坂市と考えられる。
- ③勧誘用法は長野地方で新たに生まれた用法である。

番組の制作スタッフの皆さんは、現地須坂市に赴いて精力的に取材を進められました。須坂市公文書館や須坂新聞社を訪ね、さらには、この語法にいち早く注目された方言研究者・井上史雄氏にもインタビュー。

しかし、残念ながら、新たな発見にはつながりませんでした（2024.5.1 放映）。

二つ目は、日本テレビ系列で放映中の「秘密のケンミンショー極」の制作会社からのお問い合わせです。伝統的な方言（俚言）ではなく、新しく生まれている地域の方言を紹介したいとの趣旨で、企画にぴったりの事例です。掘り下げ方として、なぜわざわざ回りくどい言い方をするのかを解明したいとのこと。相手を気遣い、押し付けにならない表現をしているのでは？と述べましたが、納得していただける説明にはならなかったようです。放映（2025.4.24）では、主な使い手である女子高生の語り生き生きしている様子が伝えられましたが、「詳細は不明」とのまとめとなりました。

ということで、まだまだ調査課題が残されている語法です。このテーマに関わる最新の研究では、南信でも使うとの報告*があります。

本書を手になされているあなた、チャレンジしてはいかがですか？

*土屋歩美「長野県における文末詞「～シナイ」に関する一考察」『東海大学日本語・日本文学 研究と注釈』6（2017.12）